

# 外科専門研修プログラム

2020年度

東京女子医科大学病院

#### <プログラムの名称>

東京女子医科大学 外科専門研修プログラム

#### <外科専門医の理念と目的>

外科専門医とは、医の倫理を体得し、一定の修練を経て、診断、手術適応判断、手術及び術前後の管理・処置、合併症など、一般外科医療に関する標準的な知識とスキルを修得し、プロフェッショナルとしての態度を身に付けた医師である。また、規定の手術を経験し、一定の資格認定試験を経て認定される。外科専門医はサブスペシャリティ領域（消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・小児外科・乳腺外科・内分泌外科）やそれに準じた外科関連領域の専門医取得に必要な基盤となる共通の資格である。この専門医の維持と更新には、最新の知識・テクニック・スキルを継続して、安全かつ信頼される医療を実施していることが必須条件となる。

そのため、外科医として幅広く一般診療を行う能力を育成し、基礎的知識や検査・画像診断、麻酔手技、周術期の全身管理の基礎を習得する。さらに、高度な知識や判断能力の育成をはかり、基礎的能力の習得が円滑に行われるよう、専攻医1人1人に合わせたプログラムを設定し、優れた臨床医の養成、将来の外科治療を牽引する医師としての養成を目的としている。また、感染対策、医療安全及び医療倫理の基礎能力の育成を行い、日常診療を通じて様々な状況に対応し、かつ適切な判断のもと、治療法の選択が行える基礎的能力を育成する。

上記を踏まえ、チーム医療の一員として治療方針の決定の一翼を担うことができること、及び、インフォームド・コンセントを通じて良好な患者・医師関係を築き、患者背景に配慮した安全な外科治療の提供ができることを目標とする。

#### <外科専門医の使命>

外科専門医は、標準的かつ包括的な外科医療を提供することにより国民の健康を保持し福祉に貢献する。また、外科領域診療に関わる最新の知識・テクニック・スキルを習得し、実践できる能力を養いつつ、この領域の学問的発展に貢献することを使命とする。

## 目 次

プログラム指導者と研修施設	1
専門研修プログラム管理委員会	3
外科専門医の使命と本プログラム修了後の医師像	4
外科専門研修の目標	4
1. 一般目標	4
2. 到達目標	4
研修内容	
1. 経験症例	5
(1) 外科専門医カリキュラムの症例を経験する	
①到達目標（修得すべき知識・技能・態度まで）	
i 専門知識	5
ii 専門技能	6
iii 学問的姿勢	7
iv 医師としての倫理性、社会性など	7
②経験目標（種類、内容、経験数、要求レベル、学習法および評価法）	
i 経験すべき疾患・病態	7
ii 経験すべき診察・検査等	9
(2) 350 例の手術手技を経験する	9
(3) ②のうち、術者として 120 例以上を経験する	9
(4) 各領域の基本的な手技を経験する	9
(5) 地域医療の経験	11
2. 学術活動	11
3. 臨床現場を離れた学習	11
4. 自己学習	12
5. 専門研修中の年度毎の知識・技能・態度の修練プロセス	12
専門研修プログラム具体例	13
研修期間	14
研修スケジュール	14
研修の週間および年間スケジュール	15
施設群による研修プログラムおよび地域医療について	15
研修評価・修了	16
研修修了認定	16
プログラム修了後の進路	16
専門医研修猶予の猶予	16
専門研修実績記録システム、マニュアル等	17
専攻医募集および専攻方法	17
身分および待遇	17
資料請求先	17

## 診療科紹介

消化器・一般外科	19
心臓血管外科	21
呼吸器外科	23
小児外科	25
乳腺・内分泌外科	27
腎臓外科	29
救命救急センター	31

## 連携施設紹介

東京女子医科大学東医療センター	34
東京女子医科大学附属八千代医療センター	40
愛媛県立中央病院	44
医療法人社団 荻窪病院	46
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	48
社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院 聖隷浜松病院	50
地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院	52
医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター	54
医療法人社団常仁会 牛久愛和総合病院	56
大分市医師会立 アルメイダ病院	58
一般社団法人 至誠会第二病院	60
社会医療法人三栄会 中央林間病院	62
医療法人社団けいせい会 東京北部病院	64
医療法人財団中山会 八王子消化器病院	66
医療法人社団保健会 谷津保健病院	68
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	70
公益財団法人東京都保健医療公社 荏原病院	72
医療法人誠壽会 上福岡総合病院	74
公益社団法人東京都保健医療公社 多摩南部地域病院	76
公益社団法人東京都保健医療公社 豊島病院	78
社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	80
防府消化器病センター 防府胃腸病院	82
独立行政法人地域医療機能推進機構 山梨病院	84
東京医科大学 茨城医療センター	86
埼玉県済生会 栗橋病院	88
東京都立多摩総合医療センター	90
社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院	92
熊本赤十字病院	94
独立行政法人地域医療機能推進機構 東京城東病院	96
医療法人社団栄悠会 綾瀬循環器病院	98
国際医療福祉大学熱海病院	100
公益財団法人 東京都保健医療公社 多摩北部医療センター	102
医療法人社団日高会 日高病院	104

＜プログラム指導者と研修施設＞

東京女子医科大学病院と連携施設（33 施設）により、専門研修施設群を構成している。  
本専門研修施設群では、128名の専門研修指導医が専攻医を指導する。

専門研修プログラム統括責任者

東京女子医科大学消化器・一般外科 山本 雅一

専門研修副プログラム統括責任者

東京女子医科大学心臓血管外科 新浪 博  
東京女子医科大学呼吸器外科 神崎 正人  
東京女子医科大学乳腺・内分泌外科 岡本 高宏

各領域責任者

消化器外科	山本 雅一	(東京女子医科大学 消化器・一般外科)
心臓血管外科	新浪 博	(東京女子医科大学 心臓血管外科)
呼吸器外科	神崎 正人	(東京女子医科大学 呼吸器外科)
小児外科	世川 修	(東京女子医科大学 小児外科)
乳腺外科、内分泌外科	岡本 高宏	(東京女子医科大学 乳腺・内分泌外科)
腎臓外科	中島 一朗	(東京女子医科大学 腎臓外科)
救命救急センター	矢口 有乃	(東京女子医科大学 救命救急センター)

専門研修指導医

小寺由人、江川裕人、大木岳志、板橋道朗、樋口亮太、井上雄志、小川真平、有泉俊一、成宮孝祐、新川武史、齋藤 聡、松村剛毅、菊地千鶴男、道本 智、齋藤博之、市原有起、駒ヶ嶺正英、松本卓子、井坂珠子、青島宏枝、前田英之、山口隆介、神尾孝子、堀内喜代美、坂本明子、尾身葉子、野口英一郎、小山一郎、北島久視子、三宮彰仁、武田宗和

専門研修基幹施設

東京女子医科大学病院 2017 年 NCD 登録数 ( 3, 8 3 9 )

専門研修連携施設

	NCD 按分数	腹部・消化器	乳腺	呼吸器	心臓・大血管	末梢血管	頭頸部・体表	小児	重症外傷
(1) 東京女子医科大学東医療センター	200	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) 東京女子医科大学附属八千代医療センター	100	○	○	○	○	○	○	○	○

(3)	愛媛県立中央病院	200	○	○	○	○	○						
(4)	医療法人財団荻窪病院	60	○				○	○					
(5)	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院	579	○	○	○	○	○						
(6)	社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院 聖隷浜松病院	330	○	○	○						○		
(7)	地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院	230					○	○			○		
(8)	医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター	523	○	○	○			○	○	○	○	○	
(9)	医療法人社団常仁会牛久愛和総合病院	329	○	○						○			○
(10)	大分市医師会立アルメイダ病院	517	○	○	○				○	○	○	○	
(11)	一般社団法人至誠会第二病院	239	○	○	○						○		
(12)	社会医療法人三栄会中央林間病院	226	○	○	○					○			
(13)	医療法人社団けいせい会東京北部病院	247	○										
(14)	八王子消化器病院	275	○										
(15)	谷津保健病院	201	○	○	○				○	○	○	○	
(16)	医療法人社団三喜会横浜新緑総合病院	424	○	○					○	○			
(17)	公益財団法人東京都保健医療公社荏原病院	234	○	○	○						○		
(18)	医療法人誠壽会上福岡総合病院	242	○	○	○				○	○	○	○	
(19)	公益財団法人東京都保健医療公社 多摩南部地域病院	135	○	○									
(20)	公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院	220	○										
(21)	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院	224	○	○	○				○	○	○		
(22)	防府消化器病センター防府胃腸病院	317	○							○			
(23)	独立行政法人地域医療機能推進機構山梨病院	138	○	○	○					○	○	○	
(24)	東京医科大学茨城医療センター	134	○	○	○								
(25)	埼玉県済生会栗橋病院	350	○			○	○	○	○	○	○		
(26)	東京都立多摩総合医療センター	50				○							
(27)	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	170	○	○				○	○	○			
(28)	熊本赤十字病院	200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(29)	独立行政法人地域医療機能推進機構 東京城東病院	169	○							○			
(30)	医療法人社団栄悠会 綾瀬循環器病院	362						○	○				
(31)	国際医療福祉大学熱海病院	217	○						○				
(32)	公益財団法人東京都保健医療公社 多摩北部医療センター	217	○	○						○	○		
(33)	医療法人社団日高会 日高病院	778	○	○				○	○	○			
		NCD 按分数	腹部・消化器	乳腺	呼吸器	心臓・大血管	末梢血管	・頭頸部・体表	小児	重症外傷			
		2017年											

専門研修連携施設

2017年 NCD 登録数 ( 8,837 )

本専門研修施設群

2017年 NCD 登録数の合計 ( 12,676 )

本年度の募集専攻医数 20 名

<専門研修プログラム管理委員会>

①基幹施設担当者

プログラム統括責任者	山本雅一
副プログラム統括責任者	新浪 博、神崎正人、岡本高宏
委員	世川 修、中島一朗、矢口有乃、江川裕人、村杉雅秀、小寺由人、松村剛毅、板橋道朗、神尾孝子、小山一郎、堀内喜代美、武田宗和

②連携施設責任者及び担当者

1	東京女子医科大学東医療センター	塩澤 俊一
2	東京女子医科大学附属八千代医療センター	新井田 達雄、片桐 聡
3	愛媛県立中央病院	石戸谷 浩
4	医療法人財団荻窪病院	澤 重治
5	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院	上杉 英之
6	社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院 聖隷浜松病院	鈴木 一史
7	地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院	中島 雅人
8	医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター	藤田 竜一
9	医療法人社団常仁会牛久愛和総合病院	亀岡 信悟、野口 岳春
10	大分市医師会立アルメイダ病院	白鳥 敏夫、橋本 拓造
11	一般社団法人至誠会第二病院	吉田 一成
12	社会医療法人三栄会中央林間病院	木山 智、河野 正寛
13	医療法人社団けいせい会東京北部病院	谷 英己
14	八王子消化器病院	小池 伸定
15	谷津保健病院	宮崎 正二郎
16	医療法人社団三喜会横浜新緑総合病院	齊藤 修治
17	公益財団法人東京都保健医療公社荏原病院	太田 岳洋
18	医療法人誠壽会上福岡総合病院	井上 達夫
19	公益財団法人東京都保健医療公社 多摩南部地域病院	桂川 秀雄
20	公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院	福田 晃、安藤 昌之
21	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院	宮平 工
22	防府消化器病センター防府胃腸病院	三浦 修
23	独立行政法人地域医療機能推進機構山梨病院	小澤 俊総
24	東京医科大学茨城医療センター	鈴木 修司
25	埼玉県済生会栗橋病院	宮野 裕
26	東京都立多摩総合医療センター	小原 徹也
27	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	児玉 ひとみ
28	熊本赤十字病院	吉元 和彦
29	独立行政法人地域医療機能推進機構 東京城東病院	阪井 守
30	医療法人社団栄悠会 綾瀬循環器病院	丁 毅文
31	国際医療福祉大学熱海病院	唐仁原 全、白井 博之
32	公益財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センター	高橋 豊
33	医療法人社団日高会 日高病院	安藤 哲郎

### ③研修プログラム管理委員会の役割と権限

- (1) 当管理委員会は、専門研修プログラム統括責任者、専門研修副プログラム統括責任者および、各診療科専門研修指導医、専門研修プログラム連携施設担当者等で構成される。
- (2) 専門研修プログラムの作成、管理、改善などを行う。
- (3) 専攻医の研修全般の管理を行う。
- (4) 専門研修プログラム修了時に専攻医の修了判定の審査を行い、専門研修プログラム統括責任者が修了判定を行う。
- (5) 専攻医および専門研修指導医から提出される意見を参照し、専門研修プログラムや専門研修体制の継続的改良を行う。
- (6) 6か月～1年毎に開催する。
- (7) 研修プログラム統括責任者は専攻医から提出されたプログラム評価報告内容を匿名化し、本委員会で審議を行いプログラムの改善を行う。
- (8) 専攻医からの指導医評価報告をもとに指導医の教育能力を向上させる支援を行う。

### <外科専門医の使命と本プログラム修了後の医師像>

- (1) 医の倫理を体得し、医療を適正に実践する
- (2) 一般外科医療に関する標準的な知識と技量を修得し、診断、手術および術前後の管理処置を適切に施行する
- (3) 外科専門医研修後も最新の知識・技術を継続して学習し、信頼される医療を実践する
- (4) サブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科・内分泌外科など）の専門研修を行うために必要な知識、技術、人格を有する
- (5) 臨床研究または学術的研究を発信し、後進の教育的指導ができる

### <外科専門研修の目標>

#### 1. 一般目標

- (1) 一般外科的な臨床判断能力や問題解決能力を修得する
- (2) 中・低難度手術を適切に実施できる能力を修得する
- (3) 術前術後管理を適切に行う能力を修得する
- (4) 医の倫理に配慮し、外科診療を行う上で適切な態度と習慣を身に付ける
- (5) 外科学の進歩に合わせた生涯学習を行う基本的な能力を修得する
- (6) 地域医療の特殊性、問題点を認識する

#### 2. 到達目標

- (1) 外科診療に必要な基礎的知識を習熟し、臨床応用できる（研修医手帳を参照）
- (2) 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技に習熟し、臨床応用できる
- (3) 外科診療に必要な疾患を経験・理解できる
- (4) 外科診療に必要な各領域の手術を経験する
- (5) 地域医療への外科診療の役割を習熟し、実行できる
- (6) 外科学の進歩に合わせた生涯学習の基本を習得し実行できる
- (7) 医の倫理や医療安全に基づいたプロフェッショナルとして適切な態度・習慣を身に付ける



## <研修内容>

### 1. 経験症例

#### (1) 外科専門医カリキュラムの症例を経験する

##### ①到達目標（修得すべき知識・技術・態度など）

###### i 専門知識

外科診療に必要な下記の基礎的知識・病態を習熟し、臨床応用できる。(研修手帳参照)

- (1) 局所解剖：手術をはじめとする外科診療上で必要な局所解剖について述べることができる。
- (2) 病理学：外科病理学の基礎を理解している。
- (3) 腫瘍学
  - ①発癌過程、転移形成およびTNM 分類について述べるができる。
  - ②手術、化学療法および放射線療法を含む集学的治療の適応を述べるができる。
  - ③化学療法（抗腫瘍薬、分子標的薬など）と放射線療法の有害事象について理解している。
- (4) 病態生理
  - ①周術期管理や集中治療などに必要な病態生理を理解している。
  - ②手術侵襲の大きさと手術のリスクを判断することができる。
- (5) 輸液・輸血：周術期・外傷患者に対する輸液・輸血について述べるができる。
- (6) 血液凝固と線溶現象
  - ①出血傾向を鑑別し、リスクを評価することができる。
  - ②血栓症の予防、診断および治療の方法について述べるができる。
- (7) 栄養・代謝学
  - ①病態や疾患に応じた必要熱量を計算し、適切な経腸、経静脈栄養剤の投与、管理について述べるができる。
  - ②外傷、手術などの侵襲に対する生体反応と代謝の変化を理解できる。
- (8) 感染症
  - ①臓器特有、あるいは疾病特有の細菌の知識を持ち、抗菌薬を適切に選択することができる。
  - ②術後発熱の鑑別診断ができる。
  - ③抗菌薬による有害事象を理解できる。
  - ④破傷風トキソイドと破傷風免疫ヒトグロブリン投与の適応を述べるができる。
- (9) 免疫学
  - ①アナフィラキシーショックを理解できる。
  - ②組織適合と拒絶反応について述べるができる。
- (10) 創傷治癒：創傷治癒の基本を理解し、適切な創傷処置を実践することができる。
- (11) 周術期の管理：病態別の検査計画、治療計画を立てることができる。
- (12) 麻酔科学
  - ①局所・浸潤麻酔の原理と局所麻酔薬の極量を述べるができる。
  - ②脊椎麻酔の原理を述べるができる。
  - ③気管挿管による全身麻酔の原理を述べるができる。
  - ④硬膜外麻酔の原理を述べるができる。
- (13) 集中治療
  - ①集中治療について述べるができる。
  - ②基本的な人工呼吸管理について述べるができる。
  - ③播種性血管内凝固症候群(disseminated intravascular coagulation) と多臓器不全(multiple organ failure)の病態を理解し、適切な診断・治療を行うことができる。
- (14) 救命・救急医療
  - ①蘇生術について理解し、実践することができる。
  - ②ショックを理解し、初療を実践することができる。

- ③重度外傷の病態を理解し、初療を実践することができる。
- ④重度熱傷の病態を理解し、初療を実践することができる。

ii 専門技能（診察、検査、診断、処置、手術など）

A. 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技に習熟し、それらの臨床応用ができる。

（到達目標 2）

- (1) 下記の検査手技ができる。
  - ①超音波検査：自身で実施し、病態を診断できる。
  - ②エックス線単純撮影、CT、MRI：適応を決定し、読影することができる。
  - ③上・下部消化管造影、血管造影等：適応を決定し、読影することができる。
  - ④内視鏡検査：上・下部消化管内視鏡検査、気管支内視鏡検査、術中胆道鏡検査、ERCP 等の必要性を判断し、読影することができる。
  - ⑤心臓カテーテル：必要性を判断することができる。
  - ⑥呼吸機能検査の適応を決定し、結果を解釈できる。
- (2) 周術期管理ができる。
  - ①術後疼痛管理の重要性を理解し、これを行うことができる。
  - ②周術期の補正輸液と維持療法を行うことができる。
  - ③輸血量を決定し、成分輸血を含め適切に施行できる。
  - ④出血傾向に対処できる。
  - ⑤血栓症の治療について述べることができる。
  - ⑥経腸栄養の投与と管理ができる。
  - ⑦抗菌薬の適正な使用ができる。
  - ⑧抗菌薬の有害事象に対処できる。
  - ⑨デブリードマン、切開およびドレナージを適切にできる。
- (3) 次の麻酔手技を安全に行うことができる。
  - ①局所・浸潤麻酔
  - ②脊椎麻酔
  - ③硬膜外麻酔（望ましい）
  - ④気管挿管による全身麻酔
- (4) 外傷の診断・治療ができる。
  - ①すべての専門領域で、外傷の初期治療ができる。
  - ②多発外傷における治療の優先度を判断し、トリアージを行うことができる。
  - ③緊急手術の適応を判断し、それに対処することができる。
- (5) 以下の手技を含む外科的クリティカルケアができる。
  - ①心肺蘇生法——一次救命処置(Basic Life Support)、二次救命処置(Advanced Life Support)
  - ②動脈穿刺
  - ③中心静脈カテーテルの挿入とそれによる循環管理
  - ④人工呼吸器による呼吸管理
  - ⑤気管支鏡による気道管理
  - ⑥熱傷初期輸液療法
  - ⑦気管切開、輪状甲状軟骨切開
  - ⑧心嚢穿刺
  - ⑨胸腔ドレナージ
  - ⑩ショックの診断と原因別治療（輸液、輸血、成分輸血、薬物療法を含む）
  - ⑪播種性血管内凝固症候群(disseminated intravascular coagulation)、多臓器不全(multiple organ failure)、全身性炎症反応症候群(systemic inflammatory response syndrome)、代償性抗炎症性反応症候群(compensatory anti-inflammatory response syndrome) の診断と治療

⑫化学療法（抗腫瘍薬、分子標的薬など）と放射線療法の有害事象に対処することができる。  
(6) 外科系サブスペシャリティまたはそれに準ずる外科関連領域の分野の初期治療ができ、かつ、専門医への転送の必要性を判断することができる。

B. 一定レベルの手術を適切に実施できる能力を修得し、その臨床応用ができる。（経験目標2）  
一般外科に包含される下記領域の手術を実施することができる。

（手術手技一覧対応表参照）

- ①消化管および腹部内臓
- ②乳腺
- ③呼吸器
- ④心臓・大血管
- ⑤末梢血管（頭蓋内血管を除く）
- ⑥ 頭頸部・体表・内分泌外科（皮膚、軟部組織、顔面、唾液腺、甲状腺、上皮小体、性腺、副腎など）
- ⑦小児外科
- ⑧外傷の修練
- ⑨上記①～⑧の各分野における内視鏡手術（腹腔鏡・胸腔鏡を含む）

### iii 学問的姿勢

外科学の進歩に合わせた生涯学習の基本を習得し実行できる。

- (1) カンファレンス、その他の学術集会に出席し、積極的に討論に参加することができる。
- (2) 専門の学術出版物や研究発表に接し、批判的吟味をすることができる。
- (3) 学術集会や学術出版物に、症例報告や臨床研究の結果を発表することができる。
- (4) 学術研究の目的または直面している症例の問題解決のため、資料の収集や文献検索を独力で行うことができる。

### iv 医師としての倫理性、社会性など

外科診療を行う上で、医師としての倫理や医療安全に基づいたプロフェッショナルとして適切な態度と習慣を身に付ける。

- (1) 医療行為に関する法律を理解し、遵守できる。
- (2) 患者およびその家族と良好な信頼関係を築くことができるよう、コミュニケーション能力と協調による連携能力を身につける。
- (3) 外科診療における適切なインフォームド・コンセントをえることができる。
- (4) 関連する医療従事者と協調・協力してチーム医療を実践することができる。
- (5) ターミナルケアを適切に行うことができる。
- (6) インシデント・アクシデントが生じた際、的確に処置ができ、患者に説明することができる。
- (7) 初期臨床研修医や学生などに、外科診療の指導をすることができる。
- (8) すべての医療行為、患者に行った説明など治療の経過を书面化し、管理することができる。
- (9) 診断書・証明書などの書類を作成、管理することができる。

## ②経験目標（種類、内容、経験数、要求レベル、学習法および評価法）

### i 経験すべき疾患・病態

外科診療に必要な下記の疾患を経験または理解する。（研修手帳参照）

#### (1) 消化管および腹部内臓

##### ①食道疾患：

- 1) 食道癌
- 2) 胃食道逆流症（食道裂孔ヘルニアを含む）
- 3) 食道アカラシア
- 4) 特発性食道破裂

- ②胃・十二指腸疾患：
  - 1) 胃十二指腸潰瘍（穿孔を含む）
  - 2) 胃癌
  - 3) その他の胃腫瘍（GISTなど）
  - 4) 十二指腸癌
- ③小腸・結腸疾患
  - 1) 結腸癌
  - 2) 腸閉塞
  - 3) 難治性炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病、腸管ベーチェット病など）
  - 4) 憩室炎・虫垂炎
- ④直腸・肛門疾患
  - 1) 直腸癌
  - 2) 肛門疾患（内痔核・外痔核、痔瘻）
- ⑤肝臓疾患
  - 1) 肝細胞癌
  - 2) 肝内胆管癌
  - 3) 転移性肝腫瘍
- ⑥胆道疾患
  - 1) 胆道癌（胆嚢癌、胆管癌、乳頭部癌）
  - 2) 胆石症（胆嚢結石症、総胆管結石症、胆嚢ポリープ）
  - 3) 胆道系感染症
- ⑦膵臓疾患
  - 1) 膵癌
  - 2) 膵管内乳頭状粘液性腫瘍、粘液性嚢胞腫瘍
  - 3) その他の膵腫瘍（膵内分泌腫瘍など）
  - 4) 膵炎（慢性膵炎、急性膵炎）
- ⑧脾臓疾患
  - 1) 脾機能亢進症
  - 2) 食道・胃静脈瘤
- ⑨その他
  - 1) ヘルニア（鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア）
  - 2) 腸間膜虚血性疾患（塞栓、血栓、NOMI）
- (2) 乳腺
  - ①乳腺疾患
    - 1) 乳癌
- (3) 呼吸器
  - ①肺疾患
    - 1) 原発性肺腫瘍
    - 2) 転移性肺腫瘍
    - 3) 先天性肺疾患
    - 4) 炎症性肺疾患
  - ②縦隔疾患
    - 1) 縦隔腫瘍
    - 2) 頸胸境界領域疾患
  - ③胸壁・胸膜疾患
    - 1) 気胸
    - 2) 膿胸
    - 3) 胸壁・胸膜腫瘍

- ④気道系疾患
  - 1) 気道異物・閉塞
  - 2) 気道系腫瘍
- (4) 心臓・大血管
  - ①後天性心疾患
    - 1) 虚血性心疾患
    - 2) 弁膜症
  - ②先天性心疾患
  - ③大動脈疾患
    - 1) 動脈瘤（胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、解離性大動脈瘤）
- (5) 末梢血管（頭蓋内血管を除く）
  - 1) 閉塞性動脈硬化症
  - 2) 下肢静脈瘤
- (6) 頭頸部・体表・内分泌外科（皮膚、軟部組織、顔面、唾液腺、甲状腺、上皮小体、性腺、副腎など）
  - 1) 甲状腺癌
  - 2) 体表腫瘍
- (7) 小児外科
  - 1) ヘルニア（鼠径ヘルニア、臍ヘルニアなど）
  - 2) 陰嚢水腫、停留精巣、包茎
  - 3) 腸重積症
  - 4) 虫垂炎
- (8) 外傷

ii 経験すべき診察・検査等

外科診察に必要な下記の検査・診察（管理）を経験する。

- (1) 下記の検査手技ができる。
  - ①超音波検査：自身で実施し、病態を診断できる。
  - ②エックス線単純撮影、CT、MRI：適応を決定し、読影することができる。
  - ③上・下部消化管造影、血管造影等：適応を決定し、読影することができる。
  - ④内視鏡検査：上・下部消化管内視鏡検査、気管支内視鏡検査、術中胆道鏡検査、ERCP等の必要性を判断し、読影することができる。
  - ⑤心臓カテーテル：必要性を判断することができる。
  - ⑥呼吸機能検査の適応を決定し、結果を解釈できる。
- (2) 周術期管理ができる。
  - ①術後疼痛管理の重要性を理解し、これを行うことができる。
  - ②周術期の補正輸液と維持療法を行うことができる。
  - ③輸血量を決定し、成分輸血を含め適切に施行できる。
  - ④出血傾向に対処できる。
  - ⑤血栓症の治療について述べることができる。
  - ⑥経腸栄養の投与と管理ができる。
  - ⑦抗菌薬の適正な使用ができる。
  - ⑧抗菌薬の有害事象に対処できる。
  - ⑨デブリードマン、切開およびドレナージを適切にできる。
- (3) 次の麻酔手技を安全に行うことができる。
  - ①局所・浸潤麻酔
  - ②脊椎麻酔
  - ③硬膜外麻酔（望ましい）
  - ④気管挿管による全身麻酔

- (4) 外傷の診断・治療ができる。
- ①すべての専門領域の外傷の初期治療ができる。
  - ②多発外傷における治療の優先度を判断し、トリアージを行うことができる。
  - ③緊急手術の適応を判断し、それに対処することができる。
- (5) 以下の手技を含む外科的クリティカルケアができる。
- ①心肺蘇生法—一次救命処置(Basic Life Support)、二次救命処置(Advanced Life Support)
  - ②動脈穿刺
  - ③中心静脈カテーテルの挿入とそれによる循環管理
  - ④人工呼吸器による呼吸管理
  - ⑤気管支鏡による気道管理
  - ⑥熱傷初期輸液療法
  - ⑦気管切開、輪状甲状軟骨切開
  - ⑧心嚢穿刺
  - ⑨胸腔ドレナージ
  - ⑩ショックの診断と原因別治療（輸液、輸血、成分輸血、薬物療法を含む）
  - ⑪播種性血管内凝固症候群(disseminated intravascular coagulation)、多臓器不全(multiple organ failure)、全身性炎症反応症候群(systemic inflammatory response syndrome)、代償性抗炎症性反応症候群(compensatory anti-inflammatory response syndrome)の診断と治療
  - ⑫化学療法（抗腫瘍薬、分子標的薬など）と放射線療法の有害事象に対処することができる
- (2) 350例の手術手技を経験する（NCDに登録されていることが必須）
- (3) ②のうち、術者として120例以上を経験する（NCDに登録されていることが必須）
- (4) 各領域の基本的な手術手技を経験する ※（ ）内は最低症例数
- ①消化管及び腹部内蔵（50例）
  - ②乳腺（10例）
  - ③呼吸器（10例）
  - ④心臓・大血管（10例）
  - ⑤末梢血管（頭蓋内血管を除く）（10例）
  - ⑥頭頸部・体表・内分泌外科（皮膚、軟部組織、顔面、唾液腺、甲状腺、上皮小体、性腺、副腎など）（10例）
  - ⑦小児外科（10例）
  - ⑧外傷の修練（10点）\*
  - ⑨上記、①～⑦の各分野における内視鏡手術（腹腔鏡・鏡腔鏡を含む）（10例）
- ※初期臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例（NCDに登録されていることが必須）は、研修プログラム統括責任者が承認した症例に限定して、手術症例数に加算できる。
- ※術者として独立して実施できる一定数は設定しない。
- \* 体幹（胸腹部）臓器損傷手術 3点（術者）、2点（助手）
- ・上記以外の外傷手術（NCDの規定に準拠）・・・1点
  - ・日本外科学会外傷講習会受講・・・・・・・・・・1点
  - ・日本外傷診療研究機構 e-learning 受講・・・・・・・・2点
  - ・外傷初期診療研修コース（JATEC）受講（日本外傷診療研究機構）・・・・4点
  - ・動物もしくは遺体を用いた外傷研修コース・・・・4点
    - ATOM（Advanced Trauma Operative Management）コース
    - DSTC™（Definitive Surgical Trauma Care）コース
    - ASSET（Advanced Surgical Skills for Exposure in Trauma）
  - ・外傷外科手術指南塾受講（日本 Acute Care Surgery 学会主催講習会）・・・・3点
  - ・日本腹部救急医学会認定医制度セミナー受講・・・・1点
  - ・日本 Acute Care Surgery 学会外傷教育セミナー・・・・1点
  - ・日本外傷学会外傷教育セミナー受講・・・・・・・・1点

(5) 地域医療の経験（病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療）

地域医療への外科診療の役割を習熟し、実行できる。

- ①連携施設（または基幹施設）において地域医療を経験し、病診連携・病病連携を理解し実践する。
- ②地域で進展している高齢化または都市部での高齢者急増に向けた地域包括ケアシステムを理解し、介護と連携して外科診療を実践する。
- ③在宅医療を理解し、終末期を含めた自宅療法を希望する患者に病診または病病連携を通して在宅医療を実践する。

2. 学術活動

- (1) 指定の学術集会または学術刊行物に、筆頭者として研究発表あるいは論文発表\*をする
- (2) 日本外科学会定期学術集会に1回以上参加する
- (3) 臨床研修また学術研究に参加し、医の倫理と後進の教育指導ができる'Academic surgeon'を目指すのに 必要な基礎的知識、スキルおよび志を修得する。

\* 学術発表における必要な業績（筆頭者）は下記の合計 20 単位を必要とする

研究発表	
(1) 日本外科学会定期学術集会	20 単位
(2) 海外の学会（例：American Society of Clinical Oncology など）	20 単位
(3) 外科系（サブスペシャリティ）の学会の年次総会、定期学術集会 （例：日本消化器外科学会、日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会、日本小児外科学会など）	15 単位
(4) 全国規模の外科系（サブスペシャリティ）以外の学会の年次総会、定期学術集会 （例：日本消化器病学会、日本内視鏡外科学会、日本救急医学会、日本癌学会など）	10 単位
(5) 外科系（サブスペシャリティ）の学会の地方会、支部会（例：研究発表(3)参照）	7 単位
(6) 各地区外科集談会（例：外科集談会、大阪外科集談会、九州外科学会、山陰外科集談会など）	7 単位
(7) 全国規模の研究会（例：大腸癌研究会、日本肝移植研究会、日本ヘルニア研究会など）	7 単位
(8) 地区単位の学術集会、研究会（例：北海道医学大会、四国内視鏡外科研究会、九州内分泌学会など）	5 単位
(9) 全国規模の外科系（サブスペシャリティ）以外の学会の地方会、支部会 （例：研究発表(4)参照）	3 単位
(10) その他	3 単位
論文発表	
(1) 日本外科学会雑誌、Surgery Today	20 単位
(2) 英文による雑誌（例：Journal of clinical oncology, Annals of Surgery など）	20 単位
(3) 著作による書籍	20 単位
(4) 外科系（サブスペシャリティ）の学会の和文雑誌（例：研究発表(3)参照）	15 単位
(5) 全国規模の外科系（サブスペシャリティ）以外の学会の和文雑誌（例：研究発表(4)参照）	10 単位
(6) 編纂された書籍の一部	10 単位
(7) その他	7 単位
(8) 論文査読：Surgery Today および Surgical Case Reports 投稿論文査読 1 編につき 5 単位（単位は仮）	

3. 臨床現場を離れた学習

臨床現場以外でも知識やスキル獲得のため学会やセミナーに参加する。セミナーには学会主催または専門研修施設群主催の教育研修（医療安全、感染対策、医療倫理、救急など）、臨床研究・臨床試験の講習（eラーニングなど）、外科学の最新情報に関する講習や大動物（ブタ）を用いたトレーニング研修が含まれる。医療安全講習会、感染対策講習会、医療倫理講習会の受講はそれぞれ1単位合計3単位を必須とする。（1回の講習は1時間とし、1時間の講習受講をもって1単位と算定）

#### 4. 自己学習

自己学習は、生涯学習の観点から重要である。外科領域は広範囲にわたるため、研修施設での臨床修練だけでなく書籍や論文などを通読して幅広く学習する。さらに日本外科学会が作成しているビデオライブラリーや日本消化器外科学会が用意している教育講座（eラーニング）、各研修施設群などで作成した教材などを利用して深く学習する。

#### 5. 専門研修中の年度毎の知識・技能・態度の修練プロセス

各専門研修プログラムで年度次ごとの研修目標と修練内容を設定し、個々の専攻医に合わせた研修計画を示して、年度毎の修練プロセスを明示する。また、年度毎に到達度の自己評価および指導評価を受け、付属分については次年度での研修を行う。

##### 専門研修1年目

知識：外科診療に必要な基礎的知識・病態を習得す。

技能：外科診療に必要な検査・処置・手術（助手）・麻酔手技・術前術後のマネージメントを習得する。外傷領域、消化管および腹部内臓領域、乳腺領域、小児外科領域、およびそれぞれ領域の内視鏡外科の研修

態度：医の倫理や医療安全に関する基盤の知識を持ち、指導医とともに患者中心の医療を行う

■希望診療科Aに所属し、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、腎臓外科、（麻酔科、救命救急）の研修を行う＜経験症例150例、術者30例＞

##### 専門研修2年目

知識：専門研修2年間で専門知識、専門技能、経験症例の知識を習得する。

技能：専門研修1年目の研修事項を確実にこなすことを踏まえ、不足した領域の症例経験と低難度手術から術者としての基本的スキル修得を目指す。外傷領域、呼吸器領域、心臓・大血管、末梢血管領域、頭頸部・体表・内分泌外科領域、およびそれぞれ領域の内視鏡外科の研修

学問：経験した症例の学会発表を行う基本的能力を身に付ける。

態度：医の倫理や医療安全を習得し、プロフェッショナリズムに基づく医療を実践できる。

■消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、腎臓外科（麻酔科、救命救急）、または連携施設の研修を行う＜経験症例200例、術者60例＞

##### 専門研修3年目

知識：サブスペシャリティまたはそれに準じた外科関連領域の基盤となる外科領域全般の専門知識、専門技能、経験症例の知識を習得する。

技能：専門研修2年間で修得できなかった領域の修得を目指す。専門研修2年間の研修事項を確実にこなすことを踏まえ、より高度な技術を要するサブスペシャリティ（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）またはそれに準じた外科関連領域の研修を進める。

学問：学会発表・論文執筆の基本的知識を身に付ける。

態度：倫理感に根ざした患者中心の安全な医療を実践し、研修医や学生などのロールモデルとなる。

■消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、腎臓外科（麻酔科、救命救急）、連携施設で外科研修を行う。＜経験症例200例、術者60例＞




ただし不足症例に関しては、各領域に特化した施設及び本学をローテートし到達度の達成を目指す。また、3年間を通して学術発表20単位以上を目指す。

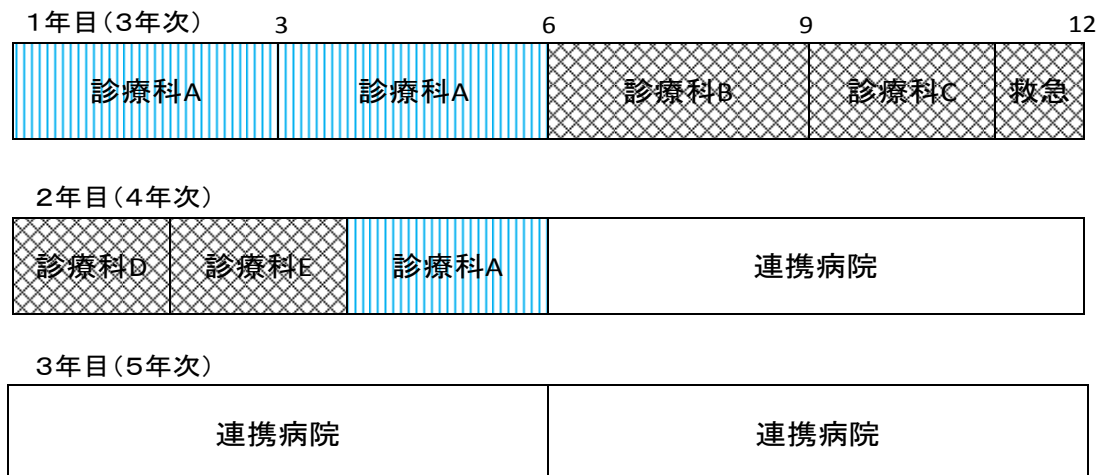


<具体例>

本大学外科専門研修プログラムの1例を下記に示す。

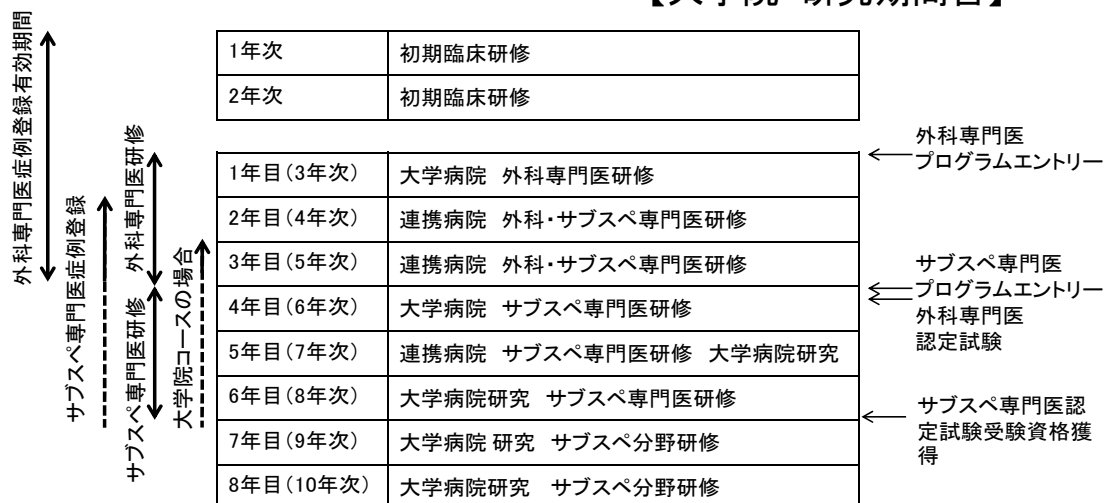
## ■ 外科研修プログラムの一例

-  所属希望診療科
-  所属大学ローテーション
-  連携施設



## ■ 初期からサブスペシャリティ研修の一例

【大学院・研究期間含】



- ・ 5年間の研修で6年次に外科専門医を取得
- ・ 外科専門医研修期間中にサブスペ専門医研修へのエントリーを決定
- ・ 7年間の研修で(8年次に)サブスペ専門医受験資格獲得を目指す
- ・ 大学院コース(4年間)は基本3年目より開始。症例数によって外科専門医研修期間(通常3年間)を延期する場合あり

<研修期間>

専攻医の研修期間は初期臨床研修修了後3年（以上）とする。

<研修スケジュール>

※初期臨床研修修了時の到達度をチェックした上で、1年目に麻酔科、救命救急の研修を行う場合がある。

1年次	東京女子医科大学病院	消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、内分泌外科、外科、(麻酔科、救命救急)
2年次	東京女子医科大学病院／連携施設	研修進捗により年次初めからの連携施設研修可能である
3年次	東京女子医科大学病院／連携施設	不足症例に関して各領域をローテート

【消化器・一般外科連動型の概要】

4年次	東京女子医科大学病院消化器外科	消化管外科/肝胆膵外科/移植外科
5年次	連携施設 東京女子医科大学病院消化器外科	消化器外科専門医症例を経験する サブスペシャリティ外科専属

【心臓血管外科連動型の概要】

4年次	連携施設 東京女子医科大学病院心臓血管外科	成人心臓血管外科/小児心臓血管外科/補助心臓班ローテーション/連携施設ローテーション
5年次	連携施設 東京女子医科大学病院心臓血管外科	成人心臓血管外科/小児心臓血管外科/補助心臓班ローテーション/連携施設ローテーション

【呼吸器外科連動型の概要】

4年次	東京女子医科大学病院呼吸器外科	呼吸器外科全般
5年次	連携施設 東京女子医科大学病院呼吸器外科	呼吸器外科専門医症例の経験 サブスペシャリティ外科専属

【小児外科連動型の概要】

4年次	東京女子医科大学病院小児外科 連携施設	日本小児外科学会認定施設または教育関連施設で、小児外科専門医症例を経験する
5年次	東京女子医科大学病院小児外科 連携施設	日本小児外科学会認定施設または教育関連施設で、小児外科専門医症例を経験する

【乳腺外科連動型の概要】

専攻医 1,2,3年次とも、乳癌学会認定施設あるいは認定関連施設での研修が必須。

4年次	東京女子医科大学病院乳腺内分泌外科	乳腺外科専属、乳腺認定医症例を経験、学位研究開始、外科専門医取得
5年次	東京女子医科大学病院乳腺内分泌外科	乳腺外科専属、乳腺専門医症例を経験、乳腺認定医取得

【内分泌外科連動型の概要】

4年次	東京女子医科大学病院乳腺内分泌外科	内分泌外科&乳腺外科の研修
5年次	連携施設 東京女子医科大学病院乳腺内分泌外科	内分泌外科専門医取得に向けて基本の手術を術者として経験

【腎臓外科連動型の概要】

4年次	東京女子医科大学病院腎臓外科	腎臓移植、バスキュラーアクセス手術
5年次	連携施設	外科専門医取得に向けて研修

- ①初期臨床研修修了時の外科症例経験は NCD 登録によって確認し、研修スケジュールは柔軟に対応する
- ②1年次（卒後3年目）は基幹施設で研修する
- ③2年次3年次のうち少なくとも1年間は連携施設で研修する
- ④原則、ローテーションは本人の希望優先とする。ただし、外科専門医を取るにあたり足りない症例を第一に経験させる為、多少の変更はある
- ⑤希望を出した上で、経験症例を加味し連携施設を決定する

<研修の週間および年間スケジュール>

① 週間スケジュール（本学消化器・一般外科の場合）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
7:30～8:30	症例カンファレンス							
7:30～8:30	抄読会・緊急手術報告							
8:30～9:00	教授回診							
18:00～19:00 不定期	内科外科病理合同カンファレンス							
8:00～9:00	医局会・スタッフ会議（1回/月）							
18:00～19:30	消化器病フォーラム（不定期）							

※他の週間スケジュールは各診療科紹介及び連携施設紹介ページを参照

②年間スケジュール（案）

月	全体行事予定	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外科専門研修開始。オリエンテーションにて研修マニュアルおよび研修手帳の配布。</li> <li>・日本外科学会参加予定（発表）。</li> </ul>	医療安全講習会、 感染対策講習会、 医療倫理講習会は 1年目で受講とする
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修修了者：専門医認定審査申請・提出</li> </ul>	
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修修了者：専門医認定審査（筆記試験）</li> </ul>	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床外科学会参加予定（発表）。</li> </ul>	各学会の年次総会、 定期学術集会等は各 診療科の研修中に参 加予定とする
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専攻医：研修目標達成評価および経験症例数の作成 研修プログラム評価報告の作成</li> <li>・指導医、指導責任者：指導実績報告の作成</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その年度の研修修了</li> <li>・専攻医：その年度の研修目標達成評価および経験症例数の報告書提出</li> <li>・指導医、指導責任者：前年度の指導実績報告書提出</li> <li>・研修プログラム管理委員会開催</li> </ul>	

<施設群による研修プログラムおよび地域医療について>

①本研修プログラムでは、地域の連携施設とともに病院施設群を構成している。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能である。大学の研修で不足しがちな **common diseases** の症例を地域の連携病院で経験し、医師としての基本的な力を獲得するプログラムとしている。多種多様な症例を経験するために、本大学および地域の連携施設で研修を行うことが重要である。また、指導内容や経験症例数に不公平が生じないように十分配慮する。

施設群における研修の順序、期間等については、専攻医数や個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、本大学外科専門研修プログラム管理委員会が決定する。

②地域の連携病院では多くの症例を経験することができる。また、地域医療における病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療などの意義について学ぶ。以下に本研修プログラムにおける地域医療についてまとめる。

- ◆本研修プログラムの連携施設には、その地域における地域医療の拠点となっている施設があり、連携施設での研修中に以下の地域医療（過疎地域も含む）の研修が可能。
- ◆地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携のあり方について理解し実践する。
- ◆消化器がん患者の緩和ケアなど、ADLの低下した患者に対して、在宅医療や緩和ケア専門施設などを活用した医療が経験できる。

#### <研修評価・修了>

- ①指導医マニュアルに沿って専攻医を形式的に評価する  
(1) 専門研修の1年目、2年目、3年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価する。
- ②研修施設の移動やローテーション毎に、研修マニュアルに基づく研修目標達成度評価を行い、研修プログラム管理委員会に報告する
- ③3年次（卒後5年目）専門研修プログラム修了時に外科専門医研修プログラム管理委員会にて総括的評価を行う  
(1) 知識、病態の理解度、処置や手術手技の到達度、学術業績、プロフェッショナルとしての態度と社会性など、年度ごとに行われる形式的評価を参考に評価する。最終年度の専攻医指導評価と目標達成度評価報告で基準以下（到達レベルDまたは1.劣る）の場合は未修了とする  
(2) 多職種（看護師など）のメディカルスタッフの意見も取り入れて評価を行う  
(3) 研修期間中の休止期間が規定を超える場合、専門研修修了時に未修了扱いとし、原則、引き続き同一の専門研修プログラムで研修を行い、規定を超えた休止日数分以上の日数の研修を行う

#### <研修修了認定>

3年次（卒後5年目）専門研修プログラム修了時に外科専門医研修プログラム管理委員会より、総括的評価にて修了要件を満たした者に対しては、外科専門医研修修了証を交付する

#### <プログラム修了後の進路>

東京女子医科大学のサブスペシャリティのプログラムに移行可能である。また、他施設のサブスペシャリティ単独型コースへの移行も可能である

#### <専門医研修期間の猶予>

- ① 3年間の専門研修プログラムにおける休止期間は最長180日とする。
- ②妊娠・出産・育児、傷病・その他の正当な理由による休止期間が180日を超える場合、研修延期となり、引き続き同一の専門研修プログラムで休止日数分以上の研修を行う。
- ③大学院（研究専任）、または留学などによる研究専念期間が6か月を超える場合、研修延期となり、②同様、休止日数分以上の研修を行う。（ただし大学院コースの場合は例外とする。）
- ④専門研修プログラムの移動は原則認めない。（ただし、結婚・出産・傷病、親族の介護、その他正当な理由などで同一のプログラムでの専門研修継続が困難となった場合で、本人より申し出があり、外科研修委員会の承認があれば、他の外科専門研修プログラムに移動できる。）
- ⑤症例経験基準、手術経験基準を満たしていない場合にも未修了として取扱い、原則と

して引き続き同一の専門研修プログラムで当該専攻医の研修を行い、不足する経験基準以上の研修を行うことが必要である。

ただし、休止期間中の学会参加実績、論文、発表実績、講習受講実績は、専門医認定要件への加算を認める。(中断期間中のものは認めない。)

#### <専門研修実績記録システム、マニュアル等>

研修実績および評価の記録

外科学会のホームページにある書式(専攻医研修マニュアル、研修目標達成度評価報告用紙、専攻医研修実績記録、専攻医指導評価記録)を用いて、専攻医は研修実績(NCD登録)を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受ける。

専攻医の研修履歴(研修施設、期間、担当した専門研修指導医)、研修実績、研修評価および専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価を保管する。

プログラム運用マニュアル

◆専攻医研修マニュアル ※別紙「専攻医研修マニュアル」参照

◆指導者マニュアル ※別紙「指導者マニュアル」参照

◆専攻医研修実績記録フォーマット

「専攻医研修実績記録」に研修実績を記録、手術症例はNCDに登録

◆指導医による指導とフィードバックの記録

「専攻医研修実績記録」に指導医による形成的評価を記録

#### <専攻医募集及び選考方法>

①応募時期：公募

②応募人数：20名

③応募書類：願書、履歴書、写真(無帽上半身・カラー光沢3×4cm)、最終学歴卒業証明書、医師免許証(写し)、健康確認票(指定書式)、初期研修修了(見込み)証明書(書式不問)

④選考方法：試験(小論文)、面接

⑤選考時期：未定(詳細は病院HPで確認)※募集定員に満たない場合は追加試験あり

⑥選考結果：専攻医登録システムによりメールにて通知予定

#### <身分及び待遇>

①身分：東京女子医科大学病院の後期研修医(常勤)として採用する

②給与：本学規定により支給

③保険関係：本学健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険に加入

#### <資料請求先>

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学病院 卒後臨床研修センター

TEL 03-3353-8111(内線20331~2)

FAX 03-5269-7825

e-mail sotsuken.bm@twmu.ac.jp

東京女子医科大学病院

診療科紹介

## 診療科名：消化器・一般外科

### 1. 診療科の特徴

創立者である中山恒明先生の理念のもと、優れた臨床医の育成を目指した卒後研修として医療練士制度を骨格とした卒後臨床研修が中心となり、多くの同門生を輩出しています。

中心理念は“患者さんを中心とした医療”であり、心温かな良い臨床医を育てることを目標にしています。5年間のプログラムを完遂することで、どのような消化器病疾患にも対応可能である医療人を育成いたします。初期1年間は上部・下部消化管・肝・胆・膵グループをローテーションします。同時に内視鏡検査・超音波検査・レントゲン検査、病理の基本を学び診断から治療まで総括的な研修を行います。消化器外科医でありながら内視鏡専門医の習得も可能です。2年目からは2年間研修連携病院にて初期1年間で学んだことの実践、あわせて手術手技の研鑽を積みます。最後の2年間は大学へ帰局し、サブスペシャリティとしての研究班にフィックスし、より高い専門性を持った研修を行います。また内視鏡や超音波、IVRなどでは診断のみならず、ESDやPTCD・ENBD・RFA・TACEなど治療の実践を目的とした研修を行います。

### 2. 指導医・外科スタッフ（12名）

教授・講座主任	山本雅一	講師	小寺由人
教授	江川裕人	講師	大木岳志
教授	板橋道朗	講師	樋口亮太
准教授	井上雄志	講師	小川真平
准教授	有泉俊一	講師	成宮孝祐

### 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
食道亜全摘再建術	44件	0件	44件
胃悪性腫瘍手術	110件	40件	70件
結腸・直腸切除術	143件	50件	93件
炎症性腸疾患	41件	10件	31件
肝切除術	145件	20件	125件
膵臓悪性腫瘍手術	66件	0件	66件
胆道疾患手術	143件	60件	83件
肝移植術	15件	0件	15件
その他の消化器・一般外科疾患	339件	150件	189件
合 計	1046件	330件	716件

### 4. 取り扱っている疾患の特徴

消化器の疾患についてはすべての疾患を網羅し、食道、胃、小腸、大腸、肛門、肝胆膵などすべての消化器（胃腸科）疾患に対する検査、治療を行っている。検査はレントゲン、内視鏡、超音波（エコー）、CT、MRIなどを主に行い、治療では内科的、外科的治療の他、ESD等の内視鏡治療や腹腔鏡・ロボット支援手術も行っている。また肝臓に対するラジオ波治療や肝動脈塞栓術(TACE)にも力を入れている。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7:30～8:30	症例カンファレンス				■			
7:30～8:30	抄読会・緊急手術報告		■					
8:30～9:00	教授回診				■			
18:00～19:00 不定期	内科外科病理合同カンファレンス	■						
8:00～9:00	医局会・スタッフ会議（1回/月）						■	
18:00～19:30	消化器病フォーラム（不定期）			■				

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

上部・下部消化管から肝胆膵・移植手術まで高難度手術も含めすべての領域に渡り研修することができます。外科医としての手技の研鑽のみならず、各種専門医取得に必要な手技や消化器内視鏡や超音波、IVRの手技全般も習得することができます。一度見学においでください。

## 7. 連絡先

病院名：東京女子医科大学病院 消化器・一般外科

住 所：〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

T E L：03-3353-8111

担当者：医局長 工藤健司

e-mail：kudo.kenji@twmu.ac.jp

U R L：消化器病センターHP <http://www.twmu.ac.jp/IGE/>



## 診療科名：心臓血管外科

### 1. 診療科の特徴

日本心臓血圧研究所として1951年の開設以来、積み重ねた症例数は35,000例を超えており、国内随一のhigh volume centerとして心臓血管外科領域の手術を行っている。虚血性心疾患や大動脈疾患、弁膜症、先天性心疾患のみならず重症心不全に対する植込型補助人工心臓(VAD)、心臓移植、さらには血管内治療(ステントグラフト、ステントバルブ等)と、心臓血管外科領域のあらゆる専門分野の手術を行っている。当科ではこれら全ての疾患とそれに対する手術、術後管理を網羅的に研修することを必須としている。当科における研修は、専門医となるための必須条件を満たしており、将来、心臓血管外科領域の中で更に専門分野の選択する際にも、選択肢の幅は最大限にあるのが特徴である。

#### ① 豊富な症例数と幅広い専門分野

虚血性心疾患、弁膜症、大動脈疾患、先天性心疾患、重症心不全/心臓移植、血管内治療の各分野の研修・研究を行う。重症例の術後管理を成し得るよう指導し、また早期から基本手技を習熟できる体制をとっている。ICUでの術後管理は、特に心臓血管外科手術術後の予後に大きく影響するために、その研修は必須となっている。IABP、PCPS、CHDFなどに加え、高度低心機能症例、VAD(補助人工心臓)や心臓移植後の術後管理、急変時の対応の技術・知識を習得する。基本的な気管内挿管、胸腔穿刺、中心静脈カテーテル挿入から、IABPやPCPSの挿入など、重症例の管理を行うにあたって必須の手技に関しては、早期より上級医の指導のもとに積極的に習熟する体制をとっている。また、若手医師にむけた勉強会も行い知識の習得にも力を入れている。Wet laboの開催、さらには国内外での学会発表、論文執筆を積極的に薦めている。

心臓血管外科のICU管理に麻酔科の心臓血管外科専門チーム(TCAT)も加わり、共に術後管理を行うことで、さらなる成績の向上を目指している。朝のICUラウンドでは、心臓血管外科医師、担当看護師だけでなく、麻酔科医、臨床工学士、薬剤師も参加し、多職種による多角的なディスカッションのもと、治療にあたっている。

さらに近年、VAD(補助人工心臓)や心臓移植の領域において、「ハートチーム」の重要性が指摘されている。当科では医師(心外・循環器内科)・看護師・臨床工学技士・リハビリ・リエゾン・移植コーディネーターなど多くの職種からなるシームレスな重症心不全チームを結成しており、患者中心の医療を提供できるように努めている。

2014年4月からは、最新式のハイブリッド手術室を導入し心血管治療においても高度なチーム医療を実践している。とりわけ動脈瘤治療の分野では、開窓型ステントグラフト(高度医療機器承認、グッドデザイン賞受賞)を導入することで、日本で初めてステントグラフト実施基準の施設認定を取得して以来、世界最高水準の大動脈瘤の血管内治療を展開している。循環器内科とのハートチームによる経皮的動脈弁置換術(TAVI)、Mitral clipや、エキシマレーザーによるペースメーカーリード抜去など、この施設でしか経験できない治療も数多く行っている。

#### ② 海外留学、研究などの選択肢の多様性

当科では、海外留学を積極的に進めており、世界各地の施設に常時5~6名の医局員が留学している。また大学院での研究も可能で、自分が興味のある研究テーマを研究することが可能である。本学はもとより、TWIns(東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究施設)での研究や、他施設や他科との共同研究も可能となっている。

#### ③ 豊富な関連病院

当科は心臓血管外科黎明期から手術を行い、多くの心臓外科医を輩出し、全国各地の病院に心臓血管外科を立ち上げてきたという歴史的背景があり、年間症例数100~200の開心術を行っている関連病院が多数ある。関連病院・出向先には、東京女子医科大学八千代医療センター、東京女子医科大学東医療センター、仙台循環器病センター、北海道循環器病院、松戸市立総合医療センター、聖隷浜松病院、山梨県立中央病院、長野中央病院、岐阜県立総合医療センター、済生会熊本病院、綾瀬循環器病院、伊勢崎市民病院、国立循環器病研究センター、千葉県こども病院、国立病院機構横浜医療センター、富山県立中央病院、長野県立こども病院、愛媛県立中央病院、福山循環器病院、荻窪病院、市立函館病院、千葉西総合病院、さいたま市立病院、大和成和病院、日高病院、等がある。

#### ④ 先端医療

東京女子医科大学・早稲田大学で研究開発を行った植込型補助人工心臓EVAHEARTは良好な治療成績を上げ厚生労働省より承認を受け、市販後も良好な成績を上げている。成人・小児の心臓移植認定施設となっている。組織工学を応用した再生血管の臨床応用を世界に先駆けて行った他、虚血性心疾患を持つ重症心不全への筋芽細胞シート移植手術

も保険償還され、積極的に行っている。弓部大動脈瘤や分岐部の複雑病変に対する開窓型ステントグラフト治療を多数行っており良好な成績を上げている。ステントバルブ（TAVI）も内科・外科協同ハートチームにより行っている。

### ⑤ 大学院

希望により大学院へ入学することが可能である。研究テーマに関しては教授・講座主任と相談して、興味ある分野での研究が可能である。

## 2. 指導医・外科スタッフ（9名）

教授・講座主任	新浪 博	准教授	新川武史	准教授	齋藤 聡
准教授	松村剛毅	講師	菊地千鶴男	講師	道本 智
講師	齋藤博之	講師	市原有起	医局長	駒ヶ嶺正英

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
開心術（各グループ配属時）	50～100件	数件	50～100件
非開心術（ペースメーカー等を含む）	20～50件	10前後件	20～50件
創傷処置・IABP等・必須外科処置	件	件	件
合 計	70～150件	10～20件	70～150件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

先天性心疾患・成人先天性心疾患・虚血性心疾患・弁膜症・大血管・不整脈・心筋症を含む重症心不全など、全ての心血管疾患を対象としている。補助人工心臓を使った重症心不全治療と再生医療で国内外の中心的役割を担っている。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7：20～7：50	カンファレンス							
7：50～8：20	講座主任総回診							
8：30/17：00/終了時	心臓病 ICU 申し送り							
9：00	手術（成人）							
9：00	手術（小児）							
9：00～	外来							
16：30～17：30	心外・循内合同カンファレンス							
9：00～	スタッフミーティング							
17：00～18：00	心不全・移植カンファレンス							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

当科医局員は一流の心臓外科医を目指し、日々研鑽を重ねています。見学は随時受け付けています。是非一度お越し下さい。

## 7. 連絡先

病院名：東京女子医科大学病院心臓血管外科  
 住 所：〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1  
 T E L：03-3353-8111  
 担当者：駒ヶ嶺正英  
 e-mail：surg.au@twmu.ac.jp  
 U R L：<http://twmu-cardiovascular.jp/>

## 診療科名：呼吸器外科

### 1. 診療科の特徴

疾患としては肺腫瘍（肺癌に加え、良性、悪性）、縦隔腫瘍（胸腺腫、胸腺癌、気管支原生嚢胞など）、嚢胞性肺疾患（気胸、巨大肺嚢胞など）が多く、その他には重症筋無力症、胸膜中皮腫、膿胸、喀血症例など、呼吸器外科全般について診療を行っている。約9割の症例は胸視下手術であるが、開胸手術では、血管形成、気管支形成など拡大手術を行っている。肺癌、縦隔腫瘍に対するロボット手術をいち早く導入しており、保険収載となった2018年4月以降、症例数は飛躍的に増加している。全国でも有数の経験を有する施設であり、他施設の医師が手術見学を行う施設として認定されている。従来胸腔鏡下手術においても、豊富な経験を生かして治療を行っており、早期肺癌や転移性肺腫瘍に対する区域切除では、術前3Dモデルを構築し、安全で正確な手術を行っている。また、硬性・軟性気管支鏡を用いたインターベンション治療では、気管気管支内レーザー焼灼、ステント挿入術、気管支充填術を行っている。

### 2. 指導医・外科スタッフ（5名）

教授・診療部長	神崎正人	助教	青島宏枝
講師	松本卓子	助教	前田英之
講師	井坂珠子		

### 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
気胸 胸腔鏡下肺部分切除術	10件	7件	3件
転移性肺腫瘍 胸腔鏡下部分切除術	14件	12件	2件
縦隔腫瘍摘出術	6件	0件	6件
肺癌 胸腔鏡下肺部分切除術	11件	7件	4件
肺癌 胸腔鏡下肺区域切除術	5件	0件	5件
肺癌 胸腔鏡下肺葉切除術	10件	0件	10件
気管支鏡下レーザー、ステント	0件	0件	0件
膿胸	5件	1件	4件
その他	12件	5件	7件
合計	73件	32件	41件

### 4. 取り扱っている疾患の特徴

当科では、胸部領域の心臓以外、つまり、胸壁、気管、気管支、肺、縦隔、横隔膜などの部位の疾患、手術を扱っている。疾患としては、肺癌がもっとも多く、ついで、転移性肺腫瘍、気胸などの嚢胞性肺疾患、縦隔腫瘍などが多い。また、大学病院であることより、他疾患合併症例（先天性心疾患術後を含む、心臓血管合併症例、腎移植後、糖尿病合併症

例、他臓器悪性腫瘍合併症例など多岐にわたる)を多く認める。

当科で施行している術式の特徴は、最新の低侵襲手術であるロボット手術を積極的に施行している点である。肺癌、縦隔腫瘍に対するロボット手術の豊富な経験を有している。また肺癌、転移性肺腫瘍などの悪性疾患のほか、良性疾患においても、できるだけ肺機能温存を目的とした区域切除を施行している。術前のCTよりCTTRYを用いて、肺の三次元画像(血管、気管支)を作製し、切除範囲の術前シミュレーションを行うことで、よりスムーズな、完全鏡視下手術を可能としている。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:40	抄読会 症例カンファレンス							
9:00～	手術							
9:00～12:00	午前外来							
1:30～4:00	午後外来							
9:00～17:00	病棟業務							
9:00～10:00	総回診							
8:40～8:50	朝回診							
16:00～16:30	夕回診							
18:00～19:00	呼吸器カンファレンス (月1回)							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

当科では肺癌を始めとする呼吸器外科的疾患全般に対して外科治療を行っています。年間の手術症例は250-300例でそのうち肺癌手術が100-120例程度です。全手術の約9割を低侵襲な胸腔鏡下に行っています。従来の胸腔鏡下手術はもちろん、最新のロボット手術を研修早期から経験することができます。早期肺癌、転移性肺腫瘍に対しては、当科独自の3次元画像を用いた正確な区域切除を行い、一方で局所進行病変に対しては拡大手術を必要に応じて選択しています。

当科の研修の特徴として、後期研修早期からの豊富な臨床、手術経験が挙げられます。各種専門医取得に必要な症例数をはるかに超える経験を積むことができ、最短年限で各種専門医を取得することが可能です。呼吸器外科に求められる手技をバランス良く経験できるため、Generalな呼吸器外科医をめざす方には最適な修練環境であると思います。

## 7. 連絡先

病院名：東京女子医科大学病院 呼吸器外科

住 所：〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

T E L：03-3353-8111 (代)

担当者：前田英之

e-mail：maeda.hideyuki@twmu.ac.jp

U R L：[www.twmu.ac.jp/CHI/](http://www.twmu.ac.jp/CHI/)

## 診療科名：小児外科

### 1. 診療科の特徴

東京女子医科大学小児外科は、都内でも有数の日本小児外科学会認定施設に認定されている。院内の他外科診療科と密に連携していると同時に、関連病院への出向は小児・成人に関わらず希望の病院を選択でき、小児外科専門医取得のための必須条件である外科専門医も余裕をもって最短で取得可能である。

また、小児科、腎臓小児科、循環器小児科、母子総合医療センター新生児部門、脳神経外科小児部門とともに小児総合医療センターが設立されており、高度な小児チーム医療の中で小児外科の研修を行うことが可能である。

### 2. 指導医・外科スタッフ（ 2名 ）

臨床教授 世川 修 助教 山口隆介

### 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
鼠径ヘルニア	55件	30件	25件
停留精巣、遊走精巣	30件	20件	10件
包茎	12件	8件	4件
臍ヘルニア	15件	8件	7件
虫垂炎	6件	4件	2件
その他、小手術	20件	10件	10件
合 計	138件	80件	58件

### 4. 取り扱っている疾患の特徴

小児外科の対象疾患は出生直後の新生児期から学童期(16歳未満)までの頭頸部・呼吸器・消化器・泌尿生殖器・内分泌臓器・体表・小児腫瘍であり、小児泌尿生殖器も含めた幅広い小児外科研修が可能である。当院では、小児総合医療センター内の各診療科が、非常に高度で専門性の高い小児医療を行っているため、診断・治療が困難である高度な合併奇形を有する小児症例が多いことが、大きな特徴となっている。

また、日本内視鏡外科学会技術認定取得医（小児外科領域）による腹腔鏡・胸腔鏡を用いた小児内視鏡手術や、小児消化器内視鏡診断・治療が大きな特徴となっており、最先端の小児内視鏡外科手術を研修することができる。

### 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
午前、午後	外来業務							
午後	外来透視検査、処置							
午前、午後	手術							
手術終了後	教授回診							
午前	症例検討会							
午後	手技練習会							
午後	入院透視検査、処置							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

東京女子医大小児外科の特徴である小児内視鏡（腹腔鏡・胸腔鏡）手術に関しては、多くの疾患を内視鏡下で診断・治療しており、先天性食道閉鎖症、先天性横隔膜ヘルニア、胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症、ヒルシュスプルング病、鎖肛などの小児外科を代表する新生児・乳児疾患に対しても、内視鏡手術を標準術式として行っています。当科では、最先端の小児内視鏡外科手術を学ぶことが可能です。

## 7. 連絡先

病院名：東京女子医科大学病院

住 所：〒162-8666 東京都 新宿区 河田町 8-1

T E L：03-3353-8111（大代表）

担当者：山口隆介

e-mail：yamaguchi-ryusuke@hotmail.co.jp

U R L：http://www.twmu.ac.jp/pediatric-surgery/

## 診療科名：乳腺内分泌外科

### 1. 診療科の特徴

乳腺の診療では、年間 250~300 症例の乳癌手術を行っており、近年同時再建症例も増加している。早期乳癌の手術だけでなく、薬物療法や放射線治療などの集学的治療も積極的に行っている。大学ならではの心疾患、腎疾患、糖尿病、リウマチ・膠原病などの合併症を有した症例経験も豊富である。

内分泌領域では甲状腺腫瘍や副甲状腺機能亢進症のほか副腎腫瘍、希少疾患である多発性内分泌腫瘍症、副腎癌そしてまれな内分泌癌（甲状腺髄様癌、甲状腺未分化癌、副甲状腺癌、副腎癌、悪性褐色細胞腫）などを経験している。

乳腺内分泌領域の疾患は専門性が高いが一般外科の診療で遭遇することも稀でない。職業人としての確かな判断と対応ができるよう、まず基本となる知識と技能を身に付ける研修を行う。また、乳腺内分泌外科にとどまらず、関連病院とも密に連携して幅広い一般外科診療の能力を磨くこともできる。

### 2. 指導医・外科スタッフ（6名）

教授・講座主任	岡本高宏
教授	神尾孝子
講師	堀内喜代美
准講師	坂本明子
准講師	尾身葉子
准講師	野口英一郎

### 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数（2018 年実績）	術者*	第一助手*
甲状腺悪性腫瘍	100 件	8 件	12 件
甲状腺良性腫瘍、バセドウ病	52 件	4 件	7 件
原発性副甲状腺機能亢進症	45 件	4 件	6 件
続発性副甲状腺機能亢進症	4 件	4 件	1 件
副腎腫瘍	21 件	0 件	8 件
乳がん	244 件	7 件	25 件
その他	41 件	2 件	0 件
合 計	507 件	27 件	59 件

\* 術者、第一助手としての症例数は、実際に 2018 に後期研修医が経験をした数です。

### 4. 取り扱っている疾患の特徴

乳腺、甲状腺、副甲状腺そして副腎などホルモンが関与する臓器の疾患を扱っている。これらの臓器に生じた腫瘍や機能亢進症を外科的に治療する。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8：30～17：00	手術	■		■		■		
9：00～17：00	外来	■	■	■	■	■	■	
9：00～17：00	病棟業務	■	■	■	■	■	■	
8：00～8：45	朝カンファレンス	■		■		■		
9：00～8：40	教授あるいはスタッフ回診		■		■			
16：40～17：00	術後カンファレンス	■						
17：00～17：40	研究カンファレンス（第三水曜日、任意）			■				
17：05～17：45	放射線・病理・外科カンファレンス （第二水曜日、任意）			■				
17：00～18：40	内分泌センター合同カンファレンス （2ヵ月毎、任意）	■						

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

大学院を含め、学位取得を積極的に支援しています。医学研究は新しい知識や技術を創造する知的活動です。価値ある成果を得るために心を砕き、それを伝える言葉の選び方、使い方にも気を遣うことは普段の臨床で「他を思う心」（仁）にも繋がります。大学で学ぶことの意義がここにあるのです。「安心を届け、つらさを分かち合う」医療を実践するために生涯をかけて知識、技能、そして態度を学び続ける。私たちはそういう価値観を共有しています。

## 7. 連絡先

病院名：東京女子医科大学病院  
 所在地：〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1  
 TEL：03-3353-8111  
 担当者：岡本高宏  
 e-mail：okamoto.takahiro@twmu.ac.jp  
 URL：



# 診療科名：腎臓外科

---

## 1. 診療科の特徴

腎臓、膵臓などの臓器移植、腎不全外科、一般外科、血液浄化療法、人工臓器の研究と診療を行っている。腎移植、膵移植の分野では国内随一の症例数を有し、新規の免疫抑制療法や術式等を内外に発信し、生存率、生着率等においても良好な成績を収めている。研究面では移植免疫寛容、異種移植等の基礎研究、臨床研究に携わっている。本教室の研究・診療の目標は、臓器不全に対して総合的にアプローチすることであり、さまざまな方向から患者本位の医療の発展に向け力を注いでいる。

## 2. 指導医・外科スタッフ（4名）

講師 中島一朗  
助教 小山一郎  
助教 北島久視子  
助教 三宮彰仁

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
生体腎移植術	90件	10件	35件
屍体腎移植術	10件	2件	8件
膵移植術	10件	0件	5件
屍体腎摘出術	10件	3件	7件
屍体膵摘出術	10件	3件	7件
移植用腎採取術	90件	5件	40件
バスキュラーアクセス手術	700件	100件	200件
経皮的血管拡張術	700件	100件	200件
副甲状腺全摘術	20件	5件	5件
一般外科・腹部外科手術	20件	10件	10件
合 計	1,660件	238件	517件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

腎臓、膵臓などの臓器移植

透析用バスキュラーアクセスの手術、IVR

副甲状腺機能亢進症などの腎不全関連疾患の手術

その他一般外科手術

臓器移植、免疫低下状態における合併疾患（肺炎や悪性腫瘍など）の診療

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
午前 7 時 30 分	病棟回診	■				■		
午前 8 時	抄読会		■					
午前 8 時	症例検討会			■				
午前 8 時	医局会（第二木曜日）				■			
午前 8 時	勉強会（第一、三、四木曜日）				■			

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

抹消血管外科領域（透析用バスキュラーアクセス）に関して十分な症例数を経験できません。

## 7. 連絡先

病院名：東京女子医科大学病院腎臓外科

住 所：〒

T E L :

担当者：小山一郎（医局長）

e-mail：ikoyama@twmu.ac.jp

U R L：http://www.twmu.ac.jp/KC/Surgery/

## 診療科名：救命救急・救急診療

### 1. 診療科の特徴

救命救急センターとして三次救急患者と Emergency Division: EmD (救急外来) での一次、二次患者の急性疾病に対応する。外傷患者の特徴として、三次救急では、交通外傷、墜落・転落外傷等による躯幹外傷に、頭部・四肢外傷を合併する多発外傷症例が主体である。また、EmD では、頭部外傷、四肢外傷を中心に、形成外科的な処置を要する軽症から中等症の外傷患者の対応にあたる。

### 2. 指導医・外科スタッフ (2名)

教授 (講座主任) 矢口有乃 臨床教授 武田宗和

### 3. 症例別経験可能数 (術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載)

症 例	手術数	術者として	助手として
腹部外傷手術	2 件	1 件	1 件
消化管穿孔	2 件	1 件	1 件
腸間膜血行不全	1 件	0 件	1 件
腹膜炎手術	0 件	件	0 件
合 計	5 件	2 件	3 件

### 4. 取り扱っている疾患の特徴

主に、多発外傷による、躯幹内臓器損傷症例  
術前、術後集中治療を必要とする重症急性腹症症例

### 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:30	朝カンファレンス (日・祝日は9:00-)							
9:30-10:30	午前回診 (ICU・病棟)							
10:30-16:00	処置・検査含む病棟業務							
13:00-14:00	リハビリカンファレンス							
16:00-17:00	夕カンファレンス							
17:00-18:00	夕回診 (ICU・病棟)							
17:30-18:00	脳外科・神経内科合同カンファレンス							
12:00-13:30	勉強会							
9:00-12:00	フォローアップ外来							
0:00-	ICU 回診 (当直勤務帯)							
9:00-17:00	救急外来日勤							
17:00-9:00	救急外来夜勤 (原則翌日休日)							
	手術 (原則待機手術なし)							

救命救急ローテーション中、以下の下線に該当する項目の点数取得が可能である。

体幹（胸腹部）臓器損傷手術 3点（術者）、2点（助手）

上記以外の外傷手術（NCDの規定に準拠） 1点

- ・重症外傷（ISS 16以上）初療参加・・・1点
- ・日本外科学会外傷講習会受講・・・1点
- ・外傷初期診療研修コース受講・・・4点
- ・e-learning受講・・・2点
- ・ATOMコース受講・・・4点
- ・外傷外科手術指南塾受講（日本Acute Care Surgery学会主催講習会）・・・3点
- ・日本腹部救急医学会認定医制度セミナー受講（分野 V(外科治療)－C. Trauma surgery）・・・1点

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

腹部外傷、急性腹症に対して緊急手術を行い、全身状態が不良な患者については、継続して救命救急センターでの集中治療による全身管理にも携わる。

## 7. 連絡先

病院名：東京女子医科大学病院

住 所：〒162-0054 東京都新宿区河田町 8-1

TEL：03-3353-8112（PHS 28911）

担当者：矢口有乃

e-mail：dem.ag@twmu.ac.jp

URL：http://www.twmu.ac.jp/hosp/ccmc/about/

# 連携施設紹介

# 施設名：東京女子医科大学東医療センター

## 【1】外科

### 1. 地域における役割と施設の特徴

当科は地域に密着した幅広い医療と大学病院としての特徴を生かした高度先端医療の提供の両立を目指しています。各診療領域の専門医のもと、手術手技の修得のみにとどまらず、各種内視鏡等の検査手技から術前診断、さらに化学療法まで、術前・術後を通した一連の診断・治療が行える優れた臨床医の育成を目指したカリキュラムを組んでいます。また、医局員の4割が女性外科医のため、女性のライフイベントに対応した働きやすい職場作りにも配慮しています。外科のチームは全体で約14名のスタッフからなり、それは「食道・胃」、「胆道」、「大腸・肛門」、「小児外科」および「乳腺」の各専門領域の臨床グループで診療および研究活動を行っています。当科の研修ではすべてのチームをローテートし幅広く消化器外科および乳腺外科を学び、外科に入局した後は5～6年目に自分の専門領域を決定するようにしています。これらの臨床グループが主体となり学会、研究活動にも力を注いでおり、各外科系の学会には毎年多くの演題を出しています。また、チーム医療の実践のため、外来化学療法、緩和医療、栄養サポートといったカテゴリで外科医師が質の高い医療の提供を目指すことを目的にこれらのチームの中心的役割も果たしています。最終的には外科の手術手技や術後管理の修得のみならず、外来での患者フォローアップ、終末期医療まで全人的な医療を目指しています。

### 2. 指導医・外科スタッフ (14名)

塩澤俊一 教授・診療部長	浅香晋一 准講師	西口遼平 助教
勝部隆男 准教授	久原浩太郎 助教	井田在香 助教
島川 武 准教授	岡山幸代 助教	下嶋優紀夫 助教
横溝 肇 講師	中安靖代 助教	前田裕之 助教
確井健文 講師	山田泰史 助教	

- ・日本外科学会 外科専門医 39名, 同 指導医 15名
- ・日本消化器外科学会 消化器外科専門医 21名, 同 指導医 11名

### 3. 症例別経験可能数 (術者または助手として最大限, 経験可能な手術数, 専攻医数とローテーションの期間によって異なる場合があります)

症 例	手術数	術者として	助手として
食道癌	25件	0件	25件
胃癌	100件	10件	90件
大腸癌	180件	20件	160件
肝胆膵癌	60件	5件	55件
胆嚢結石症	80件	70件	10件
ヘルニア	70件	50件	20件
救急疾患(急性虫垂炎/消化管穿孔/腹膜炎など)	40件	20件	20件
小児外科疾患	20件	10件	10件
その他 体表小手術など	25件	25件	0件
合 計	600件	200件	400件

### 4. 取り扱っている疾患の特徴

- 1) 消化器外科領域では良性疾患(胆石症、腸閉塞、ヘルニアなど)から悪性疾患、とくに専門性の高い消化器癌(食道癌、胃癌、大腸癌、肝胆膵癌)の手術まで幅広く行っています。また、緊急性の高い救急疾患(急性虫垂炎、消化管穿孔/出血、腹膜炎、ヘルニア嵌頓など)にも随時対応しています。
- 2) 小児外科領域では鼠径ヘルニア、急性虫垂炎を中心とし、鏡観下手術にも力を入れています。

- 3) 手術療法以外の治療では、食道静脈瘤に対する硬化療法、早期食道癌、胃癌、大腸癌に対する内視鏡的粘膜切除/剥離術(EMR, ESD)、総胆管結石に対する内視鏡的切石術(EPBD/EST)、肝癌に対する経カテーテル的肝動脈化学塞栓術(TACE)も外科で行っており、手術以外の消化器疾患の治療法の習得も可能です。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～	部長回診							
8:00～	診療グループ別回診①							
16:00～	診療グループ別回診②							
17:00～(第2月曜)	消化器病合同カンファレンス							
19:00～(第3月曜)	抄読会							
17:00～(第4月曜)	がんセンターボード							
17:30～	術前検討会							
9:00～	手術							
9:00～	消化器系検査/治療(内視鏡・血管造影検査)							
18:00～	重症例検討会・学会予演会など							

## 【2】 心臓血管外科

### 1. 地域における役割と施設の特徴

当センターは区北東部二次医療圏において、唯一3次救急、周産期治療など超急性期治療を行える中核病院で、急性期医療を中心とした高度な医療を行っています。

### 2. 指導医・外科スタッフ（5名）

2019年4月の時点で指導医1名、専門医1名（指導医1名含む）

### 3. 患者数、病床数、NCD登録数など

#### ①患者数 心臓血管外科 年間のべ入院数

2016年 10,204人/年、2017年 8,471人、2018年 2,298人

#### ②許可病床数

10床

#### ③NCD登録数

2016年 203件、2017年 195件、2018年 105件

#### ④症例別経験可能数(術者または助手として経験可能な手術数を記載；2018年度)

症 例	手術数	術者として	助手として
先天性疾患	1件	0件	1件
弁膜症	19件	0件	19件
虚血性(OPCAB)心疾患	17件	0件	17件
胸部大動脈瘤	6件	0件	6件
弁膜症+CABG	0件	0件	1件
腹部大動脈瘤	9件	0件	9件
急性大動脈解離	1件	0件	1件
TEVAR	6件	0件	6件
EVAR	14件	0件	14件
末梢血管	9件	6件	3件
下肢静脈瘤	4件	4件	0件
内シヤント造設	6件	5件	1件

その他(上記以外の末梢血管含む)	13件	10件	3件
合計	105件	25件	80件

#### 4. 取り扱っている疾患の特徴

弁膜症、虚血性、大血管(ステントグラフト)手術  
腹部大動脈、末梢血管へ手術(ステントグラフト、PTA、コイリングなどの血管内治療を含む)

心大血管手術から末梢血管手術まで、偏りのない症例の経験と研修が可能です。

#### 5. 週間スケジュール

月 8:00 回診 9:00 手術  
火 8:00 回診 9:00 心臓カテーテル検査  
水 8:00 勉強会 9:00 手術  
木 8:00 回診、病棟業務  
金 8:00 循環器内科・心臓血管外科合同カンファレンス 9:00 手術  
土 8:30 病棟業務

## 【3】 呼吸器外科

### 1. 地域における役割と施設の特徴

東京都の城北地区である足立区、荒川区には、地域の特異性として肺癌、胸膜中皮腫という悪性疾患が多く、進行してからの発見例も多くみられます。特に高齢者、在留外国人の方々も多いですが、当施設では積極的に患者さんを受け入れています。肺疾患、胸膜疾患、縦隔腫瘍に対して、ほぼ全例で胸腔鏡下手術を行っています。この地域には呼吸器外科専門医および胸腔鏡設備の揃った病院は当施設以外になく、多くの患者さんを地域の病院・診療所よりご紹介いただいております。

### 2. 指導医・外科スタッフ(3名)

前 昌宏 診療部長・准教授 清水俊榮 准講師 高圓瑛博 助教

### 3. 患者数、病床数、NCD登録数など

#### ①患者数

肺癌、転移性肺腫瘍、胸膜疾患(胸膜炎、胸膜中皮腫、気胸など)、縦隔腫瘍などが大半を占めています。また、3次救急の受け入れが多いため、胸部外傷も診ることができます。2018年の実績では、肺癌手術76例、転移性肺腫瘍切除18例、縦隔腫瘍6名、急性および巨大肺嚢胞33例などでした。

#### ②許可病床数

平均12床

#### ③NCD登録数

2016年153件、2017年166件、2018年158件

#### ④症例別経験可能数(術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載。専攻医数とローテーションの期間によって異なる場合もあります)

症 例	手術数	術者として	助手として
肺癌手術	66件	10件	56件
転移性肺腫瘍	27件	5件	22件
急性膿胸	12件	2件	10件
気胸、気腫性疾患	48件	16件	32件
胸腔鏡下生検等	32件	18件	14件
合 計	185件	51件	134件



#### ⑤取り扱っている疾患の特徴

緊急例、待機例を問わず治療の適応があれば積極的に受け入れて治療を行っております。

呼吸器全身麻酔下手術 158 件(うち胸腔鏡手術 100 件)、気管支鏡検査 137 件、気管支ステント留置 8 件、化学療法 440 件 (2018 年実績)

#### 4. 週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	病棟							
13:30-16:00	気管支鏡検査							
9:00-17:00	手術							
8:00-9:00	カンファレンス							

## 【4】 乳腺外科

#### 1. 地域における役割と施設の特徴

荒川区、足立区乳癌検診の一次・二次検診を請け負う中心的役割とともに、全診療科を有する総合病院として併存症をもつ症例も広く受け入れています。

#### 2. 指導医・乳腺外科スタッフ (3名)

平野 明 診療部長・准教授      小倉 薫 准講師      湯川寛子 助教

#### 3. 例別経験可能数(術者または助手として最大限、経験可能な手術数、専攻医数とローテーションの期間によって異なる場合があります)

症 例	手術数	術者として	助手として
乳房切除術(乳癌)	60 件	30 件	30 件
乳房部分切除術(乳癌)	100 件	20 件	80 件
皮膚温存乳房切除術(乳癌)	20 件	0 件	20 件
腫瘍核出術(乳腺良性腫瘍)	20 件	20 件	0 件
合 計	200 件	70 件	130 件

#### 4. 取り扱っている疾患の特徴

乳癌を中心に乳腺良性腫瘍の治療も行っています。

乳癌に対しては術前・術後化学療法も当科で施行しています。

#### 5. 週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30	病棟回診							
8:30-9:00	病棟業務							
9:00-12:00	外来診療							
9:00-16:00	手術							
16:30-17:00	病棟回診							
17:00-18:00	症例カンファレンス							

## 【5】 救急医療科

#### 1. 地域における役割と施設の特徴

当科は地域3次救急医療を担う救命救急センターを運営しています。3次救急は通常の救急外来とは異なり、ショック状態のように vital sign が不安定な患者を受け入れています。当然、外傷の出血性ショックの患者も救急医が初期対応します。特

に体幹部の重症臓器損傷の場合は、すぐに開胸開腹し止血を行わなければなりません。外科と当科の外傷外科医(Acute Care Surgeon)が協力し診療に当たっています。またシビアな集中治療を要する急性腹症は当科で執刀することも多く、初療から緊急手術、ICUでの術後の重症管理までシームレスな遅滞ない診療を行っています。当院は東京都の区東北部(荒川区、足立区、葛飾区)人口134万人地域唯一の救命救急センターです。重症患者受け入れ数も都内ベスト5に毎年入っています。外傷も含め多くの症例を経験できます。

**2. 指導医・外科スタッフ (3名)**

庄古知久 診療部長・教授      小島光暁 准教授      小崎良平 後期研修医  
 ・外科専門医 2名, 同 指導医 1名      ・外傷専門医 1名  
 ・Acute Care Surgery 認定外科医 1名      ・消化器外科認定医 1名  
 ・救急科専門医 3名, 同 指導医 1名

**3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴**

**① 患者数(2018年実績)**

3次救急受け入れ件数      2,112件  
 のべ入院患者数 救急医療科 1,521人

**② 許可病床数**

救急医療科 32床(うち救命ICU 20床)

**③ 2017-2018年のNCD登録数(救急医療科手術)**

	施設全体	経験可能数
2017年	126件	
2018年	92件	
平均	108件	60~70件

**④ 症例別経験可能数(術者または助手として最大限、経験可能な年間手術数。専攻医数とローテーションの期間によって異なる場合もあります)**

症 例	手術数	術者として	助手として
緊急室開胸	11件	5件	6件
気管切開	15件	7件	8件
輪状甲状靭帯切開	5件	2件	3件
頸部食道縫合	3件	1件	2件
心嚢開創術	7件	3件	4件
開腹止血、洗浄	9件	4件	5件
胃十二指腸穿孔大網充填	2件	1件	1件
結腸切除	13件	6件	7件
小腸切除	9件	4件	5件
虫垂切除	4件	2件	2件
人工肛門造設	3件	1件	2件
PCPS挿入	9件	4件	5件
血管縫合術	3件	1件	2件
その他	25件	13件	12件
合 計	114件	52件	62件

**⑤ 取り扱っている疾患の特徴**

体幹部及び頸部の鈍的・鋭的外傷手術、急性腹症の手術を行います(Acute Care Surgery)。

- 1) 胸部外科領域では、心嚢開創術、心縫合、開胸心マッサージ、肺部分切除、肋骨固定術など外傷手術を行っています。

- 2) 消化器外科領域では消化管穿孔、腸管壊死、急性胆嚢炎、総胆管結石・胆管炎、腸閉塞、外傷の止血術（肝縫合、腸管切除縫合など）緊急性が高く、重症管理が必要な救急疾患の手術を行っています。
- 3) 頸部刺創による緊急手術（血管縫合、食道縫合など）も行っていきます。
- 4) 手術療法以外の治療では、胃潰瘍・十二指腸潰瘍出血や食道静脈瘤に対する緊急内視鏡的止血術も当科で行っています。

#### 4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～	朝 カンファレンス							
9:00～	研修医プログラム							
9:30～	チームミーティング・病棟回診							
12:30～	家族への病状説明							
13:30～	研修医プログラム(Simulator)							
14:00～	病棟回診							
17:00～	夕 カンファレンス							
(24 時間対応)	初療および緊急手術対応							

#### 5. 診療実績

- 1) 年間 3 次救急車受け入れ件数：2,112 件（東京都内第 1 位）
- 2) 年間救急車総受け入れ件数：6,307 件(全国私立医科大学 3 位)
- 3) 年間救命救急センター入院患者数：1,521 件
- 4) 年間入院患者内訳：内因性 78%、外因性 18%、中毒 5%

#### 【専攻医へ向けてメッセージ】

当院は区東北部の医療圏(荒川区・足立区・葛飾区)に密着した臨床中心の教育病院で、各領域とも十分な症例を経験できます。特に外科領域の手術は、可能な限り後期研修医でも術者として経験できるよう配慮しています。また、救急患者の受け入れ件数では当院は都内第 1 位で、超急性期疾患の集中治療に関しても多くの症例から学ぶことができます。

2021 年には病院機能として第 3 次救急・災害拠点・地域がん診療・高度急性期・周産期母子医療センターを備えた 450 床の新病院として足立区に移転します。ぜひ、この医療圏を支えるトップリーダーの 1 人となるべく一緒に修練しましょう！

#### 【連絡先】

病院名：東京女子医科大学病院東医療センター  
 住 所：〒116-8567 東京都荒川区西尾久 2-1-10  
 TEL：03(3810)1111, FAX 03(3894)5493 外科医局  
 担当者：外科医局長 碓井健文  
 e-mail：usuisu@twmu.ac.jp  
 URL：<http://www.twmu.ac.jp/DNH/>

# 施設名：東京女子医科大学附属八千代医療センター

## 1. 地域における役割と施設の特徴

本学の理念である「至誠と愛」に基づき、信頼される病院を目指します。患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します。患者さんに合った最善のチーム医療を行います。中核病院として地域の診療所・病院等との連携を推進し、健康を維持・増進します。

## 2. 指導医・外科スタッフ（13名）

### 消化器外科

教授（病院長） 新井田達雄

客員教授 福永正氣

臨床教授（診療科長） 片桐聡

准教授 太田正穂

講師 鬼沢俊輔

講師 丹羽由紀子

### 呼吸器外科

教授（診療科長） 関根康雄

准教授 星野英久

講師 黄 英哲

### 乳腺・内分泌外科

講師（診療科長） 地曳典恵

### 心臓血管外科

講師（診療科長） 富岡秀行

### 小児外科

臨床教授（診療科長） 幸地克憲

日本外科学会指導医：新井田達雄、関根康雄、片桐聡、太田正穂、丹羽由紀子

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
消化器疾患等（年）	約 500 件	50 件	150 件
呼吸器疾患等（年）	約 200 件	6 件	60 件
乳腺・内分泌疾患等（年）	約 100 件	3 件	30 件
心臓血管外科疾患等（年）	約 100 件	1 件	30 件
小児外科疾患等（年）	約 400 件	80 件	120 件
救命救急疾患等（年）	約 200 件	10 件	60 件
合 計	約 1,500 件	150 件	450 件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、小児外科とも、移植医療以外はすべての疾患を網羅し、手術を中心に治療を行なっている。

診療科	疾患の特徴
消化器外科	すべての消化器疾患（食道、胃、小腸、大腸、肛門、肝胆膵など）を網羅し、検査、治療を行っている。外科的治療の他、ESD、胃瘻造設等の内視鏡治療や腹腔鏡手術も行っている。
呼吸器外科	肺腫瘍(肺癌など悪性腫瘍、血管腫・結核腫など良性腫瘍)、胸腺腫・神経鞘腫などの縦隔腫瘍、胸膜中皮腫、気胸・肺嚢胞、肺気腫、膿胸・胸膜炎、重症筋無力症、漏斗胸等の呼吸器外科的疾患全般の診療を行っている。
乳腺外科	乳がん、乳腺良性腫瘍、乳腺炎を取り扱う。腫瘍が大きい方には術前の薬物治療を行い、術後は、将来の再発を予防するために薬物治療や放射線治療を行う。
心臓血管外科	先天性心疾患・虚血性心疾患・大動脈瘤・弁膜症・不整脈・重症心不全など全ての心疾患に対し外科治療を行っている。また複雑心奇形や重症心不全治療と再生医療も本院との連携下で行なっている。
小児外科	出産直後の新生児期から学童期(16歳未満)までの頭頸部・呼吸器・消化器・泌尿生殖器・内分泌臓器・体表・小児腫瘍・小児泌尿生殖器など幅広い疾患を扱っている。
救命救急センター	あらゆる分野の重症患者を24時間受け入れている。心肺停止の重症者をはじめ、緊急手術を要する患者、中毒、外傷なども対象である。また、心疾患、呼吸器疾患、頭部疾患も受け入れ、専門医と協力し治療している。

## 5. 週間スケジュール

### 消化器外科

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:20～	病棟カンファレンス							
18:00～	症例検討会							
9:00～	手術							
9:00～	回診							
9:00～	検査（内視鏡など）							

### 呼吸器外科

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:20～	病棟回診							
9:00～	手術							
14:00～	検査（気管支視鏡など）							
15:30～	カンファレンス							
16:20～	病棟回診							

## 乳腺・内分泌外科

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:20～	病棟回診							
9:00～	手術							
16:30～	病棟回診							
13:30～	検査（生検など）							
17:00～	症例検討会							

## 心臓血管外科

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:15～	ICU 病棟回診							
17:30～	症例検討会							
9:00～	手術							
16:00～	ICU 病棟回診							

## 小児外科

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～	ミーティング 朝回診							
9:00～	手術							
17:00～	夕回診							
13:00～	画像検査、造影検査							
17:00～	症例検討会							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

### 消化器外科

手術症例は500例を超え年々増加しています。日本外科学会専門医(8名)・指導医(3名)と日本消化器外科学会専門医(7名)・指導医(6名)から、肝胆膵外科高度技能指導医(新井田、片桐)、食道外科専門医(太田)、内視鏡外科技術認定医(福永)も在籍し、あらゆる消化器疾患に対して専門的な診断治療ができる体制を整えています。がん薬物療法専門医(倉持)も消化器外科内で活躍しており、最新のがん化学療法を行っています。院内各科との相互連携でも、救急科と連携下に腹部救急に対しては迅速に対応しています。

### 呼吸器外科

胸部の呼吸器・縦隔・胸壁に対する内視鏡検査や外科治療を中心に行っています。肺がんや胸腺腫などの悪性腫瘍と自然気胸などの良性疾患、肺膿瘍などの感染・炎症性疾患の症例を多く扱っており、70%の症例で胸腔鏡下手術を行い、通常術後気胸で2日、肺がんで6日ほどの術後

入院期間です。癌に対しての術後抗がん剤治療も外科で積極的に行っています。新患患者数および手術件数は年々増加傾向を示しています。手術の約半数が肺癌で、以下自然気胸、胸腺腫、転移性肺癌、悪性胸膜中皮腫などの手術が多くみられます。手術関連死亡はなく、肺炎などの重い術後合併症は2%以下であります。

### 乳腺・内分泌外科

乳がん、乳腺良性腫瘍、乳腺炎を取り扱う。腫瘍が大きい方には術前の薬物治療を行い、術後は、将来の再発を予防するために薬物治療や放射線治療を行っています。

### 心臓血管外科

2012年より手術を開始し、成人心臓血管外科（虚血性、弁膜症、大血管）手術を担当しています。手術症例は2012年21例、2013年102例、2014年115例と年々増加傾向です。新病棟竣工後は循環器内科とともにハートセンターを立ち上げ、シームレスな循環器疾患治療体制を整えていきます。

### 小児外科

平成26年度の手術件数は387例でした。対象としている疾患も幅広く、頭頸部18例、胸部（漏斗胸を含む）19例、腹部疾患201例、泌尿器疾患89例、外傷10例などあります。検査では、CT、MRIはもとより、消化管や泌尿器などの造影検査、内視鏡を用いた気管（6）、食道/胃/十二指腸（55）・大腸（6）・膀胱（15）などの検査も積極的に行っています。

## 7. 連絡先

病院名：東京女子医科大学附属八千代医療センター

住 所：〒千葉県八千代市大和田新田 477-96

T E L：047-458-6000（内線 2432）

e-mail：ymckouki.cb@twmu.ac.jp    ogata.seiichiro@twmu.ac.jp

担当者： 後期研修事務担当 尾瀨誠一郎、消化器外科 片桐聡

U R L：[www.twmu.ac.jp/TYMC/](http://www.twmu.ac.jp/TYMC/)

# 施設名：愛媛県立中央病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

『県民の安心の拠り所となる病院であること』の基本理念のもと、平成25年5月に開院した新本院では、24時間対応の救命救急センターの拡充、基幹災害医療センターとしての機能強化、高度先進医療機器の導入などによる診療機能の充実を図り、県民の皆様はもとより、地域の医療・介護関係者の方の期待にも応えられる体制を整備した。

当院は、県民医療の最後の砦として、超高齢の患者さんや重篤な合併症を持つ極めて状態の悪い患者さんなどリスクの高い症例も多く受け入れるとともに、これらの症例に対し、確かな専門技術と最先端の医療機器の融合による質の高い医療を提供し、県民の安心・安全を守っている。

また、愛媛県の基幹災害拠点病院に指定されており、災害時には愛媛県の災害医療の中心的役割を担う立場にあるため、院内に多職種からなるDMATを編成するとともに、県下の災害拠点病院、自治体等とも連携し、災害時の医療提供体制の構築に取り組んでいる。

さらには、医療の機能分化が求められる中で、急性期病院としての役割を担うとともに、地域の医療機関との連携を強化し、地域の中で医療を完結するための体制作りを進めている。

## 2. 指導医・外科スタッフ（19名）

副院長：河崎秀樹	消外部長：原田雅光	消外部長：大谷広美
消外部長：吉山広嗣	消外部長：藤井正彦	消外部長：八木草彦
消外部長：渡邊常太	消外部長：發知将規	消外部長：佐藤公一
消外部長：古手川洋志	消外部長：岩橋衆一	心外部長：石戸谷浩
心外部長：佐々木英樹	心外部長：一色真吾	心外部長：中山泰介
呼外部長：古川克郎	小児外部長：近藤剛	
乳腺外科：佐川庸	乳腺外科：松岡欣也	

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）：年間

症例	手術数	術者として	助手として
消化器外科領域	約1,400件	約100件	約200件
心臓血管外科領域	約350件	5件	100件
呼吸器外科領域	約150件	約5件	約100件
小児外科領域	約150件	約15件	約120件
乳腺・内分泌外科領域	約200件	約20件	約150件
合計	約2,250件	約145件	約670件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

診療科	疾患の特徴
消化器外科	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部消化管（食道、胃、十二指腸）：食道癌、胃癌、間葉系腫瘍、胃十二指腸潰瘍、食道裂孔ヘルニアなど</li> <li>下部消化管（小腸、大腸、肛門）：大腸癌（結腸癌、直腸癌）、腸閉塞、炎症性腸疾患、肛門疾患、痔疾患など</li> <li>肝胆膵（肝臓、胆道、膵臓、脾臓）：肝癌、胆道癌、膵癌、胆石症、脾腫など</li> <li>ヘルニア外来：成人鼠径ヘルニア、大腿ヘルニアなど</li> <li>その他；救急疾患（穿孔性腹膜炎、外傷など）、虫垂炎など</li> </ul>
心臓血管外科	<ul style="list-style-type: none"> <li>心筋梗塞、狭心症・心臓弁膜症・胸部大動脈</li> <li>腹部大動脈・末梢血管疾患・下肢静脈瘤</li> <li>その他、心臓外科は外傷によるもの、心臓腫瘍、心臓に入った異物の取り出し、肺梗塞（血栓が肺内の血管に閉塞する病気）</li> </ul>
呼吸器外科	<ul style="list-style-type: none"> <li>肺癌・転移性肺腫瘍をはじめとする種々の肺腫瘍・縦隔腫瘍・胸壁腫瘍などの腫瘍性疾患、気胸・巨大肺嚢胞などの嚢胞性疾患、肺化膿症・膿胸などの感染性疾患、胸膜中皮腫などの胸膜疾患等</li> <li>内科疾患であるびまん性肺疾患に対する肺生検や、原因不明の縦隔リンパ節腫大に対する縦隔鏡を用いたリンパ節生検なども実施</li> </ul>
小児外科	<ul style="list-style-type: none"> <li>新生児外科疾患（消化管閉鎖、直腸肛門奇形、ヒルシュスプリング病、腹壁異常、横隔膜ヘルニア、肺嚢胞症など）</li> <li>小児の消化器外科疾患（腸重積症、急性虫垂炎、肥厚性幽門狭窄症、胃食道逆流症、胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症など）</li> <li>胸腹部腫瘍（神経芽腫、腎芽腫、奇形腫、リンパ管腫など）</li> <li>鼠径部疾患（鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、停留精巣など）</li> </ul>
乳腺・内分泌外科	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種乳腺疾患（特に、乳癌）</li> <li>甲状腺癌</li> <li>良性甲状腺腫瘍、慢性甲状腺炎、バセドウ病などの良性疾患</li> <li>副甲状腺疾患</li> </ul>



## 5. 週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
消化器外科								
7:45~8:15	抄読会 (第1~第3)					○		
17:15~17:45	消外関連勉強会 (月2~3回)				○			
7:45~8:15	朝カンファレンス (術前・術後・ブレン子行)	○		○		○		
7:45~8:15	M and M カンファレンス (第4)					○		
9:00~17:30	手術	○	○	○	○	○		
8:30~17:00	病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30~12:30	午前外来	○	○	○	○	○		
13:00~17:00	午後外来	○	○	○	○	○		
17:00~17:30	総回診 (各グループ)	○	○	○	○	○		
18:00~19:00	放射線診断合同カンファレンス			○				
18:00~19:00	内科外科合同カンファレンス			○				
18:00~19:00	病理合同カンファレンス			○				
8:00~8:30	化学療法カンファレンス (月2回)				○			
心臓血管外科								
8:00~8:20	朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00~15:00	手術		○	○	○	○		
8:30~9:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
15:00~17:00								
17:30~18:00	週間カンファレンス			○				
呼吸器外科								
7:30~8:30	回診・病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30~9:30	回診・病棟業務						○	○
8:30~14:00	外来	○		○	○			
8:30~14:00	病棟業務	○		○	○			
9:00~17:30	手術		○			○		
14:00~15:00	術前カンファレンス			○				
15:00~15:20	病棟カンファレンス			○				
15:20~16:20	抄読会			○				
17:00~17:30	回診・病棟業務	○	○	○	○	○		
16:00~16:30	内科外科放射線科カンファレンス	○						
小児外科								
08:15~08:30	病棟回診 (朝)	○	○	○	○	○		
08:30~17:00	外来		○	○	○			
09:00~13:00	手術	○				○		
16:00~16:30	抄読会					○		
17:00~17:30	周産期カンファレンス			○				
17:00~17:15	病棟回診 (夕)	○	○	○	○	○		
乳腺・内分泌外科								
07:45~08:10	術前術後カンファレンス	○		○				
07:45~08:10	病理カンファレンス (隔週)		○					
08:30~13:00	午前外来 (+エコー検査)	○	○	○	○	○		
13:30~17:00	午後外来 (+エコー検査)		○					
13:30~18:30	手術	○		○	○	○		
18:30~19:00	病棟回診	○	○	○	○	○		

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

当院は外科系の疾患の症例数が多く、そのバリエーション也多岐にわたっております。3次救急患者さんも積極的に受け入れており、トレーニングとしてはもってこいの環境だと自負しております。我々と一緒に頑張ってみませんか？

## 7. 連絡先

病院名：愛媛県立中央病院  
 住 所：〒790-0024 愛媛県松山市春日町 83 番地  
 T E L：089-947-1111(代表)  
 担当者：心臓血管外科 主任部長 石戸谷浩  
 e-mail：c-hishitoya@eph.pref.ehime.jp  
 U R L：http://www.eph.pref.ehime.jp/epch/

## 施設名：医療法人財団 荻窪病院（心臓血管外科）

---

### 1. 地域における役割と施設の特徴

- ・ 24 時間・365 日、心臓血管疾患に対応

当センターは 24 時間・365 日、心臓血管疾患に対応します。

緊急治療を要する患者さんには、緊急カテーテル治療、緊急心臓血管手術を行います。

- ・ 地域病院・診療所との連携

当センターは地域病院・診療所との連携を密にします。

それぞれの機関の長所を生かし、それぞれの患者さんにとって最適の医療を行います。

- ・ 高度な専門的医療の提供

優秀なスタッフによる、高度な専門的医療を行います。

### 2. 指導医・外科スタッフ（3名）

部長 澤 重治

医長 藤井 奨

医員 飯田泰功

### 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
虚血性心疾患	50 件	2 件	49 件
弁膜症	40 件	1 件	39 件
急性大動脈解離	30 件	1 件	29 件
胸部大動脈瘤	10 件	1 件	9 件
腹部大動脈瘤	30 件	10 件	20 件
末梢動脈疾患	40 件	20 件	20 件
合 計	200 件	35 件	166 件

### 4. 取り扱っている疾患の特徴

虚血性心疾患手術：冠動脈バイパス術、心筋梗塞合併症手術、その他

弁 膜 症 手 術：自己心膜を用いた大動脈弁再建術（OZAKI 手術）、僧房弁形成術、その他

大 動 脈 瘤 手 術：胸部大動脈瘤切除術、腹部大動脈瘤切除術、解離性大動脈瘤手術  
ステントグラフト留置術（胸部および腹部）、その他

末 梢 血 管 手 術：下肢動脈バイパス術、下肢動脈血栓摘除術、その他

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9:00～17:00	手術							
9:00～17:00	病棟業務（処置を含む）							
9:00～12:00	午前外来							
13:30～17:00	午後外来							
17:30～19:00	合同カンファレンス							
9:00～10:00	総回診							
15:00～16:00	手術カンファレンス							
17:00～18:30	医局会議							
hibrid								

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

当院は、東京都急性大動脈スーパーネットワークの緊急大動脈重点病院（都内 14 病院）の指定を受けており、急性大動脈解離（Stanford A 型）、胸部・腹部大動脈瘤破裂、急性冠動脈破裂等の緊急手術に対応しています。

当科の特徴として、心臓弁膜症、特に大動脈弁狭窄症や大動脈弁閉鎖不全症に対して「自己心膜を用いた大動脈弁再建術（AVneo）を積極的に行っています。当科ではいち早くこの手術を導入し、2018 年現在 157 症例の実績があります。

## 7. 連絡先

病院名：医療法人財団 荻窪病院

住 所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24

T E L：03-3399-1101

担当者：澤 重治（心臓血管外科部長）

e-mail：s-sawa@ogikubo-hospital.or.jp

U R L：<https://www.ogikubo-hospital.or.jp/>

# 施設名：済生会熊本病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

当院は地域における急性期病院としての役割を担うため、「断らない救急」をスローガンに救急・重症患者の受け入れ体制の充実を図ってきました。また「地域医療支援病院」の認定を受け、緊急対応や高度な精密検査が必要な患者さんなど、地域の医療機関からの紹介があれば迅速に対応できる体制を整えています。

## 2. 指導医・外科スタッフ（7名）

心臓血管外科 部長 上杉 英之  
診療技術教育・手術管理部長 押富 隆  
副部長 出田 一郎  
医長 高志 賢太郎  
医長 片山 幸広  
主任医員 古賀 智典  
主任医員 新富 静矢

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
心臓血管	90 件	－ 件	－ 件
消化管・腹部内臓	250 件	－ 件	－ 件
呼吸器	50 件	－ 件	－ 件
合 計	390 件	－ 件	－ 件

※経験症例数や術者・助手経験数は研修期間や研修内容の希望により異なります。

## 4 取り扱っている疾患の特徴

診療科	疾患の特徴
心臓血管外科	心臓血管外科の症例は年間約 600 例で、そのうち開心術は 200 例である。術式は CABG、弁膜症手術、大血管手術およびそれらの複合手術である。非開心術は腹部大動脈瘤手術、ステントグラフト（胸部、腹部）内挿術、末梢血管（動脈、静脈）手術である。近年は循環器内科とも協働しカテーテルによる弁膜症手術（TAVI, MitraClip）にも力を入れている。
消化器外科	外科の手術の総数は年間約 1,000 例で、悪性腫瘍の手術が約 4 割を占めている。さらに、救命救急センターと連携して Acute Care Surgery の急性腹症を担当して、緊急手術を数多く行っている。悪性疾患、良性疾患、救急疾患をバランスよく学ぶことが可能である。腹腔鏡手術、肝胆膵領域の専門的な手術も行っている。

呼吸器外科	呼吸器外科の手術は年間約 250 例で、肺癌、肺良性腫瘍、良性縦隔腫瘍、悪性胸膜中皮腫、悪性縦隔腫瘍等である。内視鏡外科手術の基本手技も経験できる。 また、肺癌の化学・放射線療法の臨床にも携わり、悪性腫瘍全般に渡り広く学ぶことができる。
-------	---

## 5. 週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
7:30～	抄読会							
7:30～	カンファレンス、検討会							
午前	部長回診							
午前	手術							
11:00～	外来							
13:30～	手術							
14:00～14:30	心臓マッサージ講習会							
16:00～	患者説明							
17:30～	医局会			第1				
18:30～	心臓血管外科勉強会							
19:00～21:00	実地医家の会		第3					

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

済生会熊本病院心臓血管外科は古くから東京女子医大の関連病院として比較的症例数の多い施設であります。心臓血管外科はもちろんのこと、消化器外科、呼吸器外科の症例も充実し、ロボット支援手術、完全内視鏡手術などの低侵襲治療にも力を入れています。また当院救命救急センターは救急車搬送も多く、外傷治療の経験も十分に積むことができます。

「南九州最大の政令指定都市」熊本での研修は皆さんの人生において貴重な経験になることでしょう。是非共に働きましょう。

## 7. 連絡先

病院名：社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院

住 所：〒861-4193 熊本県熊本市南区近見5丁目3番1号

T E L：096-351-8000（代表）

担当者：人材開発室 山本和弘

e-mail：sk-rinshokenshu@saiseikaikumamoto.jp

U R L：http://sk-kumamoto.jp/

# 施設名：聖隷浜松病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

聖隷浜松病院は、1962年の開設当初から高度急性期医療を目指し、常に地域ニーズを先取りした病院づくりに取り組んでいます。  
救命救急センター・総合周産期母子医療センターをはじめとする質の高い急性期医療、先進医療や多様なセンター機能による専門医療を展開し、そして、医師・看護師をはじめとする優れた医療人の育成に取り組み、常に利用者にとっての価値とは何かを追求し続けています。  
2012年には、JCI（国際的医療機能評価機関）による認証を取得するなど、国際標準の安全で良質な医療を実践しています。

## 2. 指導医・外科スタッフ（20名）

部長	鈴木 一史	主任医長	高橋 俊明	医師	藤川 遼
部長	吉田 雅行	主任医長	森 菜採子	医師	奥木 聡志
部長	小林 靖幸	医長	鈴木 英絵	専門研修医	山崎 彩
部長	中村 徹	医長	立石 実	専門研修医	服部 健人
部長	小出 昌秋	医長	戸松 真琴	専門研修医	井上 誠司
部長	國井 佳文	医長	伊良部 真一郎	専門研修医	上林 明日翔
主任医長	宮木 祐一郎	医師	山田 豊	専門研修医	曹 宇晨
主任医長	浜野 孝	医師	吉田 志帆	専門研修医	新堀 莉沙
主任医長	山本 博崇	医師	浅井 はるか		

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症例	手術数	術者として	助手として
食道悪性	2件	0件	2件
胃悪性	10件	3件	7件
結腸悪性	20件	5件	15件
直腸悪性	5件	1件	4件
肝臓悪性	3件	1件	2件
胆膵悪性	4件	1件	3件
胆道良性	18件	8件	10件
虫垂炎	10件	5件	5件
各種ヘルニア	30件	15件	15件
乳癌	20件	10件	10件
肺悪性	10件	3件	7件
小児外科	30件	15件	15件
心臓・大血管	30件	0件	30件
末梢血管	8件	4件	4件
合計	200件	71件	129件

（専攻医1人/1年の概算です。）

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

診療科	疾患の特徴
上部消化管外科	消化器外科では主に上部消化管（食道・胃）の悪性・良性疾患を扱っています。胃癌手術、食道癌手術ともに鏡視下手術を導入しており、全症例の半数近くが鏡視下手術となっています。進行癌に対しては、消化器内科や化学療法科、腫瘍放射線科と連携して集学的治療を行い、拡大手術も積極的に行っています。
肝胆膵外科	肝胆膵外科は、肝臓、胆嚢・胆管、膵臓、脾臓、十二指腸、上部小腸の各臓器に発生した腫瘍（良性・悪性）、炎症性疾患などの外科治療を行っています。悪性疾患は主に開腹手術を行っており、良性疾患に対しては腹腔鏡下手術を取り入れ、出来るだけ低侵襲手術となるよう努めています。また、日帰り鼠径ヘルニア手術も実施しています。
大腸肛門科	大腸肛門科は、大腸癌の診断、治療、緩和医療（集学治療も含む）を中心に診療を行っており、その他、痔核等の肛門疾患、潰瘍性大腸炎やクローン氏病といった炎症性腸疾患も扱っています。
小児外科	県西部地区最初の小児外科として発足し、30年以上にわたって、一般小児外科、小児泌尿器科、新生児外科疾患に対する20,000例以上の手術実績があります。日本小児外科学会認定

	<p>の教育関連施設で、小児外科専門医のもと年間500件以上の手術を行っており、全国的にも手術件数の多い施設です。より高度な医療が必要な場合には静岡県立こども病院とも連携して診療を行っています。鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、停留精巣、臍ヘルニアなどの短時間で終わる手術は、ほとんどが日帰り手術で行っています（生後3か月以降）。</p>
呼吸器外科	<p>呼吸器外科では、肺、気管・気管支、胸膜、縦隔、横膈膜、胸壁等の疾患を扱っています。病名でいいますと、肺癌、気胸、縦隔腫瘍、肺腫瘍、胸壁腫瘍等です。手術内容は肺切除が基本となりますが、胸腔鏡を用い手術創をなるべく小さく、きれいにできるようにしています。</p> <p>肺癌での手術適応は病期ⅢA期の一部までとしています。呼吸器内科との連携により治療方針を決めています。気胸では、再発例はもちろんのこと、初回でもCT等でブラがはっきりあるものは手術を行っています。肺癌では術後5～10日、気胸等では2～4日で退院となります。また、診断が困難な前癌病変や極早期肺癌の鑑別には、CT下マーキングを行った上で、胸腔鏡下手術を行っています。</p> <p>また、原因不明胸水の検査として病理学的な診断のため、局所麻酔下または硬膜外麻酔下で胸腔鏡検査も行っています。また、再発症例に対しても、腫瘍放射線科並びに化学療法科と協力し、加療を行っています。高いQOLを維持できるように努めています。</p>
乳腺科	<p>乳腺にかかわるあらゆる病態や疾患を診療の対象としています。主に乳がんが対象ですが良性腫瘍や乳腺炎の治療も行なっています。</p> <p>乳がん診療においては、乳腺専用機器（マンモトーム生検、MRIなど）を駆使した診断およびエビデンスに基づいた治療を早期症例から進行・再発症例にいたるまで、多くの部署が関わるチーム医療として実践しています。術前化学療法も積極的に行なっており、術後の薬物療法、放射線療法等の総合力により根治を目指します。また、乳房温存手術が難しい方や希望により乳房切除（全摘）が行なわれた方には、形成外科の協力のもとに乳房再建術も行なっております。</p> <p>マンモグラフィなどの乳がん検診の精密検査やセカンド・オピニオン目的に受診される患者さま、遺伝性乳がん卵巣がん症候群が疑われる方のカウンセリングや遺伝子検査も増加しており、そのニーズに十分応えられるような体制構築をはかっています。</p>
心臓血管外科	<p>心臓血管外科は、心臓血管外科専門医3名を含む6名の医師に加え、麻酔科医、臨床工学技士、手術室看護師スタッフ等とともに心臓血管外科手術チームを組み、予定手術のみならず、緊急手術にも24時間対応しております。対象疾患は、虚血性心疾患、心臓弁膜症、大血管疾患、先天性心疾患、末梢血管疾患など全ての手術を必要とする心血管疾患であり、出生直後の新生児から、80歳を越えるご高齢の方まで、全ての年齢層の手術を行っています。</p>

## 5. 週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～9:00	術前症例検討							
8:00～9:00	術後症例検討							
8:00～9:00	死亡例検討またはカンファレンス							
8:00～9:00	病棟							
9:00～12:00	病棟または手術							
9:00～12:00	総回診または手術							
13:00～17:00	病棟または手術							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

当院は、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺科と、外科専門医取得に必要なすべての領域がそろっており、それぞれで豊富な症例数を経験することができます。各科が専門性を持ちながら、チームワークよく診療にあたっており、充実した研修を行うことが可能です。

## 7. 連絡先

病院名：社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院聖隷浜松病院  
 住 所：〒430-8558 静岡県浜松市中区住吉 2-12-12  
 TEL：053-482-2257  
 担当者：人材育成センター 望月・松村  
 e-mail：hm-kenshu@sis.seirei.or.jp  
 URL：http://www.seirei.or.jp/hamamatsu/

# 施設名：地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

山梨県の基幹病院として各診療分野の高度専門医療を行っています。県がん診療連携拠点病院、救命救急センター、総合周産期母子医療センターなど、高度医療施設が整っています。

患者中心の医療提供を原則に、常に地域医療機関との連携を図りながら医療の質向上に努めています。

## 2. 指導医・外科スタッフ（ 8名）

乳腺外科	井上正行	胃・食道外科	羽田真朗	大腸外科	宮坂芳明
肝胆膵外科	鷹野敦史	小児外科	江村隆起	心臓血管外科	中島雅人
呼吸器外科	後藤太一郎	救命救急センター	岩瀬史明		

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
心臓大血管	100 件	10 件	90 件
末梢血管	50 件	40 件	10 件
一般外科（乳腺、胃消化管、小児）	80 件	件	80 件
外傷手術	10 件	件	10 件
合 計	240 件	50 件	190 件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

外科	<p>消化器、乳腺を中心に各専門医がそれぞれの領域の悪性疾患（癌、肉腫）の外科治療を行っています。また、胆石症、ヘルニア、虫垂炎、急性腹症などの疾患の外科治療を行っています。</p> <p>外科は主に手術による治療を行う科です。具体的には消化器（食道、胃、大腸、肝臓、胆道、膵臓）、乳腺、甲状腺、またはヘルニアなどの体表の病気が主な対象となります。各専門医が悪性疾患、主のがんを中心に治療しており、全身麻酔下に年間約 700 例の手術をしています。</p> <p>最近、体に負担の少ない手術として、鏡視下手術（腹腔鏡や胸腔鏡を利用して、小さな傷で体に負担が少ない手術のこと）が普及しております。胆嚢結石の治療から始まり、今では早期の胃がん、大腸がんを中心にいろいろな病気で応用されています。当科でも患者さん個々の病態に応じて、鏡視下手術を行っています。</p>
----	--



呼吸器 外科	肺がん、縦隔腫瘍、転移性腫瘍、気胸など、呼吸器外科全般にわたり診療しております。近年、気胸ホットラインの導入、無痛手術の開発、手術期待日数の短縮化など、新たな取り組みも行い、山梨県内の呼吸器外科診療において基幹的な役割を担っています。
心臓血 管外科	当院は、日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設、心臓血管外科専門医認定機構基幹施設です。虚血性心疾患、心臓弁膜症、先天性心疾患、閉塞性動脈硬化症などの診療、ペースメーカー植え込み術、透析用シャント造設、血栓除去術、心臓カテーテル検査等を行っています。
救急科 (救命 救急セ ンター)	当院は全国にある救命救急センターのひとつで、山梨県唯一の施設です。救急科の救急専門医が核となって救命救急センターが運営されており、24時間体制で第3次救急医療（一般の病院、診療科では救命の難しい超重症の救急患者様に対応する救急医療）を提供しています。
小児 外科	小児は成人のミニチュアではなく、ひとつひとつの臓器の形態や働きも年齢や発達により大きく異なるため、小児外科学会認定指導医、専門医を含む小児外科専任のチームを構成し、早産児・新生児から中学生まで（疾患によっては成人まで）の外科疾患の治療を行っています。

## 5. 週間スケジュール（心臓血管外科）

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9:00-10:00	病棟総回診							
9:00-13:00	カテーテル検査、治療							
14:00-	ペースメーカー手術							
17:00-	症例検討会							
9:00-12:00	外来診療							
9:00-13:00	午前手術							
14:00-18:00	午後手術							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

## 7. 連絡先

病院名：  
 住 所：〒  
 TEL：  
 担当者：  
 e-mail：  
 URL：

## 施設名：医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター

### 1. 地域における役割と施設の特徴

朝霞市・新座市・和光市・志木市を中心とした救急医療・急性期治療を行う中心的病院。外科（消化器、呼吸器、小児外科、乳腺外科）脳外科、整形外科も積極的に手術に取り組み緊急手術も多く常勤麻酔医師も多い。

平成30年1月1日 新築移転し446床増床、朝霞台中央総合病院よりTMG あさか医療センターに名称を変更してオープンした。

### 2. 指導医・外科スタッフ（14名）

院長	村田 順
副院長	藤田 竜一
院長補佐	町田 浩道
胸部血管外科部長	飯田 衛
臨床指導部長	木山 輝郎
小児外科部長	李 慶徳
外科部長	塩澤 邦久
外科部長	多田 祐輔
	宮崎 栄治
	松尾 真吾
	玉木 雅子
	植田 吉宣
	澤 宗寛
	加藤 奈月

### 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
ソケイヘルニア	172件	172件	0件
虫垂炎	115件	115件	0件
肛門疾患（内痔核、周囲膿瘍、裂肛）	34件	34件	0件
胃がん	49件	25件	24件
大腸がん	134件	67件	67件
胆嚢結石、胆嚢炎	98件	98件	0件
乳がん	96件	48件	48件
肺がん	11件	6件	5件
肝がん	22件	11件	11件
膵がん	22件	11件	11件
合 計	753件	587件	166件

#### 4. 取り扱っている疾患の特徴

当院にて対応している疾患の範囲は広いと思います。

○救急疾患では、消化管穿孔、炎症性疾患、血流障害などの一般的な疾患から腸管破裂、肝腎損傷、膀胱破裂などの外傷疾患まで広く治療している。

○腫瘍については、肝・胆・膵を含めた消化器から呼吸器、乳腺の治療を行う。

○先天的疾患として、小児ソケイヘルニア、包茎等の治療。

○一般外科としてのヘルニア・ヘモや、栄養としての胃ろう・ポート造設など。

#### 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9：30～18：30	一般外科外来（月～金）						-	-
9：30～17：00	一般外科外来（土曜日）	-	-	-	-	-		-
10：00～17：00	胸部外科外来（2週午後のみ15：00時まで）	-	-		-	-	-	-
	小児外科外来	-		-	-		-	-
	血管外科外来	-		-	-			-
	乳腺外科外来	-	-	-	-	-	-	
	心臓血管外科外来（PM 要予約）		-	-	-	-	-	-
	予定手術日（AM）						-	-
	予定手術日（PM）						-	-

#### 6. 専攻医へ向けてメッセージ

外科医を志す若手医師がこの研修を受けることで外科専門医としてのスキルを身に付け、標準的かつ包括的な外科医療を提供することにより国民の健康を保持し福祉に貢献していき、その中で外科領域診療に関わる最新の知識・テクニック・スキルを習得し、実践できる能力を養いつつ、この領域の学問的発展に貢献すること。

外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）またはそれに準じた外科関連領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へ連動すること。

医師として、社会人として地域社会や医学界との関係性を深め、その問題や課題に取り組む姿勢を身に付けていきましょう。

#### 7. 連絡先

病院名：TMGあさか医療センター

住 所：〒350-0023 埼玉県朝霞市溝沼 1340-1

T E L：048-466-2055

担当者：総務課 小林

e-mail：asakasoumu@tmg.or.jp

U R L：<http://www.asakadai-hp.jp/>

# 施設名：医療社団法人 常仁会 牛久愛和総合病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

当院は茨城県県南地域における中核病院として機能しています。

総合病院として3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供することを病院理念に掲げて診療しています。また各診療科で専門的な診療にも取り組んでいます。内科系、外科系ともに各種学会の専門施設、認定施設になっています。

臨床研修指定病院であり、また日本医療機能評価機構認定を受けています。

## 2. 指導医・外科スタッフ（ 3名）

院長 亀岡信悟

外科部長 野口岳春

外科医長 藤田俊広

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
そけいヘルニア	52件	49件	1件
急性虫垂炎	26件	21件	1件
胃癌	12件	7件	5件
大腸癌	39件	24件	13件
胆石症	57件	50件	4件
肝胆膵悪性疾患	5件	1件	4件
乳癌	19件	0件	3件
甲状腺（良性および悪性）	39件	0件	4件
合 計	249件	152件	35件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

当院の外科手術症例は消化器悪性疾患が1/3の症例を占めています。そのほか急性虫垂炎、急性胆嚢炎を中心とした腹部救急疾患および良性疾患が多く、特に鼠径ヘルニアは年間50例以上あります。腹腔鏡治療も適応を選択していますが、積極的に取り組んでいます。

乳腺甲状腺外科についても、非常勤の専門医を中心に手術治療に取り組んでいます。症例数の増加も期待できる診療分野です。

地域の救急医療に積極的に関わる病院であり、急性腹症に対する診断および手術の適応の判断、消化管出血に対する診断、内視鏡治療なども担当しています。抗がん剤治療も外科で担当することが多く、消化器疾患に関しては診断、手術、術後治療、緩和治療とトータルな診療をおこなっています。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7：30-9：00	カンファレンスおよび回診	■	■	■	■	■	■	
9：00-12：00	手術	■			■			
12：00-17：00	手術	■	■		■	■	■	
9：00-13：00	外来	■	■	■		■	■	
16：00-17：00	カンファレンスおよび回診	■	■	■	■	■	■	
18:00-19:00	勉強会	■						
9：00-10：00	休日回診							■

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

当院外科では消化器、内分泌、乳腺、救急外科が当院の外科診療分野であり、幅広く外科診療を行っています。

## 7. 連絡先

病院名：医療法人社団 常仁会 牛久愛和総合病院

住 所：〒300-1296

T E L：029-873-3111

担当者：野口 岳春

e-mail：tnoguchi@jojinkai.com

U R L：https://www.jojinkai.com/

# 施設名：大分市医師会立アルメイダ病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

当院は医師会会員による共同利用の開放型病院として昭和44年に開院。  
 当院はかかりつけ（会員）医師との密接な連携のもと、地域中核病院として急性期疾患を中心とした医療を担っている。

## 2. 指導医・外科スタッフ（5名）

白鳥 敏夫，釘宮 睦博，橋本 拓造，山本 壮一郎，地原想太郎

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）【2017年分】

症 例	手術数	術者として	助手として
食道	8 件	件	件
胃	59 件	件	件
小腸、大腸	350 件	件	件
肝	13 件	件	件
胆	235 件	件	件
膵・脾	9 件	件	件
虫垂炎	67 件	件	件
痔核	11 件	件	件
ヘルニア	114 件	件	件
その他	165 件	件	件
合 計	1031 件	件	件

\*手術症例数は年によって異なりますが、できるだけ要望に対応できるように致します。

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

消化器および一般外科を中心とする疾患が多い。  
 また医師会病院という特徴上、緊急手術例が多い。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
09:00-09:30	朝カンファレンス							
9:30-	手術							
08:30-09:30	手術検討会							
09:30-12:00	総回診							
09:00-13:00	外来							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

## 7. 連絡先

病院名：大分市医師会立アルメイダ病院

住 所：〒大分県大分市大字宮崎1509-2

T E L：(代) 097-569-3121

担当者：橋本 拓造

e-mail：hashizou3326@gmail.com

U R L：[www.almeida-hospital.com/](http://www.almeida-hospital.com/)

事務担当：染矢 尚子（がん診療推進室）

e-mail：someya@almeida.oita.med.or.jp

# 施設名： 一般社団法人 至誠会第二病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

東京女子医大の同窓会である至誠会を上部組織とする病床数 305 床の中規模病院です。17 の標榜科を有し、二次救急指定医療機関として主に急性期医療を行っています。世田谷区の西、調布市にも近い場所に立地しています。近隣に同規模の病院がないこともあり、地域の中心的病院となっています。全体では、年間 1500 例の手術件数を数え、当科だけでも約 350 例の手術をこなしております。悪性疾患などの定型的な手術はもちろん、急性期の地域病院である当院では外傷や炎症などのバラエティにとんだ症例も存在します。

## 2. 指導医・外科スタッフ（ 5 名）

外科部長 吉田 一成 消化器外科部長 山下 由紀 副院長 梁 英樹  
外科医師 佐藤 拓也 外科医師 白井 雄史

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
上部消化管良性疾患	5 件	5 件	件
上部消化管悪性疾患	20 件	10 件	10 件
胆道膵疾患	80 件	30 件	50 件
下部消化管悪性疾患	60 件	30 件	30 件
乳腺疾患	20 件	5 件	15 件
ヘルニア	70 件	60 件	10 件
虫垂炎	90 件	90 件	件
その他（局麻手術など）	150 件	130 件	20 件
合 計	495 件	360 件	135 件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

当科では、消化器外科、一般外科、乳腺外科を行っています。上部下部消化管、肝胆膵、乳腺の検査と治療。検査は上下消化管内視鏡、消化管造影、CT、MRI、超音波、ERCP、マンモグラフィなどを行っています。治療は外科治療を中心にしており、近年は腹腔鏡下手術も増えてきています。



## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9：00～10：00	回診	■	■	■	■	■	■	■
10：00～	手術	■	□	■	□	■	□	□
9：30～	内視鏡	□	■	□	■	□	□	□
13：00～	放射線検査	□	■	□	■	□	■	□
16：00～	カンファレンス	■	□	□	□	□	□	□
9：00～14：00	外来	■	■	■	■	■	■	□

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

一緒に頑張りましょう。

## 7. 連絡先

病院名：一般社団法人 至誠会第二病院

住 所：〒157-8550

T E L：03-3300-0366

担当者：医師 吉田一成、事務 小沢康子

e-mail：(小沢) y\_ozawa@shiseikai-daini-hosp.jp

U R L：http://www.shiseikai-daini-hosp.jp/

# 施設名：社会医療法人三栄会 中央林間病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

「地域に密着した急性期医療」を目標として、また「誠実な良匠たれ」を行動理念とし、大和市を中心に二次救急、急性期医療を行っている。

内科、整形外科と連携して消化器を中心とした小回りの利く体制をとっている。

地域性から若年者から高齢者まで幅広く、様々な疾患に対応している。

## 2. 指導医・外科スタッフ（2名）

院長：木山智

診療部長：河野正寛

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
胃癌	9件	8件	1件
結腸癌	21件	19件	2件
直腸癌	3件	3件	0件
虫垂炎	38件	38件	0件
腸閉塞	8件	8件	0件
鼠径ヘルニア	45件	45件	0件
胆石症	33件	33件	0件
合 計	157件	154件	3件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

地域的な面から患者は高齢者が中心であり、地域医療を担う一般外科医師として胃癌、大腸癌などの悪性疾患や虫垂炎、胆石、ヘルニアなど「外科的な *common disease*」に対応できるよう、指導医のもとで診断から治療まで行いつつ、外科外来診療、救急外傷処置、外科医療に必要な検査手技、手術手技を研修する。また救急搬送患者も大きく増加中であり急性腹症、消化管出血などへの対応も多い。

ほとんどの手術、検査ともに指導医の指導のもと、術者、施行医として施行していただく。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-	回診							
9:00-12:00	午前外来							
9:00-12:00	内視鏡検査							

9:00-	手術							
13:00-	手術							
病棟業務								

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

消化器外科医としての経験が中心となりますが、専門範囲に限らず小中規模市中病院でのいわゆる「何でも屋」としての一次対応についての研修も可能です。  
大規模病院ではできない経験が可能であると自負しております。

## 7. 連絡先

病院名：社会医療法人三栄会中央林間病院

住 所：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間 4-14-18

T E L：046-275-0110

担当者：河野正寛

e-mail：m-kohno@hospital-crg.net

U R L：http://www.hospital-crg.net/

# 施設名：医療法人社団けいせい会 東京北部病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

足立区は他の都内地域に比べ、都心の大学病院等の大規模病院への受診がしづらい地域性があります。そこにおいて、当院は地域に根差した日常診療から、「がん」「心筋梗塞」「脳卒中」をはじめニーズの多い医療分野において、大学病院レベルの高度な手術まで幅広く手掛ける地域中核病院として診療を行っております。都内である地理性を生かし、大学病院との連携を密にし、最新の機器を取り入れ、カテーテル手術や腹腔鏡手術、低侵襲性治療などにも積極的に取り組み、患者様のご希望に沿った負担の少ない治療など、質の高い医療を地域に居ながらにして提供できる病院を目指しております。

## 2. 指導医・外科スタッフ（ 5名）

院長 荒武寿樹 医局長 西村朝之  
部長 谷英己 医員 村上大樹（海外出張中） 医員 井原健

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
大腸がん手術	78 件	78 件	－件
胃癌手術	55 件	55 件	－件
胆嚢摘出術	75 件	75 件	－件
虫垂切除術	56 件	56 件	－件
鼠径ヘルニア手術	61 件	61 件	－件
腸管癒着症手術	20 件	20 件	－件
腹膜炎手術	12 件	12 件	－件
肛門周囲膿瘍切開術	10 件	10 件	－件
皮下腫瘍摘出術	20 件	20 件	－件
痔核手術	10 件	10 件	－件
合 計	397 件	397 件	－件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

消化器外科・一般外科では、食道・胃・十二指腸、小腸・大腸、肛門にわたる消化管の疾患と、肝臓・胆道・膵臓などの実質臓器の疾患を対象にしています。癌や肉腫などの悪性疾患を中心に、胆石やソケイヘルニア、皮下腫瘍などの良性疾患も対象としています。

また、腹腔鏡手術も積極的に行っており、胆嚢摘出術のみならず、悪性疾患に対しても適応を拡げております。ERCP、ESD等消化管内視鏡的治療も行っております。

また、種々の原因で引き起こされる腹痛、出血などにより緊急手術が必要な場合は 24 時間体制で受け入れております。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8：45-9：00	朝カンファレンス							
9：00-9：30	総回診							
9：00-13：00	午前外来							
13：00-17：00	午後外来							
9：30-	手術							
9：30-	内視鏡検査							
11：30-	外科カンファレンス							
17：00-	医局会							
9：00-	病棟業務							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

当院は小規模ながら地域の拠点病院として救急医療に力をいれ、急性期医療を積極的に行っております。外科疾患に置いても、悪性疾患から common disease まで幅広く対応できる力をつけることができます。内視鏡検査・治療も外科で行います。スタッフが少ない分、ひとりひとりの力が求められますが、その分経験できることが多くあります。

## 7. 連絡先

病院名：医療法人社団 けいせい会 東京北部病院

住 所：〒123-0872 東京都足立区江北 6-24-6

T E L：03-3854-3181

担当者：谷 英己

e-mail：tani@tokyohokubu-hp.info

U R L：http://www.tokyo-hokubu.jp

# 施設名：医療法人財団中山会 八王子消化器病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

当院は、1983年に故中山恒明先生が中山記念胃腸科病院として開設して以来、消化器疾患専門病院として医療活動を行って参りました。その後、1996年の故羽生富士夫元理事長就任を機に名称を八王子消化器病院と改めました。2002年には、現地へ移転し、病院理念であります「患者様のための医療」を実践すべくソフト・ハードの両面で体制を整えています。

外科手術症例は、年間約600件に上り腹腔鏡下手術や膵・胆道がん等の中高難度手術が約6割を占めます。また、膵臓病センターでは高度知識・技術を要する膵治療に注力しています。

## 2. 指導医・外科スタッフ（5名）

理事長	原田 信比古	顧問	今泉 俊秀
病院長	小池 伸定	医員	尾崎 雄飛
副院長	齋田 真		

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
胃切除術（腹腔鏡下手術を含む）	12件	3件	9件
結腸切除術（ 〃 ）	14件	7件	7件
直腸切除術（ 〃 ）	10件	5件	5件
虫垂切除術（ 〃 ）	13件	9件	4件
胆嚢摘出術（ 〃 ）	26件	16件	10件
膵切除術	13件	6件	7件
肝切除術	3件	1件	2件
小腸切除術	1件	0件	1件
胆管手術	0件	0件	0件
ヘルニア手術（腹腔鏡下手術を含む）	17件	9件	8件
その他の手術	9件	2件	7件
合 計	118件	58件	60件

#### 4. 取り扱っている疾患の特徴

診療科	疾患の特徴
消化器外科	消化器疾患については、食道、胃、小腸、大腸、肝胆膵と多岐にわたる疾患を対象とし、検査、治療を行っています。検査は、内視鏡(上・下部)、注腸造影、CT、エコー等を主に行い、治療は内科的・外科的治療の他、ESD 等の内視鏡治療や腹腔鏡下手術も年々増加しています。また、外来化学療法にも力を入れています。

#### 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8：00～9：00	朝カンファレンス、回診	■	■	■	■	■	■	
8：45～17：00（水曜日：PM）	手術		■	■		■		
9：00～17：00	検査（内視鏡など）	■						
9：00～17：00（土曜日：AM）	外来				■		■	
17：30～18：30	症例検討会	■						
18：30～19：00	医局会	■						

#### 6. 専攻医へ向けてメッセージ

消化器疾患の専門病院で、研修しませんか？ 当院の教育・研究の特色としては、専門病院ならではの希少な症例を含め、その対象疾患は多岐にわたり消化器疾患のエキスパートを目指すには最高の研修病院です。また、他職種との連携も円滑になされており、自分が関わった症例を内視鏡、手術、標本病理と追跡調査し、深く学ぶことも出来ます。

#### 7. 連絡先

病院名：医療法人財団中山会 八王子消化器病院

住 所：〒192-0903 東京都八王子市万町 177 番地の 3

T E L：042-626-5111

担当者：病院長 小池 伸定

e-mail：nobusada.koike@hachiojisyokaki.com

U R L：http://www.hachiojisyokaki.com

# 施設名：谷津保健病院

---

## 1. 地域における役割と施設の特徴

千葉東葛地区の習志野市において地域に根ざした2次救急対応の急性期医療をおこなっている。(救急車件数：年間2400件、手術総数：年間1200件) 急性期医療の谷津保健病院と同じ医療法人下に回復期リハビリテーション病院、在宅医療支援施設、健診センターを有し、疾病の早期発見、急性期医療、リハビリテーション医療、在宅医療と切れ目のない医療を地域に提供している。総合診療能力を併せ持った専門的診療を行い、「断らない」「待たせない」「質の高い」医療を大切にしている。外科診療においては消化器外科・一般外科・乳腺外科・緩和ケアを柱として各領域の専門性を高めた診療を行っている。関連の大学病院からの派遣医師に手術・診療の中心的役割を担える様に至適な環境を提供し、着実なレベルアップを図ってもらっている。

## 2. 指導医・外科スタッフ(6名)

指導医：5名                      外科医員：1名

## 3. 症例別経験可能数(術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載)

症 例	手術数	術者として	助手として
胃切除(鏡視下含む)	15件	5件	10件
結腸切除(鏡視下含む)	30件	15件	15件
直腸切除(鏡視下含む)	10件	5件	5件
胆嚢摘出(鏡視下含む)	30件	15件	15件
肝切除	3件	1件	2件
鼠径ヘルニア手術(鏡視下含む)	35件	20件	15件
痔疾患手術	15件	10件	5件
乳腺手術	20件	5件	15件
鏡視下肺切除	10件	3件	7件
下肢静脈瘤手術	10件	4件	6件
その他(イレウスなど)	22件	5件	17件
合 計	200件	88件	112件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

地域に密着した病院であり、消化器・一般外科、乳腺外科を中心に領域・難度の幅の広い手術をおこなっている。一般外来、救急外来、紹介症例等、緊急度においても様々な疾患を扱っている。消化管・胆嚢・鼠径ヘルニアは腹腔鏡手術を基本としておこなっている。



## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9：00-17：00	手術	■		■		■		
9：00-10：30	病棟回診	■	■	■	■	■	■	
9：00-16：00	外来診療	■	■	■	■	■		
9：00-12：00	外来診療						■	
9：00-12：00	内視鏡検査（上部消化管）						■	
13：00-17：00	内視鏡検査（下部消化管）		■		■			
13：00-16：00	血管造影検査	■						
8：15-9：00	カンファレンス			■				

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

地域密着型の一般急性期病院です。消化器外科、乳腺外科に関しては地域の中核的役割を担っています。消化器外科では鏡視下手術、内視鏡検査・手技、化学療法を習得できます。乳腺外科では診断、手術、化学療法を習得できます。すべての手術において専攻医に執刀もしくは助手を担当してもらいます。ワークライフバランスを重視しておりストレスのない外科医の勤務環境を整えています。

## 7. 連絡先

病院名：谷津保健病院

住 所：〒275-0026

T E L：047-451-6000

担当者：宮崎正二郎

e-mail：s\_miyazaki@yatsu.or.jp

U R L：http://www.yatsu.or.jp

# 施設名：横浜新緑総合病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

急性期総合病院としてH3年より横浜市緑区に開設して以来24年「確かな医療・やさしい対応・地域への貢献」を基本理念とし、地域医療に専念しております。横浜市の二次救急拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院として地域の方々、近隣医療機関の協力しながら横浜市北部の中核病院として地域医療の一翼を担っています。医療環境の様々な変化とニーズに対応するため、診療科のセンター化を進め、迅速な検査、診断、質の高い治療を提供できる体制を整えております。

## 2. 指導医・外科スタッフ（7名）

消化器センター長、兼 外科・消化器科 部長 齊藤 修治  
外科・乳腺外科 副部長 大地 哲也  
外科・消化器科 副部長 大塚 亮  
外科・消化器科 副部長 平山 亮一  
外科・消化器科 医長 江間 玲  
外科・消化器科 医長 佐々木 一憲  
外科・消化器科 医員 宮島 綾子

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
結腸悪性	70件	10件	45件
大腸良性	15件	5件	7件
小腸	12件	4件	4件
胃悪性	15件	4件	8件
肝胆道膵臓悪性	8件	0件	8件
胆道良性	70件	25件	25件
虫垂炎	45件	25件	5件
各種ヘルニア	90件	30件	40件
肛門疾患	15件	5件	5件
乳腺	20件	5件	5件
下肢静脈瘤	20件	5件	5件
合 計	380件	118件	157件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

外科・消化器科：悪性腫瘍手術は結腸・直腸がんを中心に、胃がんや肝・胆・膵悪性疾患の診断および外科治療を行っております。良性疾患では、ヘルニア、胆嚢結石症、肛門疾患などの待機手術だけでなく、急性虫垂炎、急性胆嚢炎、絞扼性腸閉塞、消化管穿孔などの救急疾患に関しても積極的に取り組んでおります。特に当科で力を入れている治療に腹腔鏡下手術（全腹部手術の88%を腹腔鏡下に行っております）、大腸ステント治療や直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術などがあります。消化センターとして診療体系をとっていることから、消化器内科医とともに消化器内視鏡検査も行い、結腸憩室炎や憩室出血、様々な腸炎、逆流性食道炎、ヘリコバクター関連疾患などの診療にもあたっております。

本年より乳腺外科専門医を迎え、外科・乳腺外科として乳がんに対する専門的な手術、化学療法が可能となりました。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~9:00	病棟回診							
9:00~13:00	手術							
13:00~15:00	手術							
9:00~13:00	外来							
14:00~17:00	外来							
9:00~12:00	上部消化管内視鏡検査							
14:00~15:00	下部消化器内視鏡検査							
17:30~19:00	消化器疾患多職種合同 カンファレンス							
17:30~18:30	病棟回診							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

外科専門研修プログラムにおいて、当科は東京女子医科大学病院を基幹施設としたプログラムにのみ連携施設として参加しております。

当院は東急田園都市線長津田駅、東名高速道路横浜青葉インターから比較的近く、東京からのアクセスは良好です。

外科診療では、腹腔鏡下手術を積極的に行い、外科・消化器科のスタッフはみな日本内視鏡外科学会技術認定医または取得を目指せるレベルにあり、2018年度には全腹部手術の88%を腹腔鏡下手術で行っております。今後、消化器外科分野ではロボット支援手術が広がることが予想されますが、現時点では消化器外科分野でのロボット支援手術の術者になるためには日本内視鏡外科学会技術認定医取得が必要となっており、外科専攻医のうちに多くの腹腔鏡下手術に参加し、基本技術を習得することが望ましいと考えております。また、消化器内科と一緒に消化器センターとして診療しており、消化器内視鏡検査技術を身につけることも可能です。

外科専門研修では東京女子医科大学プログラムに参加し、かつ連携施設研修では当科を希望していただければ幸いです。

## 7. 連絡先

病院名：横浜新緑総合病院 消化器センター 外科・消化器科

住 所：〒226-0025 横浜市緑区十日市場町 1726-7

T E L：045-984-2400（代表）

担当者：齊藤 修治

e-mail：[shusaito@jb3.so-net.ne.jp](mailto:shusaito@jb3.so-net.ne.jp)

U R L：<http://www.shinmidori.com/>

# 施設名：東京都保健医療公社 荏原病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

大田区、品川区を中心とした東京都区南部地域の中核病院として地域の医療機関と連携しながら医療を提供している。特にがん医療、救急医療、脳血管疾患治療に重点をおいている。

## 2. 指導医・外科スタッフ（7名）

外科部長	太田 岳洋	乳腺外科部長	日野 真人
外科医長	吉利 賢治	外科医長	梶山 英樹
外科医員	藤田 泉	外科医員	金子 由香
外科医員	土井 愛美		

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

### 1年間の数字

症 例	手術数	術者として	助手として
胃切除	20件	10件	5件
大腸切除	60件	15件	10件
肝切除	15件	2件	10件
胆のう摘出	65件	30件	10件
膵頭十二指腸切除	7件	1件	3件
虫垂切除	50件	25件	5件
ヘルニア手術	70件	30件	10件
消化管穿孔	15件	5件	3件
乳房切除	51件	1件	10件
合 計	353件	119件	66件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

当院の外科は消化器・一般外科、乳腺外科疾患を扱っている

消化器・一般外科では食道、胃、大腸、肛門、肝・胆・膵などの良性、悪性疾患に対して検査、治療（手術療法、内視鏡治療、化学療法など）を行っている。また各種ヘルニアに対する手術も行っている。当院は救急疾患の受け入れも多く、虫垂炎、胆石・胆嚢炎・胆管炎、腸閉塞、消化管穿孔、腹部外傷など様々な疾患の手術を行っている。

乳腺外科は乳腺科として別の独立した標榜科として存在し、乳腺専門医が診断から治療まで行っている。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8：00-9：00	総回診							
9：00～	手術または病棟業務							
9：00～	検査、病棟業務							
5：00-6：00	夕回診							
6：00-7：30	外科カンファレンス							
6：00-6：30	内科外科放射線科合同カンファレンス							
6：00-7：00	外科病理カンファレンス							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

当院は急性期疾患、救急疾患などを扱う地域の中核病院であり、ヘルニアや虫垂炎などから食道や肝胆膵の悪性疾患まで、消化器外科を中心に幅広い疾患の手術を行っています。外科専攻医は、限られた期間のなかで多数の手術を経験することが大切ですが、当院では低難度手術を主治医、術者として十分に経験しスキルを磨いた後に、胆のう摘出術、胃・大腸疾患の術者へとステップアップして研修することができます。また症例報告などの研究発表、論文作成に関しても、年間1編は発表、作成ができるよう経験豊富な指導医が指導します。

基本的にはサブスペシャリティとして消化器外科に繋がる研修となり、乳腺に関しては、必要症例数を確保するようにしますが、専攻医が希望する場合には、より乳腺外科を中心とした研修も可能です。

## 7. 連絡先

病院名：公益財団法人 東京都保健医療公社荏原病院

住 所：〒145-0065 東京都大田区東雪谷四丁目 5-10

T E L：03-5734-8000

担当者：太田岳洋

e-mail：takehiro\_oota@tokyo-hmt.jp

U R L：http://www.ebara-hp.ota.tokyo.jp

# 施設名：上福岡総合病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

地域における災害拠点病院、2時救急の中心施設。地元医師会からの紹介件数4000件以上。癌認定医機構認定病院として腹腔鏡手術を中心に施行。化学療法も外来、入院で多数施行している

## 2. 指導医・外科スタッフ（5名）

外科学会指導医 専門医：院長井上達夫 外科部長須藤泰裕 松下典正  
 専門医：窪田猛  
 名誉院長：喜多村陽一

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
胃癌手術 胃全摘	10件	5件	5件
胃切除	30件	5件	20件
大腸癌手術 結腸切除	30件	5件	10件
直腸切除	15件	3件	10件
直腸切断術 5	5件	1件	4件
乳房部分切除	30件	0件	30件
内痔核切除術	80件	30件	10件
臍頭十二指腸切除術	3件	0件	3件
鼠径ヘルニア手術	80件	30件	2件
胆嚢摘出術	30件	15件	15件
合 計	313件	94件	109件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

胃癌、大腸癌、膵臓癌、肝臓癌の各種癌  
 鼠径ヘルニア 痔核 などの手術  
 巻き爪、アテローム、皮下腫瘍などの小手術

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	外来診療	●	●	●		●	■	
9:00～10:30	内視鏡		■			■	●	

13：00～17：00	手術			●		●		
13：00～14：00	病棟カンファレンス						●	
13：00～14：00	病棟回診		●					
14：00～14：30	合同会議		●					
15：30～16：00	外来診療	●						
16：00～17：00	患者 I.C	●						

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

当院で外科の研修と、外科医としての心構えを学んで下さい。

## 7. 連絡先

病院名：医療法人誠壽会 上福岡総合病院

住 所：〒356-0011 ふじみ野市福岡 931 番地

T E L：049-278-1551(直通)

担当者：事務次長 貫井 直樹

e-mail：nukui@kamifukuoka.or.jp

U R L：http://www.kamifukuoka.or.jp/

## 施設名：東京都保健医療公社 多摩南部地域病院

### 1. 地域における役割と施設の特徴

完全予約制の地域支援病院。癌治療と二次救急を中心とした高度医療を提供

### 2. 指導医・外科スタッフ（9名）

指導医 5名                      スタッフ 4名

### 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
胃切除	19件	5件	15件
胃全摘	15件	1件	10件
結腸切除	16件	3件	10件
腹腔鏡下結腸切除	53件	3件	15件
腹腔鏡胆嚢摘出術	101件	10件	25件
直腸切除	28件	3件	10件
膵頭十二指腸切除	15件	1件	6件
肝切除	13件	1件	6件
ヘルニア根治術	123件	20件	20件
合 計	383件	47件	112件

### 4. 取り扱っている疾患の特徴

消化管癌中心に、肝胆膵癌も扱い消化器外科万遍なく経験できる。

### 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8：30～8：45	朝カンファレンス							
9：30～	手術							
9：00～	病棟業務							
16：30～	総回診							
8：00～9：00	手術症例検討会							
16：30～	病棟カンファレンス							
9：00～15：30	外来							



## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

やる気があれば高難度手術も経験できます。

## 7. 連絡先

病院名：多摩南部地域病院

住 所：〒206-0036 多摩市中沢 2-1-2

T E L：042-338-5111

担当者：桂川秀雄

e-mail：hideo\_katsuragawa@tokyo-hmt.jp

U R L：

# 施設名： 東京都保健医療公社 豊島病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

重点医療に「救急医療」、「脳血管疾患医療」、「がん医療」を掲げ、23区西北部（板橋区、練馬区、北区、豊島区）の地域医療を担っています。その他にも緩和ケア、精神科救急、感染症、リハビリテーション、障害者歯科にも積極的に取り組んでおります。

## 2. 指導医・外科スタッフ（14名）

福田 晃      安藤昌之      青木信彦      飯田 聡      阿美克典      今井健一郎  
鷹野秀明      天笠秀俊      本山一夫      前田新介      川口真智子      渋谷豪  
梶山大介      山田 梓

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
食道 悪性	11 件	1 件	1 件
食道 良性	0 件	0 件	0 件
胃 悪性	48 件	10 件	10 件
胃 良性	7 件	2 件	2 件
腸 悪性	173 件	25 件	28 件
腸 良性	84 件	15 件	10 件
肝臓 悪性	21 件	3 件	4 件
胆道 悪性	11 件	0 件	2 件
胆道 良性	115 件	28 件	15 件
膵臓 悪性	10 件	1 件	3 件
乳腺	56 件	5 件	5 件
その他	288 件	28 件	15 件
合 計	824 件	118 件	95 件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

消化器（食道、胃、小腸、大腸、肛門疾患、肝臓、胆道、膵臓）関連の手術以外にも内視鏡検査や PEG、PTEG、EMR、ESD、EST、胆道ステント、上部消化管・大腸ステントなどの内視鏡的治療、PTGBD、PTCD、CT 下ドレナージ、神経ブロック等の IVR にも外科医が積極的に取り組んでいます。

精神科救急を行っている病院のため、外科的治療を要する精神疾患患者の治療も当院精神科と連携のうえ数多く治療してきました。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:45	病棟全員回診（病棟の総回診）	○						
7:45～8:45	術前カンファランス（放射線科合同）		○					
8:00～8:45	術後合併症検討会（内科、麻酔科）			○				
8:00～8:45	入院患者カンファレンス				○			
8:00～8:45	抄読会・勉強会					○		
8:45～9:00	朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
8:50～	手術	○	○	○	○	○		
9:00～	外来	○	○	○	○	○		
9:00～	各種検査	○	○	○	○	○		
17:00～	グループ回診	○	○	○	○	○		
18:00～（1/月）	内視鏡病理カンファレンス					○		
17:00～（1/2W）	キャンサーボード		○					

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

消化器（食道、胃、小腸、大腸、肛門疾患、肝臓、胆道、膵臓）関連の手術以外にも内視鏡検査や PEG、PTEG、EMR、ESD、EST、胆道ステント、上部消化管・大腸ステントなどの内視鏡的治療、PTGBD、PTCD、CT 下ドレナージ、神経ブロック等の IVR にも外科医が積極的に取り組んでいます。救急が多く忙しくはありますが、多くの症例を経験することができます。

## 7. 連絡先

病院名： 東京都保健医療公社 豊島病院  
 住 所：〒173-0015 東京都板橋区栄町 33-1  
 T E L： 03（5375） 1234  
 担当者： 外科 福田 晃  
 e-mail： akira\_fukuda@tokyo-hmt.jp  
 U R L：

## 施設名：社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院

### 1. 地域における役割と施設の特徴

地域支援病院である。高齢者の手術症例が多い。内視鏡外科に積極的に取り組んでいる。琉球大学消化器腫瘍外科学講座の関連施設である。

### 2. 指導医・外科スタッフ（9名）

奥島憲彦 西原 実 宮平 工 花城直次 野村寛徳  
 高原裕夫 阿嘉裕之 国吉史雄 仲本正哉

### 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
消化管悪性疾患	25 件	5 件	20 件
消化管良性疾患	35 件	25 件	10 件
肝胆膵悪性疾患	15 件	0 件	15 件
肝胆膵良性疾患	30 件	20 件	10 件
乳腺疾患	25 件	10 件	15 件
ヘルニアなど	30 件	10 件	20 件
小外科	64 件	54 件	10 件
合 計	224 件	124 件	100 件

### 4. 取り扱っている疾患の特徴

消化器領域の疾患はほとんど網羅している。悪性疾患、良性疾患のバランスがとれている。緊急手術が多い。消化管内視鏡治療（ESD, POEM など）も行っている。

### 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:30	病棟回診、グループ別							
17:30-18:00	病棟回診、グループ別							
18:00-19:00	消化器内科との合同カンファレンス							

8：15-9：00	術後カンファレンス							
14：00-15：30	外科全体回診							
15：30-17：30	術前カンファレンス、抄読会							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

ハートライフ病院は沖縄県中南部東海岸に位置する308床の急性期病院です。外科の特徴としては消化器、乳腺、小児ヘルニア疾患を多く扱っており、緊急手術も多数経験できます。高齢者の手術も多く、内科と連携してその周術期管理を学ぶことができます。腹腔鏡手術は各種術式で適応としており、特に胆嚢摘出術、鼠径ヘルニア手術、虫垂切除術は100%近く腹腔鏡手術となっています。また、消化器癌、乳癌の化学療法も外科が中心に行っており、種々のレジメンの化学療法が経験できます。診療はグループ体制で行っており、上級医の指導のもと、安心して研修できる環境作りに配慮しています。

## 7. 連絡先

病院名：社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院

住 所：〒901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

T E L：098-895-3255（代）

担当者：外科部長 宮平 工

e-mail：kenshu@heartlife.or.jp

U R L：https://www.heartlife.or.jp/hospital/

# 施設名：一般財団法人 防府消化器病センター 防府胃腸病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

急性期消化器専門病院として特化しているが、同時に緩和医療、在宅医療にも力を入れており、地域における中核病院としての機能を果たしている

## 2. 指導医・外科スタッフ（3名）

理事長・病院長 三浦修、副院長 松岡功治、医局長 竹尾幸子

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
消化管および腹部内臓	310 件	件	件
頭頸部・体表・内分泌外科	43 件	件	件
上記の各分野における内視鏡手術（腹腔鏡・胸腔鏡を含む）	167 件	件	件
合 計	355 件	件	件

※術者および助手としての経験可能数は、その都度変更となる為不明です。

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

消化器内科疾患、消化器外科疾患を中心に上部、下部消化管内視鏡治療、開腹手術、腹腔鏡下手術、肝胆膵疾患インターベンション治療、さらに緩和医療、在宅医療も行っている。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
午前	外科診療							
〃	諸検査（上部消化器内視鏡）							
午後	諸検査（下部消化器内視鏡）							
午前	医局会							
午後	症例検討会、手術検討会							
午後	総回診							
午後	抄読会							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

基本的な外科手術、低～中難易度手術諸検査（内視鏡検査など）も多く経験することが可能です。

## 7. 連絡先

病院名：一般財団法人 防府消化器病センター 防府胃腸病院

住 所：〒747-0801 山口県防府市駅南町 14-33

T E L：0835-22-3339

担当者：総務課長 相嶋秀雄

e-mail：soun@hofu-icho.or.jp

U R L：https://www.hofu-icho.or.jp

# 施設名：独立法人地域医療機能推進機構山梨病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

甲府地域の中核病院である。消化器に特化していることが大きな特徴であり、消化器外科医 5 名と消化器内科医 3 名で構成する消化器病センターは、医療過疎の甲府地域の中核病院の中では、最も充実した施設である。また、乳腺外科と整形外科手術も多数行っており、内科治療より、外科治療に秀でた病院であることも特徴の一つである。また輪番で二次救急疾患を請け負っており、腹部・整形疾患においては、多数の緊急手術に対応している。また、当院外科では山梨県立中央病院との連携で、小児外科・呼吸器外科・循環器外科手術への助手参加が可能な状態となっており、各々の科で助手として NCD 登録をいただける状態となっている。

## 2. 指導医・外科スタッフ（3名）

院長	外科学会指導・専門医	小澤 俊総
外科部長	外科学会専門医	曾田 均
外科部長	外科学会専門医	土屋 雅人

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

（2014 年度の後期研修医 5 年目医師の実際を記載します。）

症 例	手術数	術者として	助手として
食道悪性	2 件	0 件	2 件
胃悪性	39 件	2 件	37 件
結腸悪性	25 件	3 件	22 件
直腸悪性	29 件	2 件	27 件
肝臓悪性	3 件	0 件	3 件
胆膵悪性	10 件	1 件	9 件
胆道良性	37 件	10 件	27 件
虫垂炎	10 件	5 件	5 件
各種ヘルニア	60 件	25 件	0 件
乳癌	99 件	0 件	10 件
その他	54 件	3 件	20 件
合 計	368 件	51 件	162 件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

外科

食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓まですべての消化器臓器の良・悪性疾患の検査・診断から手術までを行っている。胆嚢摘出や虫垂炎などの良性疾患・胃大腸の早期悪性疾患に対して積極的に腹腔鏡下手術を行っている。胃・大腸などの粘膜内癌の



ESD等の消化管内視鏡下治療も一部外科で行っている。内科とタイアップし、腹腔鏡下手術に消化管内視鏡治療を併用する、胃 GIST に対する LECS 法、術前胆管切開が困難であった総胆管結石に対するランデブー法なども行っている。基幹病院ではあまり行わないような、ヘルニア手術、急性腹症に対する緊急手術が多いのも大きな特徴である。

#### 乳腺外科

乳房に対する訴えのある患者は全て診察しており、良性疾患では局所麻酔下での良性腫瘍の摘出や乳腺膿瘍に対する切開排膿を年間 30 例ほど行っている。乳癌手術は年間 100 例程で、そのうち温存手術は 30%程度である。現在は標準手術とされるセンチネルリンパ節生検を RI/色素併用で行い、常勤病理診断医による術中迅速組織診断を行っている。当院健診センターでの乳癌マンモグラフィ検診は年間約 6000 例で、要精検者の 80%以上が当院乳腺外来を受診しており、乳癌発見と検診精度管理の両方に有益である。

### 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～9:00	カンファレンス+回診							
9:00～	手術							
9:00～12:00	外来							
9:00～12:00	内視鏡検査							
9:00～12:00	腹部超音波							
13:00～	手術							
16:30～17:00	回診							
17:00	消化器外科内科症例検討会							

### 6. 専攻医へ向けてメッセージ

### 7. 連絡先

病院名：独立行政法人地域医療機能推進機構 山梨病院

住 所：〒400-0025 山梨県甲府市朝日 3-1 1-1 6

TEL：055-252-8831

担当者：総務企画 米山

e-mail：[yoneyama-hiroshi@yamanashi.jcho.go.jp](mailto:yoneyama-hiroshi@yamanashi.jcho.go.jp)

URL：<http://yamanashi.jcho.go.jp>

# 施設名：東京医科大学茨城医療センター

## 1. 地域における役割と施設の特徴

地域がん診療連携拠点病院としてがんに対する高度先進医療の提供とともに、地域の医療ニーズを充足する急性期病院として『総合救急』を標榜し、“断らない医療”の実践を行い、外傷も含めた救急医療を提供している。また地域完結型医療の一端を担う医療機関として、医療、福祉の連携を強化した地域包括医療システムの構築している。

また教育・研究面として診療科間の連携とともに優秀な指導医による研修指導とともに共同研究センターや他施設との連携研究も進捗している。各分野のがん拠点病院としての専門性、先進性とともに地域医療を担う両面を有し、建学の「正義・友愛・奉仕」の精神に基づき、患者中心の優しい医療を推進致しております。

## 2. 指導医・外科スタッフ（7名）

主任教授	鈴木 修司（消化器外科）	講師	中島 英治（呼吸器外科）
教授	古川 欣也（呼吸器外科）	講師	大城 幸雄（消化器外科）
准教授	下田 貢（消化器外科）	助教	海瀬 博史（(乳腺・内分泌外科)）
准教授	島崎 二郎（消化器外科）		

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
胃癌	42 件	5 件	20 件
大腸癌	82 件	12 件	30 件
肝癌	27 件	1 件	10 件
膵癌	26 件	0 件	10 件
胆石症	84 件	20 件	10 件
鼠径ヘルニア	73 件	30 件	10 件
急性虫垂炎	34 件	20 件	5 件
肺癌	66 件	5 件	62 件
自然気胸	23 件	5 件	5 件
乳癌	46 件	2 件	40 件
甲状腺癌	0 件	0 件	0 件
合 計	503 件	100 件	204 件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

診療科	疾患の特徴
消化器外科	消化器の病気についてはすべての疾患を網羅し、食道、胃、小腸、大腸、肛門、肝胆膵などすべての消化器（胃腸科）疾患に対する検査、治療を行っている。地域がん診療連携拠点病院であり、がんに対しては集学的治療も積極的に行っている。また地域の救急医療を担っており、腹部救急疾患についても対処している。高難度手術とともに低侵襲手術もできるように体制をとっている
呼吸器外科	原発性肺癌、転移性肺腫瘍、気腫性肺疾患、縦隔腫瘍、中皮腫、慢性膿胸などに対する外科的治療を中心に診療し、肺癌に対する完全胸腔鏡下手術も積極的に施行している。肺癌に対する抗癌剤や放射線による術前術後療法も行い、予後改善を図っている。中

	心型早期肺癌では、光線力学的治療法（PDT）により、手術回避あるいは縮小手術が可能になり呼吸機能の温存を可能にしている。進行癌などの気道狭窄症例に対しては、呼吸器インターベンションを用いて気道を拡張し、硬性気管支鏡下ステント留置により QOL の改善に努めている。気管支鏡検査の他に、縦隔鏡を用いた縦隔リンパ節の確定診断も行っている。
乳腺・内分泌外科	乳腺疾患・甲状腺腫瘍を対象にしている。地域に根ざしたがん検診から high volume center ならではの専門性の高い診断と治療および先進的な高度医療を提供している。診療科横断的な協力体制が必要で、他部署の多くのスタッフの協力のもと、現体制を維持している。

## 5. 週間スケジュール

### 消化器外科

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:30	回診							
8:30-8:45	朝カンファレンス							
9:00～	手術							
9:00～	病棟業務							
	午前外来							
	午後外来							
5:00～5:30	症例検討会							
5:30～6:00	医局全体ミーティング							
5:00～	キャンサーボード							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

地域がん診療連携拠点病院としてがんに対する高度先進医療の提供とともに、地域の医療ニーズを充足する急性期病院として地域に貢献しています。がんのから急性腹症、外傷の治療と幅広く経験できる体制となっています。また、リサーチマインドの育成に取り組み、学会発表や論文執筆の指導も積極的に行い、専門医取得、その後のキャリアアップへの取り組みも行っています。

## 7. 連絡先

病院名：東京医科大学茨城医療センター

住 所：〒300-0395 茨城県稲敷郡阿見町中央 3-20-1

T E L：029-887-1161

担当者：鈴木 修司

e-mail：ssuzuki@tokyo-med.ac.jp

U R L：http://ksm.tokyo-med.ac.jp

## 施設名：埼玉県済生会栗橋病院

### 1. 地域における役割と施設の特徴

医療現場で働く喜びを自覚し、医療を通して社会と地域に貢献するという理念のもと、2011年に地域救急センターを開設し、2.5次ともいえる救急医療に積極的に取り組み、地域住民に質の高い医療を提供している。施設の特徴として当院は東京女子医科大学の特定関連病院として位置づけられ、原則として医師は同大学からの派遣である。このため診療スタッフは常に最新医療を導入する姿勢を持ち続け、診療とともに臨床研究にも力を注いでいる。救急から専門性の高い治療まで、さまざまな臨床研修が可能な施設である。

### 2. 指導医・外科スタッフ（8名）

診療技術部長	小池太郎	外科統括部長兼手術部長	吉松和彦
乳腺外科非常勤医師	木下 淳	呼吸器外科担当部長	小山邦広
呼吸器外科副担当部長	宮野 裕	診療統括部副部長(外科系)	伊藤嘉智
外科責任医長	今泉理枝	外科主任医長	河野鉄平

### 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
ヘルニア根治術（腹腔鏡・前方アプローチ）	55件	30件	25件
虫垂切除術（腹腔鏡・開腹）	30件	15件	15件
胆嚢摘出術（腹腔鏡・開腹）	45件	15件	30件
結腸切除術（腹腔鏡・開腹）	45件	10件	35件
胃切除術（腹腔鏡・開腹）	22件	2件	20件
人工肛門造設術	5件	3件	2件
乳腺手術	10件	5件	5件
胸腔鏡下手術	15件	5件	10件
末梢血管手術	15件	5件	10件
腫瘍摘出術	15件	10件	5件
合 計	257件	100件	157件

### 4. 取り扱っている疾患の特徴

当院外科は消化器外科・腎不全外科・乳腺外科・呼吸器外科により構成されている。消化器外科では胃・小腸・大腸・肛門・肝胆膵の悪性疾患（胃癌・大腸癌・肝癌・膵癌など）から良性疾患（ヘルニア・胆石症・腸閉塞など）、緊急手術（虫垂炎、急性胆嚢炎、消化管穿孔など）まで、消化器全般の診療・手術を行っている。腎不全外科ではブラッドアクセス手術やカテーテル治療を行い、腎移植も行っている。乳腺外科では乳癌（温存・全摘など）や良性腫瘍の診断・手術を行い、呼吸器外科では主に気胸や肺癌、縦隔腫瘍の手術を行っている。

各領域でプライマリ・ケアから抗がん剤を含めた薬物療法、緩和治療にあたっており、上述疾患の発症初期から終末期までの診療に携わることが可能である。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00 ~ 8:30	抄読会・勉強会							
8:00 ~ 8:30	内視鏡カンファレンス							
8:30 ~ 9:00	朝回診							
9:00 ~	病棟業務							
9:00 ~ 17:00	手術							
16:00 ~ 17:00	手術・病理カンファレンス							
17:00 ~ 17:30	死亡症例カンファレンス							
17:45 ~ 18:00	病棟カンファレンス							
18:00 ~ 18:15	新患カンファレンス							
18:15 ~ 18:30	夕回診							
17:30 ~ 18:00	病棟合同カンファレンス							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

利根医療圏の中核病院です。様々な手術を経験・執刀できます。  
今話題の埼玉県です！

## 7. 連絡先

病院名：済生会栗橋病院  
住 所：〒349-0045  
T E L：0480-52-3611  
担当者：小山 邦広  
e-mail：oyama@saikuri.org  
U R L：

## 施設名：都立多摩総合医療センター（胸部外科）

### 1. 地域における役割と施設の特徴

都立多摩総合医療センターは、同じ建物内に都立小児総合医療センターがあり、両院あわせて、1350床という大規模病院である。総合的医療機能を持つ高度急性期病院として、地域医療機関と連携し、人口約400万人の多摩地域の中核病院の役割を担っている。救急医療、がん医療、周産期医療を重点医療としているが、それらを支える総合診療を強化しており、ほぼ全科を網羅している。救急医療は救命救急センター、東京ER多摩総合を有し、周産期医療については、小児総合医療センターNICU GCU部門と一体となり、総合周産期センターとして、多摩地域の困難事例に対応している。また、がん診療拠点病院として、様々ながん症例に対して高い診療実績を誇っている。

### 2. 指導医・外科スタッフ（2名）

部長 小原 徹也  
医長 吉川 拓磨

### 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
気胸 胸腔鏡下肺部分切除術	15件	10件	5件
転移性肺腫瘍 胸腔鏡下部分切除術	20件	10件	10件
縦隔腫瘍摘出術	5件	2件	3件
肺癌 胸腔鏡下肺部分切除術	8件	4件	4件
肺癌 胸腔鏡下肺区域切除術	5件	1件	4件
肺癌 胸腔鏡下肺葉切除術	20件	1件	19件
気管支鏡下レーザー、ステント	5件	1件	4件
膿胸	2件	1件	1件
合 計	80件	30件	50件

### 4. 取り扱っている疾患の特徴

診療範囲は原発性肺癌、転移性肺腫瘍、結核を含む肺感染症や膿胸、重症筋無力症を含む縦隔疾患、自然気胸や嚢胞性肺疾患、胸部外傷、その他呼吸器に関する外科を扱っている。疾患としては、原発性肺癌が最も多く、次いで気胸などの嚢胞性肺疾患、転移性肺腫瘍、縦隔腫

瘍が多い。

肺癌に対して、全体の約90%を胸腔鏡下手術で行っており、特に3D-CTを用いた術前シミュレーションで安全かつ精密な肺葉切除・区域切除等を行っている。また術後の補助化学療法や放射線照射など集学的治療も行っている。

非結核性抗酸菌症や多剤耐性肺結核、肺アスペルギルス症、MRSA や耐性緑膿菌による慢性膿胸に対する外科的手術を以前より行っており、全国より紹介患者を受け入れている。

近隣の都立神経病院と連携しており、重症筋無力症に対する胸腺摘出術が多いことも特徴である。またロボット支援手術も今年度から開始予定である。

## 5. 週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:40 ~ 9:00	朝回診							
8:45 ~	手術							
9:00~ 12:00	午前外来							
13:00~ 16:00	午後外来							
9:00~ 17:00	病棟業務							
17:00~ 17:45	夕回診							
9:00~ 12:00	気管支鏡検査							
16:00~ 17:00	呼吸器内科、放射線科カンファレンス							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

多摩地区において以前より呼吸器外科症例の多い病院で胸腔鏡下手術が大部分を占めています。また対象疾患が多岐にわたっているのが特徴で専攻医の若い先生方にとって幅広い研修が可能になっています。

## 7. 連絡先

病院名：東京都立多摩総合医療センター

住所：〒183-8524 府中市武蔵台 2-8-29

TEL：042-323-5111

担当者：小原徹也（呼吸器外科）

e-mail：[tetsuya\\_obara@tmhp.jp](mailto:tetsuya_obara@tmhp.jp)

URL：

# 施設名：社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

当院は 450 床の中規模病院ですが、地域医療支援病院、臨床研修指定病院、年間 8,000 台救急搬送の救急指定病院、埼玉県がん診療指定病院の機能を有する埼玉西部地区の地域中核病院として消化器外科、乳腺内分泌外科、心臓血管外科を中心に年間 3000 件の手術を行っています。

## 2. 指導医・外科スタッフ（10名）

＜外科・乳腺・内分泌外科＞

外科診療科長 児玉ひとみ（乳腺・内分泌部長兼務）  
 部長 清水喜徳  
 副部長 岸 真也 医長 杉浦良子（乳腺・内分泌）  
 副部長 荻野健夫 医長 中村 靖（乳腺・内分泌）  
 医員 庄子 渉  
 医員 柳田充郎

＜心臓血管外科＞

部長 加藤泰之 副院長 木山宏 副院長 小柳俊哉  
 医長 山田宗明 医長 佐々木健一 医員 菅野靖幸

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
消化管及び腹部内臓	790 件	100 件	200 件
乳腺	92 件	10 件	20 件
呼吸器	0 件	0 件	0 件
心臓・大血管	324 件	10 件	190 件
末梢血管（頭蓋内血管を除く）	221 件	50 件	230 件
頭頸部・体表・内分泌外科（皮膚、軟部組織、顔面、甲状腺、上皮小体、性腺、副腎など）	193 件	10 件	20 件
小児外科	0 件	0 件	0 件
上記各分野における内視鏡手術（腹腔鏡胸腔鏡を含む）	386 件	件	件
合 計	1,642 件	180 件	660 件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

＜消化器外科・乳腺・内分泌外科＞

当院は救急医療、高齢者医療、消化器悪性腫瘍診療、内視鏡外科、乳腺・内分泌外科、埼玉県がん診療指定病院の役割を担う地域中核病院で、救急・急性期診療、手術、内視鏡検査、化学療法、緩和医療など一般・消化器外科、乳腺内分泌外科診療全般を行っている。主な手術は胆石症、虫垂炎、イレウス、消化管穿孔をはじめとする急性腹症、大腸癌、胃癌、乳癌、甲状腺癌等の悪性疾患、副甲状腺機能亢進症である。また胃癌、大腸癌を中心とした消化器がん、乳癌の化学療法も当科が中心となって行っている。緩和ケアに関しては当院の緩和ケア科・緩和ケアチームと連携しており、以上のごとく初療から手術、化学療法、緩和ケアと一貫した治療を行っているのが当院の特徴である。

＜心臓血管外科＞

常勤医 6 名体制（うち心臓血管外科専門医 5 名）で心臓大血管、末梢血管と肺疾患の外科的治療を中心に 24 時間体制で対応しています。

当科診療上の特徴

1. 外科的手術を必要とする心臓血管関連の疾患には 24 時間 365 日対応できる体制を整えています。そのため動脈瘤破裂、急性大動脈解離や急性動脈閉塞などの緊急手術を多く行っています。また 80 歳以上、透析や以前心臓手術を受けた患者さんなどの一般的にリスクの高い手術にも対応しており、当院のユーロスコア（別記参照）は 7.7 と極めて高い値です。
2. 患者さんが当院を受診しやすくするために、当科で行われている診療内容を情報公開しています。具体的な試みとして、手術の数、成績は偽りなく、紹介医やホームページに公表し、常に成績改善の努力をします。また心臓・大血管手術は DVD に記録していますので、患者さんのご希望があれば DVD でのダビングを後日お渡しします。
3. 担当医が診察ごとによって変わると治療方針や説明内容が変わり、不安感を訴える患者さんが多くみられます。手術前の説明から手術の執刀は極力同じ医師が担当するように努めます。
4. 心臓手術には危険性が伴います。手術の前に手術の必要性、方法、危険性について充分説明します。患者さんやご家族が理解および納得した上で手術を行います。決して手術を強要する事はしません。
5. 他院よりのセカンドオピニオンは随時受け入れています。また他院へのセカンドオピニオンをご希望される患者さんは担当医にご気軽に相談してください。

疾患別治療法の特徴

1. 虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞のこと）：

狭心症や心筋梗塞に対する冠動脈バイパス手術では手術の質を維持するために、以下の 2 点に留意しています。まずは長期的な成績が良好といわれている動脈をバイパスに使用することです。足の静脈を使用するより、技術的には難しく、時間も必要とします。しかし患者さんの長期的なメリットを考え、バイパス材料にはなるべく動脈を使用しています。もうひとつは患者さんの状態に応じて、心停止下の手術と心拍動下の手術を使い分けることです。心停止下の手術は血管吻合を容易にしますが、患者さんの体への負担が増え、脳梗塞も発生しやすくなります。逆に心拍動下の手術は血管吻合が難しくなりますが、患者さんへの体の負担が減ります。我々はそれぞれの手術法の



利点、欠点を考慮し、患者さんに適した手術方法を選択しています。その結果、平成 14 年 12 月からの 193 例の単独冠動脈バイパス術に術中脳梗塞発生は 1 例もありません。

2. 心臓弁膜症：

弁膜症には人工弁を移植する事が多いのですが、人工弁を移植することにより、一生飲まなければならない薬（ワーファリン）が必要となります。

我々は人工弁の移植を可能な限り避けるため、自分の弁を残す弁形成術を試みています。僧帽弁閉鎖不全症の 8 割で形成術を行いました。

またワーファリンを必要としない生体弁も積極的に移植しています。

3. 大動脈疾患：

腹部大動脈瘤の手術は皮膚切開 10cm 以下の小切開下に行っています。切離する筋肉の量が少ないため術後の痛みが軽いのが特徴です。術後回復も早く手術 5 日後に退院した患者さんもいます。急性大動脈解離、大動脈瘤破裂といった突然死を引き起こす疾患が増えています。このような緊急を必要とする大血管手術に対しても 24 時間体制で対応しています。

4. 下肢静脈瘤：

患者さんの足の状態やご都合に合わせて、入院手術と外来手術を選択しています。約 6 割の患者さんが外来のみで治療しています。また軽症の患者さんには薬を静脈瘤に注入して治す、硬化療法を行っています。

5. 肺疾患：

肺疾患は気胸の治療を主に行っています。手術はほとんどカメラ補助下（胸腔鏡下手術）でします。胸腔鏡下手術は手術創も小さく、術後の痛みが軽いという特徴があります。また 2004 年より再発予防を目的に肺表面に特殊なシート（ポリグルコール酸）を貼っています。この方法を導入してからは連続 84 例術後再発がありません。気胸の術後再発は 5～10%といわれていますので、当院の成績は驚異的な数字です。

### 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:15	モーニングセミナー							
8:05-8:30	ER ケースカンファレンス							
8:15-8:30	外科術前カンファレンス							
8:30-8:45	救急カンファレンス							
8:45-	病棟業務							
9:00-	手術							
9:00-12:00	病棟回診							
9:00-12:00	外来							
12:30-13:00	ランチョンセミナー							
14:00-15:00	外科病棟カンファレンス							
17:00-18:00	外科カンファレンス							
17:00-18:00	手術症例カンファレンス							
17:00-18:00	外科病理カンファレンス							
18:00-19:00	C P C							

### 6. 専攻医へ向けてメッセージ

私たちの病院は昭和 62 年に開設され、2017 年に現在地に移転しました。現在 450 床、診療科 23 科、常勤医師数 100 名体制で診療に従事しています。通常の民間病院では考えられないほど充実した診療体制を確保し、二次救急の地域中核病院としてこの地域で最も多い年間 7000 台以上の救急者搬送患者の診療にあたり、多くの外科系救急疾患を経験することが可能となっています。

また多くの各専門科の研修認定施設であるばかりでなく、臨床研修指定病院、地域医療支援病院、がん診療指定病院（埼玉県指定）でもあり、平成 22 年にはこれまでの地域医療への貢献が評価され社会医療法人に認定されました。後期研修医の先生方は地域の中核病院として素晴らしい先輩、同僚、初期研修医とともに診療にあたり、学ぶことによって、地域医療に貢献することもできます。また小さいながらも地域完結型病院を目指し、外科治療の充実はもちろんのこと、救急医療、化学療法、緩和医療を充実させ、治療終了後の患者さんに対する病診連携にも力を注ぎ、初診から治療終了まで一貫して学ぶことができる体制を確保しています。

何より私たちの病院の特筆すべきところは、職種の垣根を越えたチームワークの良さと認識しています。病院に一度見学に来ていただくと、“ああ、なるほど”と理解できると思いますが、100 名を超す医師が一つの大きな医局で、垣根のない生活を送っています。同じ科の医師とのチームワーク、他科とのチームワーク、多職種間のチームワークは病院の誇りであり、財産と考えます。当院のチーム医療は研修医の先生方の一生の礎となり、成長の糧となると考えており、私たちの研修の一番のお薦めと考えています

### 7. 連絡先

病院名：社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院  
 住 所：〒350-1305 埼玉県狭山市入間川 2-37-20 T E L：04-2953-0909  
 担当者：事務部 若松裕二  
 e-mail：yuji-wakamatsu@saitama-sekishinkai.org  
 U R L：http://www.saitama-sekishinkai.jp

# 施設名：熊本赤十字病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

24時間365日、1次から3次まで、年間6万人の患者を受け入れる救命救急センターを持つ当院では救急を28診療科で支える診療を行っている。

また、平成24年にドクターヘリ基地病院として運用を開始し、九州で初となるPICUを併設したこども医療センターも整備。

平成25年には全国で5か所目、西日本では初となる「小児救命救急センター」の指定を県から受け、重篤な小児外科疾患を診ることができる。

## 2. 指導医・外科スタッフ（2名）

部長 吉元 和彦

副部長 比企 さおり

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）※主なもの

症 例	手術数	術者として	助手として
鼠径ヘルニア（LPEC）	50件	35件	15件
虫垂炎（腹腔鏡下虫垂切除）	10件	5件	5件
腹腔鏡下噴門形成	15件	5件	10件
腹腔鏡下胃瘻増設	15件	10件	5件
喉頭気管分離	10件	8件	2件
合 計	100件	63件	37件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

○小児救急：小児の外傷患者数は年間約4000人で、そのうち入院は150人。その多くは四肢の骨折、頭部外傷だが、重症の小児外傷は小児科、小児外科が各科と共同で診察している。

平成26年の小児外傷の救急搬送患者は424人、そのうち入院は105人（25%）、手術は44人（10%）だった。

○内視鏡手術：小児外科では将来に影響を残しにくい内視鏡手術を積極的に取り入れている。

平成26年は手術件数344件で、うち内視鏡手術は233件（68%）。

主な手術は腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（LPEC）116件、腹腔鏡下噴門形成術27件、特に、腹腔鏡下噴門形成は日本でもトップクラスの数を行っている。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
7:00-8:00	週替わりカンファレンス 術前検討会				■	■		
8:00-8:30	病棟カンファレンス			■				
8:30-8:40	診療部医局朝礼	■	■	■	■	■		
8:40-9:00	外科申し送り	■	■	■	■	■		
9:00-18:00	手術 病棟回診	■	■	■	■	■		
18:00-	キャンサーボード				■			

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

他では経験できない小児救急系の小児外科医になりたい外科医を求めています。

## 7. 連絡先

病院名：熊本赤十字病院

住 所：〒8601-8520

熊本県熊本市東区長嶺南二丁目1番1号

T E L : 096-384-2111

担当者：教育研修推進課 久木田

e-mail : rinsyokensyu@kumamoto-med.jrc.or.jp

U R L : <https://www.kumamoto-med.jrc.or.jp/>

# 施設名：独立行政法人地域医療推進機構 東京城東病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

当院は外科（消化器科・肛門外科を含む）、内科、整形外科の三科が協力し地域医療に貢献している東京都指定二次救急医療機関である。外科については日本外科学会専門医制度修練施設（関連施設）、日本消化器内視鏡学会指導施設となっており、日本外科学会・日本消化器外科学会・日本消化器内視鏡学会・日本消化器病学会・日本肝臓学会の各専門医、マンモグラフィー読影認定医および日本内視鏡外科学会技術認定医が常勤しているため、消化器がんをはじめとした消化器疾患から外傷・粉瘤などの一般外科的疾患に至るまで幅広い疾患に対応可能である。また、独立行政法人地域医療推進機構（JCHO）の一員として“皆様に信頼される安全な医療を提供に努めること”を基本理念と考え、患者様の権利と人格を尊重し、患者様中心の医療を実践し地域の皆様の健康管理を通じ、地域医療への貢献を目指している。

## 2. 指導医・外科スタッフ（3名）

外科部長 阪井 守 消化器外科医長 清水 香  
外科医長 西村 明浩

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
胃全摘出術	3(1)件	3件	3件
結腸切除術	17(8)件	17件	17件
直腸癌手術	10(4)件	10件	10件
胆石手術	30(23)件	30件	30件
イレウス手術	8(1)件	8件	8件
虫垂炎手術	25(15)件	25件	25件
鼠径ヘルニア手術	18(13)件	18件	18件
痔核・痔瘻・肛門周囲膿瘍	13件	13件	13件
体表手術（粉瘤・脂肪腫など）	11件	11件	11件
合 計	135(89)件	135件	135件

（ ）内は腹腔鏡下手術数

基本的に全手術症例について術者、助手を問わず経験可能である。

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

胃癌・大腸癌を中心とした上部・下部消化管および肝・胆・膵の消化器病疾患に対する診断および治療から外傷や粉瘤などの一般外科的処置まで幅広く対応している。また、虫垂炎や絞扼性イレウスなどの救急疾患やヘルニア、痔核・痔瘻・肛門周囲膿瘍などあまり大学病院では取り扱うことが少ない疾患に対しても緊急手術を含めた積極的な治療を行っている。検査については専門医による上部および下部消化管内視鏡検査、胆道疾患に対する内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）による治療および腹部・乳腺・体表臓器の超音

波検査を行っている。また、肝臓疾患に対する肝動脈塞栓術（TAE）・経皮経肝門脈塞栓術（PTPE）など血管造影による治療についても適宜、対応している。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	朝カンファレンス							
8:30～9:30	病棟回診および業務							
9:30～12:00	午前外来もしくは内視鏡業務							
9:00～	手術							
13:00～	手術							
14:00～16:00	午後外来もしくは内視鏡業務							
15:30～	合同カンファレンス（症例検討会を含む）							
16:30～	勉強会、抄読会							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

専攻医のみなさん、わたくしたち東京城東病院外科は少人数ではありますが、そのかわりとして先輩後輩の分け隔てなくアットホームな雰囲気職場です。基本的に外来診察で関わった症例は必ず担当する主治医制をとっておりますが、常に先輩医師全員でバックアップするグループ診療の良い点も併用しており専攻医のみなさんが責任ある一人の外科医師として患者さんと向き合えるように配慮しております。手術症例についても低難度・高難度の区別なく全症例に最初から参加できるように配慮致しておりますので、大病院でもなかなか経験できないような症例も早目に経験してもらおうことができますと思います。

わたくしたち外科スタッフ一同、専攻医のみなさんを心待ちにしております。

## 7. 連絡先

病院名：独立行政法人地域医療機能推進機構 東京城東病院

住 所：〒136-0071 東京都江東区亀戸 9-13-1

T E L：(代)03-3685-1431

担当者：外科部長 阪井 守

e-mail：dr1sakai@jd5.so-net.ne.jp

U R L：https://joto.jcho.go.jp/

# 施設名：医療法人社団 栄悠会 綾瀬循環器病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴（2018年の数値を統計中です）

当院は1986年6月に心血管疾患の専門病院として開設以来、32年間にわたり、急性期循環器医療を中心に展開してきました。

2017年の診療実績は下記3.に記したとおりです。2018年は心大血管リハビリテーション22,035単位を実施、病床稼働率84.2%、平均在院日数9.44日でした。

人口137万人の区東北部における、循環器疾患の医療圏シェアは18.8%になります。

救急医療では、救急搬送1,697件、モバイルCCU出動件数200件、救急応需率99.1%、東京CCUネットワーク加盟施設、大動脈スーパーネットワーク緊急大動脈重点病院として2018年には急性心筋梗塞211例、急性大動脈疾患94例の受入実績があり、地域の循環器センター、救急病院としての役割を担っています。

2015年9月には新築移転し、急性期病床を拡充（67床→76床）、ハイブリット手術室新設、カテ室2室、手術室2室、320列MDCT、ICU/CCU、HCU、ER機能の拡充（特定集中治療室管理料Ⅰの算定）、災害時継続医療を目指し免震・水害対応建築、IT化推進（新電子カルテ等）を導入し、医療機能、医療安全の更なる向上を目指しています。

## 2. 指導医・外科スタッフ（6名）

丁 毅文（指導医）、青見 茂之、建部 祥、遊佐裕明、半沢善勝、田邊友暁

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
冠動脈バイパス術	83件	16件	32件
弁膜症手術	78件	4件	27件
胸部大動脈瘤手術	68件	2件	29件
腹部大動脈瘤手術	8件	2件	5件
末梢血管手術	23件	5件	3件
ステントグラフト内挿術	66件	0件	22件
先天性	4件	2件	0件
その他の開心術	8件	1件	4件
その他（開心術以外）	24件	4件	9件
合 計	362件	36件	131件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

90%以上が循環器疾患

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:20	CAG カンファレンス、総回診							
8:00-8:20	ICU, HCU, ER 回診							
9:30-12:00	午前外来							
8:30-	手術							
9:30-	手術							
16:00-17:00	手術カンファレンス							
17:00-17:30	ICU, HCU, ER 回診							
7:45-8:15	医局会、抄読会（月1回、第1週）							
8:30-9:00	運営会議（月1回、第3週）							

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

特になし

## 7. 連絡先

病院名：綾瀬循環器病院

住 所：〒120-0006 東京都足立区谷中 2-16-7

T E L：03-3605-2811

担当者：丁 毅文

e-mail：i-tei@bp.ij4u.or.jp

U R L：http://www.ayaseheart.or.jp/

# 施設名：国際医療福祉大学熱海病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

国際医療福祉大学熱海病院のルーツは、1911年に創立された東京第一衛戍病院熱海分院、1950年に改称された国立熱海病院にあります。2002年に国際医療福祉大学が継承し、現在の病院となりました。

診療科目は、予防医学、総合診療、各専門の診療科、救急医療、リハビリテーションなど、時代に即した最先端の医療を提供できる体制を整えております。静岡県東部、伊豆半島全域、神奈川県西部の医療を支える中核病院として機能しています。

熱海市は高齢化率が44%を超える超高齢社会です。5大がんの検診率は静岡県下で最も低い地域となっており、市民のQOL（生活の質）向上と予防医学分野の充実が重要な課題です。さらに、救急車の出動回数は年間約3,800件となっており、人口が約2倍の近隣伊東市と変わらない出動回数です。当院は、2016年4月に認定された地域がん診療病院として、また地域の2次救急医療を提供する救急医療の拠点としても大きな役割を果たしております。

## 2. 指導医・外科スタッフ（3名）

教授 唐仁原 全

教授 白井 博之

准教授 矢嶋 淳

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
腹部・消化器	15件	10件	5件
末梢血管	200件	150件	50件
合 計	215件	160件	55件

## 4. 取り扱っている疾患の特徴

・**移植外科** 2008年より移植医療を実施するため「移植外科」を開設しています。臓器移植は根治不能な臓器不全を完治しうる究極の医療です。内科的治療が限界となった肝不全には肝移植が唯一の救命手段であり、若年に発症する1型糖尿病は膵移植によってインスリン自己注射や低血糖発作から解放され、腎移植による透析療法からの離脱はQOL（生活の質）の向上のみならず生命予後を改善します。こうした臓器移植は今や一般医療となっており、腎移植でみると、全国150を超える施設で実施され、生体腎と献腎合わせて1,100件を突破し着実に増加しています。こうした背景には、免疫抑制剤の進歩による生着率の向上や生体移植ドナー手術における低侵襲手術（内視鏡）の導入などがあり、多くの臓器不全患者が恩恵を受けています。

腎移植を中心に実施していますが、将来的には肝・膵移植のみならず、虚血肢に対する幹細胞移植による血管再生療法も準備を進めたいと考えています。また、透析患者に対するバスキュラーアクセス手術等も積極的に行っています。

・**外科（消化器）** 消化器外科をはじめ内分泌外科や下肢静脈瘤に至るまで、どのような疾患に対しても幅広く対応できるようにチームで取り組んでいます。

年間400例以上の手術を行っていますが、ヘルニアや腹腔鏡下胆嚢摘出術は数日間の入院、胃がん・大腸がんの手術でも3週間以内の入院で社会復帰が可能です。特に、



食道がん、胃がん、大腸がんに関しては、進行度に応じて、徹底した手術、負担の少ない機能温存手術や縮小手術、胸腔鏡や腹腔鏡を用いた鏡視下手術、抗がん剤による化学療法などを組み合わせることで、最良の治療を提供しています。消化器疾患はもちろん、痔疾患や乳腺疾患、甲状腺疾患についても経験豊かな専門医が診療しています。

また、外傷、急性虫垂炎をはじめとする救急医療でも、地域の中核病院として、緊急手術がいつでもできる体制を整えています。熱海市在住の方だけでなく旅行者の急病にも対応しており、観光都市熱海の発展に医療面で貢献しています。

- ・ **呼吸器外科** 手術療法を中心に治療を行っています。対象となる疾患は、肺がんや各臓器からの転移性肺腫瘍などの悪性肺腫瘍、胸腺腫を主とする縦隔腫瘍、悪性胸膜中皮腫、胸壁腫瘍、気胸・巨大肺嚢胞などの嚢胞性肺疾患、重症筋無力症、膿胸、縦隔炎などです。呼吸器内科と協力のうえ正確な診断を行い、個々の病状に合わせた治療法を行います。

具体例

- ①内視鏡を活用した低侵襲手術：胸腔鏡〔補助下〕手術（VATS）による手術創部の縮小・術後疼痛の緩和・呼吸筋の温存
- ②積極的な拡大手術による根治性の追求・呼吸機能の温存：気管支および血管の形成手術、胸壁切除や横隔膜切除
- ③生活の質（QOL）の重視：丁寧な手術の実施による早期離床・術後合併症の減少・早期退院

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30、12:00～12:30	抄読会、勉強会			●	●			
8:30～9:00	カンファレンス						●	
9:00～12:00	外来	●						
9:00～12:00	病棟			●				
9:00～17:00	手術		●		●	●		
14:00～14:30	病理カンファレンス			●				
17:00～18:00	医局会	●						

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

国際医療福祉大学熱海病院は、腎移植手術と透析患者のバスキュラーアクセス手術が多く経験できる施設です。その他、腹腔内・後腹膜肉腫手術も20例程度行っており、多彩な症例を経験することが出来ます。腎不全を中心とした臓器不全患者の全身管理を依頼されることも多く、希望があれば臓器不全患者の集中治療管理も学ぶことが出来ます。東京女子医大からは遠く離れていますが、こういった症例を経験しようと思う専攻医の先生に、是非熱海病院での研修をお勧めします。

## 7. 連絡先

病院名：国際医療福祉大学熱海病院

住 所：〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町13番1号

T E L：0557-81-9171

担当者：唐仁原 全、白井博之

e-mail：[tojimbara@iuhw.ac.jp](mailto:tojimbara@iuhw.ac.jp) [hshirai@iuhw.ac.jp](mailto:hshirai@iuhw.ac.jp)

U R L：<http://atami.iuhw.ac.jp>

## 施設名：公益財団法人東京都保健医療公社 多摩北部医療センター

### 1. 地域における役割と施設の特徴

多摩北部医療センターは、昭和 61 年に都立の東京都多摩老人医療センターとして開設され、高齢者に対する高度専門医療を行ってきました。平成 17 年 4 月に東京都保健医療公社に運営移管し、平成 18 年には地域医療支援病院に認定され、東京都の北多摩北部地域（清瀬市、東久留米市、東村山市、小平市、西東京市）の中核病院として運営しています。運営移管後は、高齢者医療の他、地域に不足する小児医療などの充実・強化を図り、近隣の医療機関の先生方と密接な連携を取りながら、地域の中核病院としての役割を担っています。

### 2. 指導医・外科スタッフ（4名）

高橋 豊（消化器外科 医長）  
山田 卓司（消化器外科 医長）  
河合 陽介（消化器外科 医員）  
小竹 将（消化器外科 医員）

### 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
胃癌手術	25 件	8 件	15 件
大腸癌手術	59 件	15 件	30 件
肝切除	16 件	2 件	10 件
膵切除	16 件	2 件	10 件
胆嚢摘出術	66 件	30 件	20 件
虫垂炎手術	33 件	20 件	10 件
その他(腹膜炎, イレウス等)	110 件	30 件	30 件
合 計	325 件	107 件	125 件

### 4. 取り扱っている疾患の特徴

外科グループで乳腺、甲状腺手術等を行っているので消化器外科では主に消化器手術だけを行っています。消化管（胃・大腸）の手術は可能な限り腹腔鏡手術を取り入れて行っています。消化器内科で ERCP・EUS 症例が多数あるために肝胆膵手術も増加しています。研修医の手術の修練に適した腹腔鏡下胆嚢摘出術や虫垂切除も多数ありますので手術手技を習得した上でより上級の手術に進めるように指導します。

## 5. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:15	朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
8:15-9:00	朝病棟回診	○	○	○	○	○	○	○
9:00-	手術	○	○		○			
16:00-16:30	夕方病棟回診	○	○	○	○	○	○	○
16:30-17:30	外科・消化器外科カンファレンス		○					
16:30-17:30	消化器内科・消化器外科カンファレンス				○			

## 6. 専攻医へ向けてメッセージ

当院の消化器外科は2017年に新規標榜いたしました。既存の外科のグループと協力して診療を行い消化器疾患の治療に取り組んでおり、より専門性の高い腹腔鏡手術や肝胆膵手術を中心に行っております。消化器外科専門医・指導医をはじめ日本内視鏡外科学会技術認定医、日本肝胆膵外科学会 肝胆膵高度技能専門医が指導します。また消化器内科と同じ病棟で垣根なく診療を行っており上部・下部内視鏡検査、ERCP・EUS-FNAなどは内視鏡指導医が指導しています。少人数のスタッフで診療にあたっておりますが、非常に多くの手術・治療・検査を行っております。研修医の先生方にも多くの症例を経験していただくことができ専門的な指導も可能です。是非、当院での研修を希望していただきたいと思っております。

## 7. 連絡先

病院名：公益財団法人東京都保健医療公社 多摩北部医療センター

住 所：〒189-8511 東京都東村山市一丁目7番1号

T E L：042-396-3811

担当者：庶務課庶務係 坂本 欣子

e-mail：[tamahoku-resident@tokyo-hmt.jp](mailto:tamahoku-resident@tokyo-hmt.jp)

担当医：消化器外科 医長 高橋 豊

e-mail：[yutaka\\_takahashi@tokyo-hmt.jp](mailto:yutaka_takahashi@tokyo-hmt.jp)

U R L：<http://www.tamahoku-hp.jp/>

# 施設名：医療法人社団日高会 日高病院

## 1. 地域における役割と施設の特徴

当院が位置する群馬県高崎市・安中医療圏は群馬県最大の人口規模で、当院は地域医療支援病院、基幹型臨床研修病院、災害医療拠点病院、群馬県がん診療連携推進病院などに指定されており、地域の中核医療機関として地域医療を支えています。年間の入院患者数は約7,200名で、このうち外科領域は消化器外科、腎臓外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科を合わせ2,300名となっています。これらの診療科での手術は年間1,570件（2017年NCD登録件数）となっています。

外科（消化器）では手術、放射線治療、化学療法を選択的治療が院内で可能で、手術は積極的に腹腔鏡手術を取り入れ、IMRTによる放射線治療のほか、化学療法は仕事を持っている患者のために夜間化学療法も行っています。腎臓外科は、二次医療圏を越えての手術依頼も多くあり、透析用シャント造設300件、透析用内シャント血栓除去術1,800件、生体腎移植20件の年間実績があり広域地域の腎臓外科センターの役割を担っています。心臓血管外科は、冠動脈バイパス術、弁置換術・形成術、胸腹部大動脈瘤手術、下肢静脈瘤手術など年間約100件の手術を行っています。off pumpでの冠動脈バイパス術の実施、腹部動脈瘤手術のほとんどがステントグラフト内挿術となっています。

## 2. 指導医・外科スタッフ（8名）

<外科、乳腺・内分泌外科>

大澤 清孝 副院長                      茂木 正彦 化学療法センター長  
東海林 久紀 外科部長              龍城 宏典 外科医長  
落合 亮 乳腺内分泌外科部長

<腎臓外科>

安藤 哲郎 院長補佐                  添野 真嗣 腎臓外科部長

<心臓血管外科>

大野 英昭 心臓血管外科部長              矢野 隆 心臓血管外科医長

## 3. 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

### 2017年NCD登録実績

症 例	手術数
消化管および腹部内臓	300 件
乳腺	40 件
心臓・大血管	52 件
末梢血管（頭蓋内血管を除く）	941 件
頭頸部・体表・内分泌外科	83 件
その他	154 件
合計	1,570 件
上記各分野での内視鏡手術（腹腔鏡胸腔鏡を含む）	260 件

#### 4. 取り扱っている疾患の特徴

診療科	疾患の特徴
外科（消化器）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上部消化管：胃癌、間葉系腫瘍、胃十二指腸潰瘍、食道裂孔ヘルニアなど</li> <li>・ 下部消化管：大腸癌（結腸癌、直腸癌）、腸閉塞、炎症性腸疾患、肛門疾患、痔疾患など</li> <li>・ その他：胆石症、膵炎、虫垂炎、鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア、救急疾患（穿孔性腹膜炎、外傷）など</li> </ul>
乳腺・内分泌外科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種乳腺疾患(特に、乳癌)</li> <li>・ 甲状腺癌</li> <li>・ 良性甲状腺腫瘍、慢性甲状腺炎、副甲状腺疾患など</li> </ul>
腎臓外科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 透析用バスキュラーアクセスの手術</li> <li>・ 腎不全関連疾患の手術</li> <li>・ 腎臓移植</li> </ul>
心臓血管外科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心筋梗塞、狭心症</li> <li>・ 心臓弁膜症</li> <li>・ 胸腹部大動脈</li> <li>・ 下肢静脈瘤</li> </ul>

#### 5. 週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～9:00	朝カンファレンス							
9:00～12:00	外来、病棟業務、手術							
13:00～	手術							
18:00～	診療科カンファレンス							
18:00～	キャンサボード(月1回)							

#### 6. 専攻医へ向けてメッセージ

地方都市中核病院の市中病院としては消化器、乳腺、腎臓、心臓血管外科などの症例が多く 経験ができます。また、病床数 287 床の中規模病院であることから他科とのコミュニケーションが取りやすく、外科専攻の経験のほかに診療科を超えたチームが経験できます。

#### 7. 連絡先

病院名：日高病院  
 住 所：〒370-0001  
 T E L：027-362-6201  
 担当者：安藤 哲郎  
 e-mail：antetsu@me.com  
 U R L：www.hidaka-kai.com/hidaka/